平成２９年度

事　業　報　告　書

社会福祉法人栃木県社会福祉協議会

目　次

実施事業の概要……　1

Ⅰ　県民参加型の地域福祉の推進
1　地域福祉への関心・理解の促進……　5
2　ボランティア・市民活動の振興・支援……　6
3　福祉教育の推進……　１３
4　民生委員・児童委員活動との協働……　１６
5　共同募金会との協働……　２０
6　障害者の社会参加の促進……　２０
7　福祉拠点における活動の充実……　２８

Ⅱ　市町社協活動の推進・支援
1　市町社協の基盤強化と事業への支援……　３０
2　新しい地域支援事業の推進……　４４

Ⅲ　福祉サービス利用者のための支援の強化
1　福祉サービス利用者の権利擁護の充実……　４６
2　成年後見制度の活用促進……　５０
3　福祉サービス運営適正化の推進……　５４
4　福祉サービスの質の向上の支援……　５７

Ⅳ　福祉人材の確保と育成
1　福祉人材の確保と定着……　６１
2　福祉人材の育成……　７２

Ⅴ　生活困窮者の自立支援の推進
1　生活困窮者への自立支援……　８０
2　貸付事業等による自立支援……　８２

Ⅵ　社会福祉事業経営者等との連携、支援
1　社会福祉経営支援・団体支援との連携、支援……　８７
2　社会福祉法人による地域における公益的な活動の推進……　９４

Ⅶ　災害対応力の強化
1　災害対応力の強化……　９７

Ⅷ　県社協の組織活動の強化
1　組織体制の充実……　９９
2　運営基盤の強化……１０２
3　経営の透明性の確保……１０３

実 施 事 業 の 概 要

Ⅰ　県民参加型の地域福祉の推進

本会の事業内容をはじめ県内の福祉の情報や当面の福祉課題、社会福祉に関する制度の解説等を掲載した広報紙「ふくしとちぎ」をはじめ、視聴覚障害者や福祉職の就職希望者向けの各種情報紙を発行した。また、福祉関連の講座・研修情報や本会の業務内容及び災害ボランティア情報等について、ホームページ「とちぎ福祉ナビゲーション」（通称福ナビとちぎ）による情報発信に努めた。さらに、栃木県民福祉のつどいを開催し、県内で活躍している福祉関係者を表彰し、活動への意欲を高めた。

ボランティア・市民活動の支援としては、ボランティア団体、ＮＰＯなど関係機関と幅広く連携し、ネットワークづくりと協働を推進するとともに、栃の実基金による助成や栃木県ボランティア活動振興センターを運営し、広く県民へのボランティア活動の参加促進と意識の高揚を図った。

福祉教育の推進においては、市町社協、学校、ボランティア団体等と協働して、福祉教育の推進を図るとともに、とちぎ福祉教育研究会において栃木県における福祉教育のあり方について研究した。

民生委員との協働に関しては、民生委員活動の充実を図るため、栃木県民生委員児童委員協議会と協働し、各種研修会や講座を開催するとともに、助成や給付等による民生委員活動への支援を行った。

とちぎ視聴覚障害者情報センターの運営においては、視聴覚障害者への幅広い情報提供と社会参加の促進を図った。また、支援者の育成を目的として点訳・音訳ボランティア、手話通訳者・要約筆記者等の養成講習会を実施した。

また、栃木県から「とちぎ福祉プラザ」の指定管理者として指定を受け、福祉活動拠点である同プラザの効率的な管理運営に努めるとともに、障害者スポーツの拠点施設である障害者スポーツセンター（通称わかくさアリーナ）の効率的な管理運営にも努めた。

Ⅱ　市町社協活動の推進・支援

市町社協の基盤強化や事業支援のため、国の施策動向などの情報提供や個別支援を行うとともに、事業への助成、セミナーや各種連絡会議等を開催した。

また、階層別研修会や専門研修会等を通して社協職員の資質向上を図り、地域福祉活動を推進するための体制整備を行った。

さらに、栃木県地域福祉振興基金（栃の実基金）を活用した助成事業で、市町社協や市

民団体等による地域福祉・ボランティア活動を促進した。

新しい地域支援事業の推進については、社協として地域福祉推進の取組みと連携した生活支援体制整備事業の推進などについての情報共有や検討の場として連絡会議を開催したほか、多様な主体との連携協働を図りながら住民参加のサービスを推進するための協議を行った。

Ⅲ　福祉サービス利用者のための支援の強化

判断能力が十分でない方を対象に、福祉サービスの適切な利用を援助する日常生活自立支援事業（とちぎ権利擁護センター・あすてらす）を実施した。実施に際しては、県内13か所の基幹的社会福祉協議会に事業の一部を委託するとともに、専門員等の資質の向上など、本事業のさらなる充実を図った。

また、成年後見制度に関して、一般県民向けにセミナー等を開催し、制度の普及啓発を図るほか、相談支援機関職員向けの連続講座の開催や県内市町社協における法人後見事業の実施拡大により、制度の活用促進を図った。

第三者機関として設置されている栃木県運営適正化委員会においては、福祉サービス運営適正化の推進のため、福祉サービスに関する苦情を適切に解決するとともに、日常生活自立支援事業の運営監視に当たった。

同じく第三者機関として設置されているとちぎ福祉サービス第三者評価推進機構では、第三者評価の受審促進や評価者の研修などの事業を実施し、事業所が提供する福祉サービスの質の向上を図るとともに、評価結果の公表により、利用者がサービスを選択するための情報を提供した。

一方、評価機関として地域密着型サービス外部評価事業を実施し、地域密着型サービスの質の向上に取り組んだ。

Ⅳ　福祉人材の養成と確保

福祉・介護分野の人材不足が続く中、新卒学生や他分野からの転職者等に対して、職場体験を行う機会を提供したほか、介護福祉士修学資金等の貸付などで福祉分野への幅広い人材の参入促進を図るとともに、各地域において求人事業所と求職者の相談会を開催し、人材の確保・就労を支援した。

また、「とちぎ保育士・保育所支援センター」を設置し、潜在保育士等対象の講座や相談会の開催、就職準備金の貸付などを実施した。

さらに、職場定着支援の一環として、福利厚生センター加入者へのサービスの充実と未

加入法人への加入勧奨を行い、社会福祉事業従事者の福利厚生の増進に努めた。

社会福祉事業従事者等への研修については、関係福祉団体等の意見も踏まえ、それぞれの職務の専門性に応じ、福祉の動向を的確に捉えた内容の実施に努め、資質の向上を図った。

Ⅴ　生活困窮者の自立支援の推進

低所得者や障害者、高齢者世帯に対し、必要な資金（生活福祉資金：福祉費）の貸付等を行い、経済的自立及び生活意欲の助長促進を図った。

また、貸付けた資金の円滑な償還を図るため、市町社協や民生委員児童委員等、関係機関との連携のもと、滞納世帯への償還指導を行うなど償還業務の適正化及び債権管理の強化に努めた。

さらに、勉強会や研修会等を開催し、主に市町社協の生活困窮者に対する相談機能の強化を図った。

Ⅵ　社会福祉事業経営者等との連携、支援

社会福祉法等の一部を改正する法律が施行され、社会福祉法人の責務として位置付けられた「社会福祉法人による『地域における公益的な取組』」について、栃木県社会福祉法人による「地域における公益的な取組」推進協議会の運営及び「いちごハートねっと事業」への支援を行った。

社会福祉施設の振興・発展に向けて、また、地域福祉への貢献に向けて解決策等を検討するため社会福祉施設部会を開催するとともに研修会を開催し、社会福祉施設及び種別協議会の運営を支援した。

Ⅶ　災害対応力の強化

近年、災害時には、社協が災害ボランティアセンターを設置運営するなど、社協の役割は大きくなっている。

そこで、各種研修、連絡会議等を開催し、社協職員の資質向上や関係機関とのネットワークの構築を図った

さらに、災害ボランティアセンターに係る研究協議の場を設け、災害支援体制の強化に努めた。

Ⅷ　県社協の組織活動の強化

社会福祉法の改正に対応した会務の運営を確保するため定款の改正等を行い、経営組織のガバナンスの強化及び事業運営の透明性の向上を図った。

また、平成28年度を始期とする栃木県社会福祉協議会活動推進計画（第３期）の点検・評価を行った。

さらに、運営基盤の強化のため、会員の加入促進をはじめ、図書斡旋等の収入の確保、栃木県地域福祉振興基金（栃の実基金）の造成や駐車場運営を行うなど自主財源の確保に努めた。

Ⅰ　県民参加型の地域福祉の推進

1　地域福祉への関心・理解の促進

⑴　広報活動の充実

①　ふくしとちぎの発行

本会事業をはじめ県内の福祉情報を提供するため、本会広報紙「ふくしとちぎ」を発行した。（No.472～No.477 発行（計 6 回）隔月発行　発行部数 各 7,800 部）

②　福祉ボランティア情報誌の発行

「とちぎ社協ボランティアガイド」と題し、社協ボランティアセンターの事業を紹介することで、県民にボランティア活動への一歩を踏む出すきっかけ作りとした。

（vol.1、2 発行（計 2 回）　発行部数 各 4,000 部）

③　福祉人材・研修センターニュースの発行

啓発とセンターのＰＲのため、福祉人材・研修センターニュースを発行した。

（No.189～No.192 発行　発行部数　各 2,500 部）

④　点字図書館だよりの発行

新刊図書案内、センターからのお知らせ等利用者及び関係機関への広報を行った。

（年 4 回　発行部数　各 899 部）

⑤　ｅａｒたより２１の発行

聴覚障害者への情報提供のため、earたより21を発行した。

（年 4 回発行　発行部数　各 850 部）

⑥　ホームページの充実

とちぎ福祉ナビゲーションにより、福祉関連の各種講座研修情報、本会の業務内容、災害情報等について県民に情報提供を行った。（アクセス数　64,532 件、H28：52,514 件）

⑦　栃木県民福祉のつどいの開催・県社協会長表彰の実施

県民全体が福祉について考え、参加者が自らの活動への意欲を高めることを目的として、栃木県を含む 9 団体と協同で「第 23 回栃木県民福祉のつどい」を開催した。

また、その席上で県内の社会福祉に功労のあった者を対象に、県社協会長表彰を実施した。（表彰・感謝　258人4団体、H28：296人7団体）

期　日	場　所	内　容	参加者数
H29.8.29 （火）	宇都宮市 宇都宮市文化会館 大ホール	第 1 部　式典 ・知事表彰、各団体会長表彰 ・県民福祉宣言 第 2 部　講演「がばいばあちゃんから学んだこと」 【講師】　島田　洋七氏	1,119人 （H28:1,025人）

⑵　福祉関係資料の整備と利用の促進

①　福祉に関する教材等の貸出（34 回）

福祉の理解及び啓発のため、福祉に関する教材（高齢者疑似体験装具）の貸出を行った。

② 福祉関係図書及びビデオ等の閲覧・貸出

とちぎ福祉プラザ福祉情報コーナーにおいて、福祉関係図書及びビデオの閲覧・貸出を行った。（貸出数　図書 1,423 冊、H28：1,809 冊）

⑶ その他の事業

教員免許特例法に基づく介護等体験実施の調整

「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教職員免許法の特例等に関する法律」の規定に基づいて行われる、教員免許取得希望者が社会福祉施設等での「介護等の体験」を円滑に進めるための調整業務を行った。

① 平成29年度教員免許特例法に基づく介護等体験実施状況

【介護等体験状況】

	大学数	申込学生数(人)
県内大学	9大学（うち短期大学2)	608（うち短期大学69)
県外大学	24大学	87
合　　計	33大学（うち短期大学2)	672（うち短期大学69)

【体験調整状況】　（人）

介護等受入施設	受入施設数	受入人数	辞退者数	体験者数
救護施設	1	8	1	7
母子生活支援施設	2	5		5
児童養護施設	3	6		6
特別養護老人ホーム	38	247	4	243
養護老人ホーム	3	13		13
老人デイサービスセンター	12	104	5	99
老人短期入所施設	1	7		7
老人保健施設	15	68	1	67
障害福祉施設	38	214	12	202
合　　計	113	672	23	649

② 教員免許法の特例による「介護等の体験」事業連絡会の開催

介護等の体験事業の目的、事務手続

き等の説明を行い、また、体験内容の事例等の情報交換を行うことで、事業の一層の充実を図ることを目的に事業連絡会を開催した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
H30.3.12 （月）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	・平成 29 年度介護等の体験事業の受け入れ実績報告、事務手続き等 ・意見交換及び情報交換	53人 （施設43人、 大学・短大10人）

2　ボランティア・市民活動の振興・支援

⑴ 社協ボランティアセンターの充実・強化

① 栃木県ボランティア活動振興センターの運営

ア　運営委員会の開催

ボランティア活動振興センターの効果的な運営を図るため、運営委員会を開催した。

期　日	場所	内　　容	出席者数
(第1回) H29.9.22 (金)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	⑴平成28年度事業報告について ⑵預託金品について ⑶平成29年度事業経過報告について ⑷意見交換（栃木県ボランティア活動振興センターの今後の展開について）	10人
(第2回) H30.3.6 (火)		⑴平成29年度事業経過報告について ⑵預託金品について ⑶平成30年度事業計画案について ⑷意見交換（栃木県ボランティア活動振興センターの今後の展開について）	11人

イ　ボランティア活動振興センター預託金の管理

- 指定預託（0 件）
- 無指定預託金の預託（0 件）
- 無指定預託金の払出し(0 件)
- 無指定預託金額計　1,225,474 円

ウ　ボランティアルームの運営・管理

ボランティア、ボランティア団体の交流や情報交換を目的としてボランティアルームを運営した。

② 福祉ボランティアコーディネート相談事業の実施

ボランティアコーディネーターを配置し、ボランティアに関する総合的な相談を行った。

（栃木県ボランティア連絡協議会への委託事業）

【来訪・電話数】　3,927 人　【相談件数】　68 件

③ 福祉ボランティア情報誌の発行（再掲）

「とちぎ社協ボランティアガイド」と題し、社協ボランティアセンターの事業を紹介することで、県民にボランティア活動への一歩を踏む出すきっかけ作りとした。

（vol.1、2 発行（計 2 回）　発行部数 各 4,000 部）

④ インターネットによるボランティア情報の発信

とちぎ福祉ナビゲーションを活用し、ボランティア情報の提供、災害支援情報、各種助成情報等を随時提供した。

⑤ 市町社協ボランティアセンター事業への支援

ア　市町社協ボランティア担当者連絡会議

社会福祉協議会が実施するボランティア推進事業を取り巻く動向や課題の共有化と、相互の情報交換並びに職員の顔の見える関係づくりを通じて、市町社協ボランティア業務の増進を図るため、担当者連絡会議を開催した。

期　日	場　所	内　　容	参加者数
H29.5.30 （火）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	(1)平成29年度のボランティア保険改定事項の説明と質疑応答 講師 ㈱福祉保険サービス営業部長 斉藤　英樹氏	19 人

		(2)平成29年度の市町社協ボランティア事業に関する情報交換会	
H29.9.20 （水）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	(1)各市町社協で平成29年度に実施した、夏休み中の児童生徒を対象としたボランティアプログラム（サマーボランティアスクール等）の実施報告会 (2)上記事業に関する好事例の共有や課題出し等の座談会	17人

イ　とちぎ災害ボランティアセンター実践プロジェクト（H27年度からの継続）

社協が災害ボランティアセンターを中心となって設置・運営する目的やその意義を明確にするとともに、被災者の視点に立った柔軟かつきめ細かな支援が行えるようにするため、研究協議を行った。（H27：4回実施、H28：5回実施）

H29年度は、社協が災害ボランティアセンターを設置運営する際の課題や不安要素を解決するための一つのヒントとして、視点や事例等を集めた『とちぎ災害ボランティアセンター実践プロジェクト発社協災害VC実践参考書』を作成した。

回　数	期　日	場　所	内　　容	参加者数
第10回	H29.5.25 （木）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	・参考書の作成について等	13人
第11回	H29.7.20 （木）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	・参考書の作成について ・市町社協アンケートの項目について等	12人
第12回	H29.9.29 （金）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	・参考書の作成について ・市町社協アンケートの回答結果について等	9人
第13回	H29.11.8 （水）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	・参考書の作成について ・掲載する情報の精査等	10人
第14回	H29.12.15 （金）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	・参考書の作成について ・掲載する情報の精査等 アドバイザー NPO法人にいがた災害ボランティアネットワーク理事長　李　仁鉄氏	11人
第15回	H30.1.12 （金）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	・参考書の作成について ・掲載する情報の精査等	11人
第16回	H30.2.13 （火）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	・参考書の作成について ・掲載する情報の精査等 アドバイザー NPO法人にいがた災害ボランティアネットワーク理事長　李　仁鉄氏	10人
第17回	H30.3.20 （火）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	・参考書の完成と活用について ・3か年のふり返りと今後の災害支援の展望	11人

ウ　市町社協事業等への協力（職員を講師として派遣）

期　日	場　所	内　　容
H29.7.8 （土）	宇都宮市 宇都宮市総合福祉センター	平成29年度災害福祉救援ボランティア養成講座 ・講義
H29.9.7 （木）	栃木市 栃木市保健福祉センター	平成29年度災害ボランティアセンター研修会 ・講義、演習
H29.9.8 （金）	矢板市 きずな館	矢板市障がい者福祉ボランティア育成講座 ・講義
H30.1.27 （土）	高根沢町 高根沢町福祉センター	災害ボランティア養成講座初級編 ・講義、演習
H30.3.19 （月）	さくら市 喜連川社会福祉センター	ボランティア養成講座 ・講義

⑵　ボランティア・市民活動の環境整備

①　市民、企業、勤労者等のボランティア参加を促す事業の実施

ア　『高校生サミットin栃木2018』の開催

県内の高校生が一堂に会して東日本大震災をふりかえり、復興への現状と課題を学ぶために、宇都宮大学等と共催で事業を実施した。

平成29年度は、学校で防災・減災について学んでいる宮城県多賀城高等学校の生徒をゲストに招き、防災・減災の視点から、自分や家族、親しい人の身を守るために、普段から何を備えておくのかをともに考える場とした。

期　日	場所	内　　容	参加者数
H30.3.18 （日）	宇都宮市 宇都宮大学	【進　行】UP（宇大生プロジェクト） 【ゲスト】 宮城県多賀城高等学校 生徒8人、引率教員1人 ・オープニング ・ふりかえり 「リメンバー3.11～あの日、あの時をふりかえる～」 ・アイスブレイク ・ゲストトーク ・グループワーク ・グループワークのまとめ、発表 ・ゲストから栃木の高校生へ、メッセージの発信 ・クロージング	74人

イ　ぼらんてぃあカフェの実施

《実施内容》　参加者　25人

・はぎれを再利用した、ドライハーブ入りのサシェ（香り袋）作り（9/25～29、8人）

・フェルトボールでオーナメントを作成し、NPO法人へプレゼント(12/19、5人)

・ペットボトルや牛乳パック、トイレットペーパーの芯を再利用しての簡単リサイクル工作（3/20、3/22、12人）

ウ　ボランティア活動リーダー養成研修会（企業編）

企業や社協、中間支援施設等を対象として、企業が取り組む社会貢献活動の具体例や活動の始め方について学び、企業・地域ともに成長する機会とするため、研修を開催した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
H30.2.7 （水）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	(1)講義「企業が社会貢献活動に取り組む、企業・地域双方のメリット」 講師 宇都宮市まちづくりセンター センター長　安藤　正知氏 (2)事例報告「高根沢町における企業と地域の繋がりについて」 発表者 ㈱ケーヒン管理本部総務部栃木総務課 第一係　係長　杉内　泰広氏 (3)事業紹介「企業と地域・NPO を繋げる支援体制について」 発表者 とちぎボランティア NPO センター 協働アドバイザー　小針　協子氏 (4)演習「これからできる社会貢献活動とそのメリットを考える」	8人

エ　社会貢献活動・ボランティア活動出前セミナー

県内の企業・労働組合等の社会貢献活動・ボランティア活動に関する講座に職員を派遣した。

期　日	場　所	内　容
H29.6.21 （水）	宇都宮市 東武百貨店	(一社)生命保険協会栃木県協会　平成29年度協会担当職員研修会 ・講義
H29.9.27 （水） H29.10.4 （水）	小山市 コマツクラブ	コマツユニオン小山市部　役員セミナー ・講義

オ　企業、労働組合が実施する社会貢献活動の相談調整

- 日産労連 NPO センター
  「ゆうらいふ 21」クリスマスチャリティー公演観劇招待事業
  招待施設：（69 施設、約 1720 名）
- 日産労連 NPO センター「ゆうらいふ 21」「チャリティきゃらばん」　周知協力
- 栃木県損害保険代理業協会宇都宮市部主催「第 8 回みんなで落語を楽しむ会」
- 福祉車両寄贈
  日本テレビ　24 時間テレビ福祉車輌寄贈　4 台
  生命保険協会　3 台
  NHK 厚生文化事業団　1 台
- 車いす寄贈
  栃木県遊技業協同組合 5 施設（計 10 台）
  株式会社ツルハホールディングス・クラシエホールディングス株式会社　5 台

北関東雪印メグミルク協会２施設（計２台）
・ カレンダー寄贈
藤井産業株式会社
株式会社カナメ
（とちぎ福祉プラザ１階ボランティアルームで配布）
・ 紙おむつ寄贈　　とちぎコープから寄贈を受け、県内乳児院に配布
・ その他　全国本田労働組合連合会ショーワ労働組合栃木支部　１施設への備品寄贈

② 栃木県地域福祉振興基金（栃の実基金）事業の実施

地域における民間福祉活動の推進並びにボランティア活動の振興を目的として、栃木県地域福祉振興基金を活用し市民団体等への支援を行った。

ア　市民団体支援事業　　９団体　　398,000 円　※詳細はⅡ1(2)④ウ(P42)に記載。
イ　災害支援活動助成事業　10 団体　1,000,000 円　※詳細はⅡ1(2)④エ(P42)に記載。

③ ボランティアコーディネーションセミナーの実施

ボランティアコーディネーターとしての必要な知識と技術を身に付けるための研修会を開催した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
1日目 H29.12.5 （火）	宇都宮市 宇都宮大学	(1)基調講演「ボランティアの気持ちを考えるコーディネーション」 講師 NPO 法人ハンズオン埼玉　常務理事 西川　正氏 (2)講義、演習「ボランティアとの関わり方、力の活かし方を考える」 講師 国立大学法人宇都宮大学地域連携教育研究センター　特任助教　土崎　雄祐氏	14人
2日目 H29.12.21 （木）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	(1)基調講演「ボランティアが参加しやすくなるようなプログラム」 講師 社会福祉法人大阪ボランティア協会 常務理事　早瀬　昇氏 (2)講義、演習「ボランティアの力で地域課題の解決を図るプログラムを考える」 講師 NPO 法人とちぎユースサポーターズネットワーク　代表理事　岩井　俊宗氏	22人

④ 災害ボランティアセンター運営研修の実施

市町社協をはじめとする民間団体を対象に、災害ボランティアセンター運営に関する大切な視点や知識、実践技術を身に付けるための研修会を開催した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
H29.12.18（月）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	(1)説明「社協が中心となり運営する災害ボランティアセンターの基本事項や近年の動向について」 (2)講義「災害ボランティアセンターの運営体制や支援に必要な視点について」 講師	36人

期　日	場　所	内　容	参加者数
		NPO 法人にいがた災害ボランティアネットワーク理事長　李　仁鉄氏 (3)講義、演習「多機関協働による災害ボランティアセンター運営の効果について」	

⑤　各種助成事業の情報提供等

地域福祉の推進及びボランティア活動支援を対象とした、各種団体の助成情報を市町社協並びにボランティア団体等に提供した。

⑶　関係機関・団体との連携及び支援

①　福祉ボランティアネットワーク化推進事業の実施

ア　研修の開催

県内の市町社協、ボランティア中間支援団体等を対象に、ネットワークの推進方策等の研修を実施した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
H30.1.17（水）	宇都宮市とちぎ福祉プラザ	講義、演習「アドベンチャー教育の手法を取り入れた遊びは社会的養護の必要な子どもたちの日常をどう変えられるのか？」 講師 (一社)学び方を学ぶプロジェクト「教えない教育」ファシリテーター 金井　聡氏	10人

②　災害時福祉救援ボランティア推進事業の実施

ア　とちぎ市町社協災害支援担当者連絡会議

東日本大震災発生後の各市町社協の取り組みと今後の支援活動について情報を共有するとともに、社協間の災害ネットワークの構築及びボランティア活動を希望する住民への効果的な情報提供や NPO 団体・市民ボランティア団体等との連携など、災害時支援のあり方を検討するため連絡会議を開催した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
H29.6.6（火）	宇都宮市とちぎ福祉プラザ	(1)説明「平成 29 年度災害支援関連事業について」 (2)情報交換「平時における災害にも強い地域福祉について」及び「本年度における重点事業（災害）について」	13人

イ　災害ボランティアネットワーク会議

栃木県外を含め災害が発生したとき、被災地の復旧・復興を支援するボランティアの活動が円滑に行われるよう、平常時から関係団体が連携し今後の災害ボランティア支援の体制づくりをすすめるため、ネットワーク会議を開催した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
H29.6.6（火）	宇都宮市とちぎ福祉プラザ	(1)基調講演「全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）の概要」 講師 NPO 法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク　事務局長　明城　徹也氏	28人

期　日	場　所	内　容	参加者数
		(2)演習「効果的な災害支援の展開と平時からの取り組みについて」	

ウ　栃木県・大田原市総合防災訓練

大規模災害を想定した総合防災訓練に開催地である大田原市社協等とともに参加した。また、総合防災訓練にあわせて、本会独自訓練として職員の安否確認訓練、福祉救援対策本部設置運営訓練を実施した。

期　日	場　所	内　容
H29.8.27（日）	大田原市　中田原工業団地	【総合防災訓練の訓練内容】 ・ボランティア活動拠点運営訓練 ・緊急物資輸送・受入訓練 【本会独自の訓練内容】 ・安否確認訓練 ・救援対策本部設置運営訓練

エ　栃木県・県北地区災害ボランティア対応力向上訓練

県北地区の社協が協働して、大規模災害の発生を想定した災害ボランティアセンターの設置・運営の実践的な訓練を、栃木県と共催で行った。県北地区の多くのボランティアの参加により、災害ボランティア活動を通した防災力向上が図られた。

期　日	場　所	内　容
H29.9.24（日）	矢板市　栃木県立矢板東高等学校	・災害ボランティアセンターの設置及び運営訓練 ・土砂崩れ等を想定した土嚢袋作成及び各種工法による設置等の応急対策訓練 ・炊き出し訓練 ・避難所支援訓練 ・応急処置訓練

③　福祉ボランティア団体育成・指導事業の実施

県内福祉ボランティア団体の育成、ボランティア団体間の連携強化を図ることを目的として、栃木県ボランティア連絡協議会に研修会の開催を委託した。

④　栃木県ボランティア連絡協議会との連携

栃木県ボランティア連絡協議会と連携・協力し、県内のボランティア・社会参加活動の振興を図った。

3　福祉教育の推進

(1)　福祉教育プログラムの開発・推進

①　人権・福祉教育推進セミナーの開催

栃木県総合教育センターと共催で、第 4 回目の「平成 29 年度人権教育指導者専門研修」を開催した。

期日	場　所	内　容	参加者数
H29.7.31（月）	宇都宮市とちぎ福祉プラザ	県内で福祉教育事業に携わる視覚障害者をゲストに迎え、共に体験やトークセッションをすることで、当事者と学校教員・社協職員等の理解啓発を促し、人	50人

期日	場　所	内　容	参加者数
		権・福祉教育の効果を高めることを目的に開催した。 【ゲスト】小池上　惇氏、岩井　恵氏、添野　浩司氏、 大久保　扶美子氏、渡辺　博之氏、兼目　忍氏、 佐藤　佳美	

② 福祉教育推進リーダー養成研修会の開催

地域住民をどのように地域福祉・ボランティア活動に巻き込んでいけるか、その働きかけを学び、検討することを目的に開催した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
H30.3.13 （火）	宇都宮市 パルティとちぎ男女共同参画センター	※“小地域で考える”福祉教育推進モデル事業指定地域連絡会議と同時開催 ・実践報告 ①市貝町全域（指定3年目） 【報告者】市貝町社会福祉協議会 事務局次長　北井　孝文氏 ②さくら市全域（指定1年目） 【報告者】さくら市社会福祉協議会 主事　竹田　有希氏 【コーディネーター】 国際医療福祉大学　准教授　大石　剛史氏 ・講義「学校と地域の協働を目指した福祉教育のあり方について」 【講師】 国際医療福祉大学　准教授　大石　剛史氏 ・ワークショップ「学校と地域をつなげる福祉教育を考える」 【講師】 国際医療福祉大学　准教授　大石　剛史氏	19人

⑵ 学習機会の提供

① 学童・生徒のボランティア活動普及事業（“小地域で考える”福祉教育推進モデル事業）の実施

おおむね中学校区の地域を 2 か所（市貝町全域、さくら市全域）を指定し、市町社協が中心となって、指定地域内の小学校、中学校、高等学校、地域住民、ボランティア団体が連携し、地域内の子どもたちへの福祉教育推進事業を実施した。

ア　連絡会議の開催

※福祉教育推進リーダー養成研修会と同時開催　※⑴②に記載

② 福祉講座・ボランティアスクール等の企画の相談、高齢者疑似体験装具の貸出、講師の紹介・派遣等の実施

ア　高齢者疑似体験装具の貸出（34 回）：再掲

イ　講師派遣

主　催	期　日	場　所	内　容
氏家地域福祉ネットワーク会連	H29.6.2 （金）	さくら市　氏家公民館	「サロンでいきいき明るい地域」（講師として職員派遣）

主　催	期　日	場　所	内　容
絡協議会・さくら市社会福祉協議会			
(公社)日本青年会議所関東地区栃木ブロック協議会	H29.6.22（木）	宇都宮市　栃木県青年会館コンセーレ	「私たちが作る未来のROAD～交通インフラ整備への理解を深めよう！！～　」（パネリストとして登壇）
高根沢町	H29.7.4（火）	高根沢町　高根沢町役場	「福祉避難所ネットワーク会議」（オブザーバーとして参加）
	H29.11.9（木）		
宇都宮地方・家庭裁判所	H29.9.14（木）	宇都宮市　宇都宮地方・家庭裁判所	「接遇（体験型）研修」（講師として職員派遣）
栃木県	H29.11.16（木）	宇都宮市　栃木県庁	「シニアサポーター養成研修」（講師として職員派遣）
国立大学法人宇都宮大学	H29.12.26（火）	宇都宮市　宇都宮大学	「とちぎ終章学特講」（講師として職員派遣）
栃木県シルバー大学校	H29.11.9（木）	宇都宮市　シルバー大学校中央校	「福祉のこころ地域福祉」（講師として職員派遣）
	H29.11.14（火）	矢板市　シルバー大学校北校	
	H29.11.17（金）	栃木市　シルバー大学校南校	
	H30.3.7（水）	宇都宮市　シルバー大学校中央校	
	H30.1.31（水）	矢板市　シルバー大学校北校	「ボランティア活動入門」（講師として職員派遣）
	H30.2.6（火）	宇都宮市　シルバー大学校中央校	
	H30.2.15（木）	栃木市　シルバー大学校南校	
	H30.2.16（金）	宇都宮市　シルバー大学校中央校	

ウ　福祉講座等の企画の相談・講師紹介等（随時）

⑶　福祉教育推進の基盤整備

①　とちぎ福祉教育研究会

地域での様々な生活課題を学習素材とし、地域における福祉課題を共同して解決する力や、地域住民の福祉力を育むとともに、栃木県における新しい福祉教育のあり方、県内市町社協の福祉教育事業の推進を目的として、とちぎ福祉教育研究会を設置し研究を行った。（構成メンバー：教員、市町社協職員、県社協職員等）

回数	期　日	場　所	内　容	参加者数
第1回	H29.5.10（水）	宇都宮市とちぎ福祉プラザ	・今年度の取り組みについて　他	9人
第2回	H29.6.26（月）		・福祉教育ハンドブックの作成について他	9人

回数	期　日	場　所	内　容	参加者数
第3回	H29.7.24 （月）		・福祉教育ハンドブックの作成について 他	6人
第4回	H29.8.22 （火）		・福祉教育ハンドブックの作成について 他	7人
第5回	H29.9.25 （月）		・福祉教育ハンドブックの作成について 他	6人
第6回	H29.11.9 （木）		・福祉教育ハンドブックの作成について 他	6人
第7回	H30.2.2 （月）		・福祉教育ハンドブックの作成について 他	7人
第8回	H30.3.9 （金）		・福祉教育ハンドブックの作成について 他	4人

② 福祉教育事例集の作成

社協、学校、福祉施設、自治会、ボランティア団体等、さまざまな立場の方々に活用していただける事例集として、『とちぎ版福祉教育事例集～遊びあい・学びあい・支えあい～』を作成した。

4　民生委員・児童委員活動との協働

⑴ 栃木県民生委員児童委員協議会との連携・協働

栃木県民生委員児童委員協議会の主催する事業への協力及び協働活動を推進した。

事業名	期日	場　所	内　容
民生委員制度創設100周年記念 全国民生委員児童委員大会	H29.7.9(日) ～10(月)	東京都　東京ビッグサイト他	第1日　式典/表彰/記念講演等 第2日　テーマ別研修会
第27回 栃木県民生委員児童委員大会	H29.11.1(水)	宇都宮市　宇都宮市文化会館	式典/表彰/記念講演

⑵ 民生委員・児童委員活動の充実支援

① 単位民生委員児童委員協議会会長研修会の開催

民生委員児童委員活動の推進及び研鑽に資することを目的として、栃木県民生委員児童委員協議会と共催で実施した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
H29.10.11 （水）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	・行政説明 「社会的養護の現状と課題について」 【説明者】栃木県保健福祉部こども政策課 主幹　薄井　益美氏 ・基調講演 「民児協活動と民児協会長への期待と展望」 【講師】桜美林大学総合科学系健康福祉学群 教授　大溝　茂氏 ・分科会	182人

② 新任・中堅民生委員児童委員研修会の開催

制度・施策などの動きを的確にとらえ、住民のさまざまな相談やニーズに応えられるよ

う民生委員児童委員の研鑽に資することを目的に実施した。

地区	期　日	場　所	内　容	参加者数
県央	第1日目 H29.10.23 （月） 第2日目 H29.10.30 （月）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	※各地区とも共通のプログラム 《第1日目》 ・民生委員制度創設100周年を迎えて 【講師】栃木県民生委員児童委員協議会 ・地域福祉施策の動向と今後の課題について 【講師】栃木県保健福祉部保健福祉課 ・個人情報の取扱いについて 【講師】栃木県経営管理部文書学事課 ・子どもの貧困について 【講師】栃木県保健福祉部こども政策課 《第2日目》 ・認知症高齢者について 【講師】栃木県保健福祉部高齢政策課 ・熱中症対策について 【講師】大塚製薬株式会社 ・障害を理由とする差別の解消の推進について 【講師】栃木県保健福祉部障害福祉課 ・高齢者の消費者被害を防ぐために ～悪質商法の手口と防止策について～ 【講師】栃木県県民生活部くらし安全安心課	第1日目 249人 第2日目 252人
県北	第1日目 H29.10.3 （火） 第2日目 H29.10.18 （水）	那須塩原市 三島ホール		第1日目 307人 第2日目 266人
県南	第1日目 H29.11.6 （月） 第2日目 H29.11.10 （金）	栃木市 栃木文化会館		第1日目 323人 第2日目 279人

③　心配ごと相談所相談員研修会の開催

相談援助の基本について学習し、相談員の技術を高め、円滑な相談援助活動を実施するため、研修会を実施した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
H30.1.24 （水）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	・講義「認知症の人とその家族の理解と対応について～なじみのある生活の大切さ～」 【講師】NPO法人風の詩理事長・社会福祉士事務所「風のささやき」代表　永島　徹氏 ・講義・グループ演習「相談面接におけるポイントについて～違いを理解する大切さ～」 【講師】NPO法人風の詩理事長・社会福祉士事務所「風のささやき」代表　永島　徹氏	52人

④　指定民生委員児童委員協議会への支援

民生委員児童委員協議会運営の充実強化を目的として、助成金を交付し民生委員児童委員活動の推進を図った。（2地区）

助　成　先	助成額	助成年度
大田原市黒羽地区民生委員児童委員協議会 壬生町民生委員児童委員協議会	各63,000円	H29～30

⑤　市町民生委員児童委員協議会の要請に応じた支援活動の実施

各種会議、研修会等を通して、民生委員児童委員活動への支援を行った。

⑥　全国民生委員互助事業の実施

会員の死亡、傷病及び配偶者の死亡等に対する弔慰金または見舞金、並びに退任者に対する慰労金の給付を行った。

〔全国民生委員互助事業給付〕

一般死亡	配偶者死亡	一般傷病	災害見舞	退任慰労	公務関係
7件	16件	16件	0件	27件	4件

⑦　民生委員・児童委員協力者等育成事業の実施（新規）

民生委員・児童委員活動について一層の周知・啓発を行い、地域全体でその活動を支える意識を醸成し、その協力者と将来の活動者を育成するため実施した。

ア　民生委員協力者・後継者育成講座の開催

期　日	場　所	内　　容	参加者数
H29.5.26 （金）	栃木市 シルバー大学校南校	・「民生委員制度について」、「民生委員児童委員活動について（活動事例紹介）」 【講師】 栃木市民生委員児童委員協議会連合会 会長　日向野　文代氏 下野市民生委員児童委員協議会 会長　倉井　金男氏	126人
H29.8.23 （水）	宇都宮市 シルバー大学校中央校	・「民生委員制度について」、「民生委員児童委員活動について（活動事例紹介）」 【講師】 鹿沼市民生委員児童委員協議会連合会 会長　大塚　美津子氏 日光市民生委員児童委員協議会連合会 会長　京井　陸奥夫氏	168人
H29.8.31 （木）	宇都宮市 シルバー大学校中央校	・「民生委員制度について」、「民生委員児童委員活動について（活動事例紹介）」 【講師】 宇都宮市民生委員児童委員協議会 会長　檜山　和子氏 高根沢町民生児童委員協議会 会長　大野　稔氏	130人
H29.9.5 （火）	矢板市 シルバー大学校北校	・「民生委員制度について」、「民生委員児童委員活動について（活動事例紹介）」 【講師】 那須烏山市民生委員児童委員協議会 会長　大橋　東洋雄氏 那須塩原市厚﨑地区民生委員児童委員協議会 会長　渡邊　シズイ氏	101人
H29.9.15 （金）	大田原市 那須野が原	・講演「民生委員とその役割」 【講師】　国際医療福祉大学　教授　小林　雅彦氏	141人

期　日	場　所	内　　容	参加者数
	ハーモニーホール	・実践発表 【コーディネーター】 国際医療福祉大学　教授　小林　雅彦氏 【発表者】 ①大田原市野崎地区民生委員児童委員協議会 会長　伊藤　耕一氏／藤岡　明氏／ 唐橋　洋子氏／中村　保子氏 ②那須塩原市厚崎地区民生委員児童委員協議会 佐藤　由紀子氏	
H29.9.30 （土）	佐野市 佐野日本大学短期大学	・講演「民生委員制度とその役割～地域を見つめ・耕し・つなぐ・開発創造への期待～」 【講師】佐野日本大学短期大学　教授　山田　昇氏 ・実践発表・体験発表 【発表者】 ①佐野市植野地区民生委員児童委員協議会 会長　飯塚　哲史氏 ②足利市民生委員児童委員連合会 会長　阿由葉　榮二氏 ③佐野日本大学短期大学 社会福祉士フィールド　一寸木　悠吾氏 ・パネルディスカッション「民生委員活動から学ぶ地域福祉課題の解決手法」 【コーディネーター】 佐野日本大学短期大学　教授　山田　昇氏 【パネリスト】 ①佐野市植野地区民生委員児童委員協議会 会長　飯塚　哲史氏 ②足利市民生委員児童委員連合会 会長　阿由葉　榮二氏 ③佐野日本大学短期大学 社会福祉士フィールド　門屋　修氏	92人
H29.12.19 （火）	宇都宮市 宇都宮大学	・講義「民生委員児童委員とは」 【講師】宇都宮大学　特任助教　土崎　雄祐氏 ・事例紹介 【発表者】市貝町民生委員児童委員協議会 水沼　桂子氏	136人
H29.12.22 （金）	宇都宮市 とちぎ男女共同参画センター	・講演「民生委員制度とその役割について」 【講師】宇都宮大学　特任助教　土崎　雄祐氏 ・実践発表 【発表者】 ①宇都宮市中央地区民生委員児童委員協議会 会長　影山　房與氏 ②鹿沼市民生委員児童委員協議会連合会 会長　大塚　美津子氏 ・パネルディスカッション 【コーディネーター】 宇都宮大学　特任助教　土崎　雄祐氏 【パネリスト】 ①宇都宮市中央地区民生委員児童委員協議会 会長　影山　房與氏	91人

期　日	場　所	内　　容	参加者数
		②鹿沼市民生委員児童委員協議会連合会 会長　大塚　美津子氏 ③社会福祉法人ふれあいコープ 地域支援部　菊地　和夏氏 ④株式会社アガ設計工業 代表取締役　小西　勝氏	

イ　民生委員活動一日体験の実施

期　日	場　所	内　　容	参加者数
H29.8.9 （水）	佐野市 植野地区公民館、佐野市内一人暮らし高齢者宅等	・佐野市植野地区民生委員児童委員協議会定例会 ・見守り活動（一人暮らし高齢者宅等への訪問活動への同行） ・ふりかえり	10人
H29.12.16 （土）	大田原市 大田原市福祉センター、大田原市内一人暮らし高齢者宅等	・制度説明・実践報告 【講師】 栃木県保健福祉部保健福祉課 主事　本多　輝彦氏 大田原市民生委員児童委員協議会 髙木　伸夫氏／江連　静子氏／森谷　浩一氏 溝口　喜代美氏／関谷　みつ枝氏 ・訪問活動（一人暮らし高齢者宅等） ・ふりかえり	10人
H30.2.2 （金）	宇都宮市 御幸地域コミュニティセンター	・制度説明・実践報告 【講師】 宇都宮市御幸地区民生委員児童委員協議会 会長　釼持　幸子氏 栃木県保健福祉部保健福祉課 主事　本多　輝彦氏 ・こども食堂体験 ・ふりかえり	7人

５　共同募金会との協働

共に地域福祉の推進を図るパートナーとして、共同募金の趣旨、役割の周知と理解の促進のため、各種募金活動への協力と歳末たすけあい運動に参加すると共にポスターを作成した。

６　障害者の社会参加の促進

⑴　とちぎ視聴覚障害者情報センター（点字図書館・聴覚障害者情報提供施設）の充実

点訳・音訳図書の製作・貸出を実施するとともに、要約筆記者、手話通訳者の養成及び派遣支援を行うことにより、視聴覚障害者への情報提供や社会参加の促進を図った。また、点訳・音訳に携わるボランティアの養成・技術の向上を目的とした講習会を開催し、ボランティア活動の支援等を行った。

とちぎ視聴覚障害者情報センター利用者数及び活動者数

視覚障害	聴覚言語障害	奉仕員等	計
17,136人	1,508 人	2,988 人	21,632 人

① 点字図書館だより等の発行〔再掲〕

新刊図書案内、センターからのお知らせ等利用者及び関係機関への広報を行った。

ア 点字図書館だより（年 4 回発行）

〔発行部数〕

点 字	墨 字	テープ	デイジー
各250部	各 550 部	各 32 部	各 67 部

イ 各種情報の提供

	発行頻度	発行部数	提供方法
声の情報若草	月 1 回	各 86 巻	デイジー・カセットテープ貸出
福祉労働	年 4 回	各 7 巻	デイジー貸出
とちぎタウンガイド	年 4 回	各 33 巻	デイジー貸出
ステレオ	月 1 回	各 21 巻	デイジー貸出

② 点字図書館の整備・貸出

視覚障害者に各種の情報を提供するため、点字・録音図書等の整備・貸出を行った。

ア 点字・録音図書利用状況

利用者数	貸出冊数	新規登録者数
17,136人	45,872冊	13人

〔図書貸出状況内訳〕

	点 字 図 書			録 音 図 書				合 計
	点字	ＤＬ	計	テープ	ＣＤ	ＤＬ	計	
０ 総 記	3	1,034	1,037	0	21	158	179	1,216
１ 哲 学	50	2,300	2,350	2	88	557	647	2,997
２ 歴 史	14	835	849	48	97	323	468	1,317
３社会科学	31	2,629	2,660	4	123	1,523	1,650	4,310
４自然科学	88	2,218	2,306	10	103	2,292	2,405	4,711
５ 技 術	54	1,176	1,230	20	46	1,545	1,611	2,841
６ 産 業	6	468	474	0	29	286	315	789
７ 芸 術	7	1,333	1,340	15	89	1,106	1,210	2,550
８ 言 語	30	727	757	0	9	201	210	967
９ 文 学	680	8,901	9,581	794	3,813	9,930	14,537	24,118
そ の 他	6	43	49	0	7	0	7	56
合 計	969	21,664	22,633	893	4,425	17,921	23,239	45,872

〔点字・録音雑誌貸出状況内訳〕

	点 字 雑 誌			録 音 雑 誌			
	点 字	Ｄ Ｌ	計	テープ	Ｃ Ｄ	Ｄ Ｌ	計
タイトル数	306	0	306	904	5,016	87	6,007
冊（巻）数	306	0	306	904	5,016	87	6,007

〔点字・録音図書蔵書数〕

図書名	点字図書	録音図書	デイジー図書
タイトル数	10,782	5,055	4,731
冊（巻）数	35,639	31,918	4,742

イ　サピエの利用

視覚障害者等の目で文字を読むことが困難な方々に対して、さまざまな情報を点字、音声データで提供するネットワーク（サピエ）を通じて、点字・録音図書の登録、点字データのアップ・ダウン、オンラインリクエストによる相互貸借を行った。

・　図書の登録　　点字図書　　151タイトル、録音図書（CD）　　76タイトル

・　コンテンツの登録

	点字データ	音声デイジー	テキストデイジー
アップタイトル数	152	70	4
ダウンタイトル数	13,195	20,322	268

・　相互貸借　　オンラインリクエスト（送信数　　3,399 回・受信数　　2,045回）

③　音訳技術講習会の開催

雑誌、蔵書の音訳活動をしているボランティアの音訳技術の更なる向上を目指して講習会を開催した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
H30.2.28（水）	宇都宮市 パルティとちぎ男女共同参画センター	声のアンチエイジング・エクササイズ	161人
H30.3.16（金）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	デイジー録音の基礎知識	97人

④　専門書点訳ボランティア養成研修会の開催

点字図書館で不足している専門書の増加を図るため、専門書の点訳を行うボランティアの養成を行った。

期　日	場　所	内　容	参加者数
H30.2.15（木） H30.3.1　（木） H30.3.15（木）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	点訳校正技術講習	延45人

⑤　ＤＡＩＳＹ図書製作ボランティアの養成

ＤＡＩＳＹ図書（デジタル録音図書）を製作するボランティアの養成を行った。

期　日	場　所	内　容	参加者数
H29.5.16（火） H29.5.23（火） H29.5.30（火）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	デイジー録音図書編集ソフトを使用したパソコンによるCD図書製作のための知識の習得	各7人

⑥　県内点訳・音訳グループとの連携

県内点訳・音訳グループを対象とした研修会を開催し、情報を共有するとともに連携を強化した。

事業名	期　日	場　所	内　容	参加者数
とちぎ視聴覚障害者情報センター点字図書館ボランティア募集説明会及びボランティア懇談会	H30 2.14(水) 2.21(水)	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	・センターの見学とボランティア活動についての詳細説明 ・質疑応答	延12人

⑦　点字ニュース即時提供事業の実施

点字情報を、インターネットを利用して情報を提供した。

ア　ＪＢニュース（点字版）の配布

公共図書館　1か所、視覚障害者関係団体　2か所、視覚障害者　6人

イ　インターネットによる情報提供（利用者　18人）

⑧　県広報誌の作成（点字・音声）

ア　点字広報誌「とちぎ」及び声の広報「とちぎ」の製作等

・点字広報誌「とちぎ」の点訳、印刷製本、発送（12回+特別号発行　発行部360部）

・声の広報「とちぎ」の音訳、製作、発送（12回+特別号発行　発行本数　160本）

イ　「県議会とちぎ」（点字版）（音声版）の製作等

・「県議会とちぎ」（点字版）の点訳、印刷製本、発送（4回発行　発行部数360部）

・「県議会とちぎ」（音声版）の音訳、製作、発送（4回発行　発行部数　130本）

⑨　プライベートサービスの実施

視覚障害者等への図書や資料の個人的な点訳サービス等を行った。

・　点訳等　152件

⑩　earたより21の発行〔再掲〕

聴覚障害者への情報提供のため、earたより21を発行した。

(年4回発行 発行部数 各850部)

⑪　字幕（手話）入りビデオ・DVDライブラリーの整備・貸出

聴覚障害者に各種の情報を提供するため、字幕（手話）入りビデオ・DVDの整備・貸出を行った。

〔字幕（手話）入りビデオ・DVD貸出状況〕

分　類	貸出本数	分　類	貸出本数
C　趣味・教養	4	S　スポーツ	0
D　記録・報道	29	V　芸能・娯楽	0
E　教育・教材	10	X　手話	48
F　映画・ドラマ	3	Y　手話付きの番組	0
H　健康	7	Z　手話学習用	143
J　子ども物・アニメ	6	T　情報センター	11
M　文字放送	0	合　計	261

〔年齢別等利用者数〕

年代	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	合計（人）
貸出者数	0	1	8	13	46	60	18	0	146

ビデオ利用登録者数　533人

〔字幕（手話）入りビデオ・DVD蔵書数〕

タイトル数	本　数
3,699	5,711

⑫　手話通訳者の養成及び派遣支援

手話通訳の養成講習会等を行うとともに、手話通訳者の派遣等を支援した。

ア　各種講習会の実施（拡充）

	事業名	期　日	場　所	内　容	参加者数	H28年度参加者数
県央会場	手話通訳者養成講習会 手話通訳Ⅰ	H29.4.22（土） ～H30.2.24（土）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	実技・理論 全38回	17人	16人
	手話通訳者養成講習会 手話通訳Ⅱ	H29.4.22(土) ～H30.2.10(土)		実技・理論 全36回	12人	12人
	手話通訳者養成講習会 実践①	H29.4.22（土） ～ 8.19（土）		実技・理論 全15回	11人	8人
	手話通訳者養成講習会 実践②（新規）	H29.4.22（土） ～ 8.17（木）		実技・理論 全15回	4人	－
県南会場	手話通訳者養成講習会 手話通訳Ⅰ	H29.4.22（土） ～H30.2.15（木）	栃木市 栃木保健福祉センター	実技・理論 全38回	15人	11人
	手話通訳者養成講習会 手話通訳Ⅱ	H29.4.22（土） ～H30.2.1(木)		実技・理論 全36回	9人	17人
県北会場	手話通訳者養成講習会 手話通訳Ⅰ（新規）	H29.4.22（土） ～H30.2.27（火）	那須塩原市 西那須野公民館	実技・理論 全38回	6人	－
手話通訳者養成 フォローアップ講習会 〔弱点克服〕		H29.6.11（日） ～7.30（日）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	読取・表現等 全4回	19人	18人
手話通訳者養成 フォローアップ講習会 〔受験対策〕		H29.9.2（土） ～11.18（土）		演習 全10回	30人	22人
手話通訳者養成 ステップアップ講習会		H29.9.12(火) ～H30.2.27(火)		読取・表現等 全11回	21人	22人

イ　手話通訳派遣支援事業　　手話通訳者派遣支援業務委託契約市町（12市町・2団体）

	医療	研修会	職業	公的機関	会議	教育	講演会	各種講習	各種大会	家庭	その他	合計
件数	366	0	22	29	1	62	11	93	10	35	73	702

ウ　県域障害者福祉団体への派遣件数（43件　延162人）

エ　手話通訳者斡旋件数（388件　延973人）

オ　手話通訳者研修会の実施

期　日	場　所	内　容	参加者数
第1回 H29.5.13(土)	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	・登録制度（更新制）の変更について ・盲ろう者向け通訳の注意点について	73人
第2回 H29.7.16(日)	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	・通訳技術／読取 読み取り通訳演習（グループワーク）	10人
第3回 H29.9.10(日)	矢板市 矢板市生涯学習館	・事例検討／意見交換 合理的配慮について	25人
第4回 H29.12.9(土)	壬生町 壬生町保健福祉センター	・講義／演習 「翻訳力を高めよう（日本語→手話）」 【講師】（特非）川崎市ろう者協会 手話対策部長　杉原　大介氏	17人
第5回 H30.2.10(土)	佐野市 田沼中央公民館	・実技演習 「伝わりやすさを考えた表現」	19人
第6回 H30.3.17(土)	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	・事例検討 【講師】（一社）日本手話通訳士協会 理事　田中　清氏	40人

カ　栃木県登録手話通訳者新人研修会の実施

期　日	場　所	内　容	参加者数
H29.5.13(土)	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	派遣時の注意、登録制度、 センター機能について	3人

キ　栃木県登録手話通訳者実技講習会の実施（新規）

期　日	場　所	内　容	参加者数
第1回 H30.1.21（日） 第2～6回 H30.1.27（土） 2. 3（土） 2.17（土） 2.24（土） 3. 3（土）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	第1回 講義 「手話通訳者の倫理」 講師：（一社）日本手話通訳士協会 副会長　川根　紀夫氏 第2～6回 手話通訳現場を想定した実技演習	15人

ク　頸肩腕検診の実施

期　日	場　所	依頼先	参加者数
H29.9.12（火） H29.9.30（土）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	（医）南葛勤医協 芝健診センター	手話通訳者等36人 要約筆記者13人

⑬　認定試験の実施

ア　栃木県登録手話通訳者認定試験

手話通訳者派遣事業等で活動する登録手話通訳者の認定試験を実施した。

（受験者数　31人・合格者数　9人）

イ　栃木県登録要約筆記者認定試験
要約筆記者派遣事業等で活動する登録要約筆記者の認定試験を実施した。
（受験者数　20人・合格者数　4人）

⑭　要約筆記者の養成及び派遣支援
要約筆記者の養成講習会等を行うとともに、要約筆記者の派遣等を支援した。

ア　各種講習会の実施

事業名	期　日	場　所	内　容	参加者数
要約筆記者養成講習会（手書き・パソコン）	H29.5.6(土)～12.16(土)	宇都宮市とちぎ福祉プラザ	実技・理論　全28回	17人
養成講習会修了者向け試験対策講習会	H29.5.20(土)～12.9(土)		認定試験振り返り・実技　全8回	11人
要約筆記者認定試験対策講習会	H30.1.13(土)～2.10(土)		理論・実技・模擬試験　全5回	22人

イ　要約筆記者派遣事業　　要約筆記者派遣支援業務委託契約市町（17市町）

	医療	研修会	職業	公的機関	会議	教育	講演会	各種講習	各種大会	家庭	その他	合計
件数	20	5	0	1	56	3	7	45	1	22	9	169

ウ　県域障害者福祉団体への派遣件数（25件　延148人）

エ　要約筆記者斡旋件数（167件　延443人）

オ　要約筆記者研修会の実施

期　日	場　所	内　容	参加者数
第1回 H29.5.13（土）	宇都宮市とちぎ福祉プラザ	「登録制度（更新制）の変更について」 「盲ろう者向け通訳の注意点について」	59人
第2回 H29.7.23（日）		講義「《入力者のための》ツール使い方体験　part４」 講師：静岡福祉大学社会福祉学部 非常勤講師　森　直之氏	20人
第3回 H29.10.29（日）		講義「基礎力の見直し～よりよい派遣現場をめざしてpart2～」 講師：（特非）全国要約筆記問題研究会 千葉　則子氏	5人
第4回 H30.3.3（土）		講義「難聴者運動と要約筆記の歴史」 講師：（一社）全日本難聴者・中途失聴者団体連合会 要約筆記副部長　藤谷　弘晃氏	24人

カ　栃木県登録要約筆記者新人研修会の実施

期　日	場　所	内　容	参加者数
H29.4.22（土）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	・派遣の種類と依頼方法 ・報告書の記入の方法　他	3人

キ　栃木県登録要約筆記者実技講習会の実施（新規）

期　日	場　所	内　容	参加者数
第1回 H29.11.8（水）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	講義／実技 「きれいな字を書くコツを学ぶ」 講師：六度法創案者 富澤　敏彦氏	12人
第2回 H29.12.7（木）	宇都宮市 わかくさアリーナ	講義／パソコン向け実技 「パソコンを使った文字による情報保障」 講師：全国文字通訳研究会 副理事長　大場　美晴氏 神奈川県登録要約筆記者 里村　徐子氏	8人
第3回 H30.1.14（日）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	講義／パソコン向け実技 「パソコン文字通訳の基礎」 講師：全国文字通訳研究会 副理事長　大場　美晴氏 大阪府登録要約筆記者 日根　真理氏	9人

⑮　栃木県手話通訳者・要約筆記者派遣事業運営委員会等の開催

手話通訳者・要約筆記者派遣事業を効果的に実施するため、運営委員会、手話部会、要約筆記部会を開催した。

ア　運営委員会

期　日	場　所	内　容
H30.3.5（月）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	・平成29年度事業の進捗状況について ・平成30年度事業の事業計画について ほか

イ　手話部会

期　日	場　所	内　容
H30.3.12（月）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	・平成29年度手話通訳者派遣について ・平成29年度手話通訳者研修会について ・栃木県登録手話通訳者実技講習会について ・平成30年度指定研修について

ウ　要約筆記部会

期　日	場　所	内　容
H29.4.6（木）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	・平成28年度要約筆記者研修会受講状況報告について ・平成29年度要約筆記者研修会（案）について

⑯　障害者のための情報機器技術習得研修会の開催

視聴覚障害者が自らパソコンでインターネット、電子メール等で情報を入手し、生活に活用できる環境作りの支援を目的として研修会を開催した。

事業名	期　日	場　所	内　容	参加者数
パソコン教室開催事業 （視覚障害者）	H29.8.5（土）、8.25（金） 9.2（土）、10.14（土）、 10.27（金）、11.10（金）、 12.2（土）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	パソコン操作の技術習得	延29人

事業名	期　日	場　所	内　容	参加者数
パソコン教室 開催事業 (聴覚障害者)	H29.9.30（土）、 10.7（土）		パソコン操作の 技術習得	延5人

⑰　情報機器等の貸出

機器名	貸出件数	機器名	貸出件数
プロジェクター等	28	ビデオカメラ一式	0
録音機器一式	1	パソコン機器	7
ヒアリングループ	2	合　計	38

⑱　聴覚障害者向け相談支援　（27件）

⑵　障害者差別解消法など法制度改正等への適切な対応

社会的障壁の除去の実施についての必要かつ合理的な配慮を的確に行うため、事務所、会議室等の構造の改善及び設備の整備、職員に対する意識啓発など、必要な環境の整備に努めた。

⑶　とちぎセルプセンターへの充実強化

①　とちぎセルプセンターへの職員配置

就労支援事業所等の作業の受注確保や商品の販路拡大、新商品（独自商品・ブランド商品）の開発や技術支援、共同受注システムのネットワーク化を図ることを目的として設置された、とちぎセルプセンターに職員を配置し円滑に事業が実施できるよう支援を行った。

②　おもいやり駐車場スペースつぎつぎ事業

表示板設置協力施設からの申出を受け、セルプセンターの会員事業所においてステッカー貼付作業を行った。

⑷　関係団体等との連携及び支援

①　栃木県障害者スポーツ大会

栃木県障害者スポーツ大会の運営に参画するとともに、大会の前日及び当日に職員を動員した。（H29.9.24(日)　栃木県総合運動公園ほか）

②　栃木県障害者文化祭

栃木県障害者文化祭の運営に参画するとともに、文化祭の前日及び当日に職員を動員した。（H29.11.2(木)・3(金)　とちぎ福祉プラザほか）

7　福祉拠点における活動の充実

⑴　とちぎ福祉プラザの円滑な運営

栃木県からの指定管理(平成 26 年～30 年)をうけて、とちぎ福祉プラザの管理運営業務を行った。

①貸出施設状況

➢ とちぎ福祉プラザ（開館日数　336 日）

施設区分等	利用回数等（回）	利用者数(人)
多目的ホール	266	39,437

施設区分等	利用回数等（回）	利用者数(人)
特別会議室	257	3,813
レクリエーション室	607	6,280
和　室	311	2,309
調理実習室	234	3,866
第１研修室	632	22,819
第２研修室	597	22,215
２０１会議室	685	7,949
福祉研修室	547	44,201
３０１会議室	566	9,362
４０１会議室	578	10,579
４０２会議室	607	8,335
４０３会議室	555	7,585
４０４会議室	222	3,300
相談室	171	585
受付・案内対応	－	8,353
視察・見学	31	1,303
モデルルーム	－	2,290
合　計	6,866	204,581

➢ 障害者スポーツセンター（わかくさアリーナ）（開館日数　308 日）

施設区分等	利用回数等（回）	利用者数(人)
アリーナ全面	440	24,674
アリーナ半面	1,118	11,895
ＳＳＴ室①	115	17,406
ＳＳＴ室②	91	17,328
会議室	200	19,212
トレーニング室	126	159
多目的室	215	18,111
受付・案内対応	－	4,751
視察・見学	14	138
合　計	2,319	113,674

②とちぎ福祉プラザ管理運営協議会

民間福祉活動の拠点としてのとちぎ福祉プラザの機能を活かすため、とちぎ福祉プラザ入居団体との連絡調整を行った。（年２回：H29.7.25、H30.1.25、入居団体数　33）

Ⅱ　市町社協活動の推進・支援

1　市町社協の基盤強化と事業への支援

⑴　「社協・生活支援活動強化方針」の推進

①　地域福祉活動計画策定の支援

ア　策定経費の助成

計画策定にかかる経費の一部を栃木県地域福祉振興基金(栃の実基金)から助成した。

助　成　先	助　成　額
宇都宮市社会福祉協議会、佐野市社会福祉協議会、 大田原市社会福祉協議会、さくら市社会福祉協議会、 那須烏山市社会福祉協議会、益子町社会福祉協議会、 茂木町社会福祉協議会	2,450,000 円

イ　地域福祉推進セミナーの開催

市町が策定する地域福祉計画及び市町社協が策定する地域福祉活動計画の意義や策定手法を学ぶ研修会を実施した。

期　日	場　所	内　　容	参加者数
H30.2.15 (木)	宇都宮市 パルティ	講義「社会福祉の総合化と地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定－社会福祉の新しいステージへ－」 講師　同志社大学　准教授　永田　祐氏	63 人

ウ　個別支援

計画づくりに取り組む社協へ必要な情報の提供等の支援を行った。

（策定委員会及び作業部会への参加　1 か所）

②　コミュニティワークの推進・強化

地域福祉の推進を図るための「人づくり」「組織づくり」等を支援するため、研修会等を実施した。

ア　とちぎ社協コミュニティワーク研究会

社協におけるコミュニティワークの専門性の向上のため、県内市町社協職員で構成する研究会を開催した。

期　日	場　所	内　　容
H29.4.24 （月）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	・視察（秋田県社協及び藤里町社協）の報告 ・市町社協初任者研修会について ・社協コミュニティワーク研修会（基礎編）について ・総合的な福祉人材の育成事業について
H29.6.5 （月）		・社協コミュニティワーク研修会（基礎編）について ・総合的な福祉人材の育成事業について
H29.10.12 （木）		・社協コミュニティワーク研修会（基礎編）について ・社協コミュニティワーク研修会（フォローアップ編）について
H30.2.5 （月）		・社協コミュニティワーク研修会（基礎編）について ・社協コミュニティワーク研修会（フォローアップ編）について

期 日	場 所	内 容
		・平成 30 年度研究会について

イ　社協コミュニティワーク研修会（基礎編・認定コース）

2 か年を 1 期とした研修（全 6 回）を行い、修了者には修了証及び認定カードを交付した。H29 年度は 6 期生 2 年目(3 回 3 日間)と 7 期生 1 年目（3 回 5 日間）の研修を実施した。

期 日	場 所	内 容	参加者数
H29.6.13 （火）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	【6 期生第 4 回】 (1)演習「記録の作成方法④（支援計画・長期経過記録)」 講師 那須町社会福祉協議会 主査　木下　博之氏 (2)講義・演習「コミュニティワークの実践①」 講師 日光市社会福祉協議会 主査　中村　哲也氏	6 人
H29.7.10 （月）		【7 期生第 1 回①】 (1)開講式 (2)講義・演習「コミュニティワーク論①（地域福祉と社協ほか)」 (3)講義・演習「コミュニティワーク論②（コミュニティワーク概論、コミュニティワークの具体的な日常業務ほか)」 講師 立正大学　講師　川本　健太郎氏	7 人
H29.7.11 （火）		【7 期生第 1 回②】 (1)演習「記録の作成方法①（地区カルテ・行動記録の基礎)」 講師 日光市社会福祉協議会 支所長・室長　松本　昌宏氏 (2)講義・演習「地域の把握方法（調査法)」 講師 日光市社会福祉協議会 主査　中村　哲也氏	7 人
H29.9.8 （金）		【7 期生第 2 回】 (1)演習「記録の作成方法②（地区カルテ・行動記録・その他の記録)」 講師 那須町社会福祉協議会 主査　木下　博之氏 (2)講義・演習「コミュニティワーク論③（個別支援と地域支援の違い、3 つの目標ほか)」 講師 東洋大学　准教授　加山　弾氏	7 人

期 日	場 所	内 容	参加者数
H29.10.27（金）	那須町内	【6期生第5回】 (1)講義・演習「コミュニティワークの実践②」 講師 那須町社会福祉協議会 係長　山口　貴志氏 主査　木下　博之氏 主事　川上　未来氏 日光市社会福祉協議会 支所長・室長　松本　昌宏氏 市貝町社会福祉協議会 事務局次長　北井　孝文氏	6人
H30.2.9（金）	宇都宮市とちぎ福祉プラザ	【6期生第6回】 (1)講義・演習「コミュニティワーク論⑦（全体総括）」 講師 日光市社会福祉協議会 支所長・室長　松本　昌宏氏 (2)演習「グループワーク（これからを考える）」 講師 市貝町社会福祉協議会 事務局次長　北井　孝文氏	7人
H30.2.20（火）		【7期生第3回②】 (1)演習「記録の作成方法③（地区カルテ・行動記録・支援計画）」 講師 那須町社会福祉協議会 主査　木下　博之氏 (2)講義・演習「コミュニティワーク論⑥（コミュニティワークの実践方法、プログラム評価ほか）」 講師 明治学院大学　専任講師　榊原　美樹氏	5人
H30.3.16（金）		【7期生第3回①】 (1)講義・演習「コミュニティワーク論④（事例検討の意義・方法ほか）」 (2)講義・演習「コミュニティワーク論⑤（事例検討の実際ほか）」 講師 東洋大学　教授　山本　美香氏	5人

※7期生第3回①②は、規定カリキュラムとの日程を前後して開催した。

ウ　社協コミュニティワーク研修会（フォローアップ編）の開催

社協コミュニティワーク研修会（基礎編）修了者等を対象者として、ステップアップを図るために研修会を開催した。

社協として、個別支援と地域支援両方の側面を併せ持つ実践に取り組むため、生活支援活動強化研修会（③イ）と併せて開催した。

期 日	場 所	内 容	参加者数
H30.3.8 （木）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	講義「地域課題を『我が事』化していくための社協コミュニティワークの実践」 講師　花園大学　教授　川島　ゆり子氏	13 人

エ　コミュニティワーク推進モデル事業の実施

記録や事例検討などコミュニティワークを推進する業務サイクルや体制を社協が組織として構築できるようモデル社協を指定し（1 か所）、アドバイザーを設置して事業を実施した。

・モデル社協：大田原市社会福祉協議会(1 年目)

・アドバイザー：宇都宮大学　専任講師　呉　世雄氏

事業名	期 日	場 所	内 容
第 1 回研修会	H30.2.16（金）	大田原市 大田原市 福祉センター	講義「地域共生社会とコミュニティワーク：個別支援から地域支援へ」

③　小地域福祉活動推進事業の推進

ア　小地域福祉活動推進セミナーの開催

身近な地域で住民がともに支えあいながら、必要な支援を受け、社会とのつながりを持ちながら住み暮らした地域で暮らし続けられるよう小地域福祉活動を推進するため、地域住民と行政、民間福祉サービス事業者等が共に考えることを目的としたセミナーを開催した。

期 日	場 所	内 容	参加者数
H30.3.5 （月）	宇都宮市 栃木県庁	(1)講演「地域のみんなでふくしのまちづくり～小地域福祉の意義と効果～」 講師 国際医療福祉大学　准教授　大石　剛史氏 (2)実践発表「各地で取り組む小地域福祉活動」 内容・発表者 ①那須烏山市南自治会「気がつき隊」活動の取り組み 那須烏山市南自治会 副会長　堀江　進一氏 ②足利市内地区社協のサロン活動の取り組み 足利市社会福祉協議会 主任主事　中西　聖氏 ③小地域福祉活動と民生委員児童委員との連携の取り組み 宇都宮市中央地区民生委員児童委員協議会　会長　影山　房與氏 (3)パネルディスカッション「これからの小地域福祉活動の展開」 コーディネーター　大石　剛史氏 パネラー　堀江　進一氏 中西　聖氏 影山　房與氏	103 人

イ　生活支援活動強化研修会の開催

「社協・生活支援活動強化方針」の具体化に向けて、地域福祉の動向を踏まえた社協の役割や取り組むべき方向性について考えるため、研修会を開催した。

社協として、個別支援と地域支援両方の側面を併せ持つ実践に取り組むため、社協コミュニティワーク研修会（フォローアップ編）（②ウ）と併せて開催した。

期 日	場 所	内 容	参加者数
H30.3.8（木）	宇都宮市とちぎ福祉プラザ	講義・演習「総合相談支援の役割と機能」 講師　花園大学　教授　川島　ゆり子氏	11 人

ウ　第 11 回全国校区･小地域福祉活動サミット in　ＮＩＫＫＯ（新規）

小地域（学校区や自治会区など）における様々な福祉活動の取り組みを学び、また、実践者同士の交流やつながりの場を通して更なる活動への意欲を高めることを目的として開催した。（第 11 回全国校区・小地域福祉活動サミット in NIKKO 実行委員会、日光市社会福祉協議会主催、本会は共催）

参加者数　1,010 人　※スタッフ、出演者、共催・後援者を含む

期 日	場 所	内 容
H29.11.30（木）～ 12.1（金）	日光市藤原総合文化会館他	1 日目 (1)オープニング (2)基調講演「小地域の“モト”」 講師　関西学院大学名誉教授／関東学院大学名誉教授／小地域福祉活動を楽しむ全国ネットワーク代表世話人 牧里　毎治氏 (3)分科会 ・第 1 分科会　目からウロコ！気軽に集える居場所づくり」 実践報告者　とうふの会　会長　土田　忠明氏 えがおをつなぐとちぎ木育の会　会長　大類　智枝氏 まちの縁側育みプロジェクトながの事務局　西澤　淑恵氏 コーディネーター 国際医療福祉大学医療福祉学部准教授　大石　剛史氏 ・第 2 分科会　思わず唸る、「まちおこし」のイロハ～過疎地域の活性化のヒントは「誇り」「仲間づくり」「ビジョンの共有」！？～ 実践報告者 あしお民立こども大学　代表　中山　京氏 NPO 法人くまの木里の暮らし　事務局長　加納　麻紀子氏 コーディネーター 立正大学社会福祉学部　専任講師　川本　健太郎氏 ・第 3 分科会　動かずにはいられない！～貧困を理由に子どもから“機会”を奪わないための取り組み～ 実践報告者 認定 NPO 法人だいじょうぶ　理事長　畠山　由美氏 下野新聞社那須塩原支局　支局長　石田　聡氏 母子の居場所　Your Place ひだまり　卒業生

期 日	場 所	内　　容
		コーディネーター 宇都宮大学地域デザイン科学部　准教授　石井　大一朗氏 ・第 4 分科会　“認知症”だからじゃない、つながる地域を考えよう～認知症の隔たりがない、人と人とがつながるやさしい地域づくり～ 実践報告者 にっこう認知症・若年性認知症の家族の会 副代表　水野　嘉子氏／水野　貴美子氏 川崎市宮前区土橋町内会副会長／宮前第二地区社協 会長　老門　泰三氏 コーディネーター NPO 法人風の詩　社会福祉士　永島　徹氏 ・第 5 分科会　「ずっと聴きたかった…」「ずっと言えなかった…」～“共に生きる”を語り合おう！～ 実践報告者 NPO 法人日常生活支援ネットワーク　障害者地域生活支援活動コーディネーター　椎名　保友氏 認定 NPO 法人茨城 NPO センター・コモンズ　代表理事 横田　能洋氏 コーディネーター 一般社団法人とちぎ市民協働研究会　代表理事 廣瀬　隆人氏 ・第 6 分科会　不安だったけど…“地域”を守った日ごろの活動～災害と地域の福祉力～ 実践報告者 川治自治会　会長　関本　昭氏 Nukiito（ぬきいと）　代表　髙山　弘毅氏 コーディネーター NPO 法人にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長　李　仁鉄氏 ・第 7 分科会　パートナーシップによる地域福祉“倍増”計画！～知っていますか？連携による地域活動の大きな効果～ 実践報告者 スマイル日光プロジェクト　会長　小栗　卓氏 NPO 法人福聚会和久井亭　管理者　石綱　秀行氏 コーディネーター 株式会社 Publico　代表取締役 CEO　長浜　洋二氏 コメンテーター 1%（ワンパーセント）クラブ事務局次長　長井　恵美子氏 ・第 8 分科会　やっぱり故郷があったかい！～子どもの郷土愛を育む福祉教育～

期 日	場 所	内 容
		実践報告者 日光市立足尾中学校　教諭　小倉　孝司氏 大阪市北区社会福祉協議会　主査　軸丸　政代氏 コーディネーター 大阪教育大学教育学部　教授　新崎　国広氏 ・第 9 分科会　きっと誰かに伝えたくなる、地域と高校生の物語 ～過疎化に立ち向かう新谷菜“縁”をつなぐ地域づくり～ 実践報告者 川俣みらい委員会　前委員長　平　英一氏 NIKKO 高校生ボランティアネットワーク／栃木県立今市工業高等学校 2 年　藤田　凌平氏　　山越　瑞貴氏 コーディネーター 同志社大学社会学部　准教授　永田　祐氏 ・第 10 分科会　住民主体を育む場づくり～ほんとの住民主体とおしきせ住民主体の境界線～ 実践報告者 ラ・ビスタささえ愛ネット 野田　久美子氏、板東　克子氏、田山　眞知代氏 松永　致和氏 NPO 法人ハートフレンド　代表理事　徳谷　章子氏 ファシリテーター 豊中市社会福祉協議会　福祉推進室長　勝部　麗子氏 (4)交流会 2 日目 (5)シンポジウム「実践！小地域活動！！」 実践報告者 久次良町自治会　副会長　宮地　ゆみ氏 磯長台の福祉を考えるつどい　代表　佐藤　貞良氏 たまり場・たろう　代表　小松﨑　登美子氏 コーディネーター 関西学院大学　教授　藤井　博志氏 コメンテーター　牧里　毎治氏 (6)まとめ～未来へつなぐ「誇り」～ ゲスト 日本書道師範／日光観光大使　涼　風花氏 宝珠道心太鼓 分科会報告 第 11 回全国校区･小地域福祉活動サミット in NIKKO 実行委員会 総括　牧里　毎治氏 (7)クロージング

⑵ 地域福祉推進のための市町社協の運営基盤強化

① 市町社協事務局長会議の開催

期 日	場 所	内 容
H29.6.14 （水）	とちぎ福祉プラザ （宇都宮市）	・行政説明 「平成 29 年度栃木県保健福祉部における社会福祉協議会関係事業の執行方針について」 栃木県保健福祉部 保健福祉課 地域福祉担当 ・事業説明 「平成 29 年度栃木県社会福祉協議会の事業執行方針について」 本会事務局長、部長

② 市町社協役職員研修会の実施

ア 市町社協初任者職員研修会

新任社協職員として必要な基礎知識及び技術、仕事に取り組む基本的な姿勢を習得するため、研修会を開催した。受講者 20 人

回数	期 日	場 所	内 容
第 1 回	H29.5.16 （火）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	・オリエンテーション ・社会福祉協議会の基本理念と役割 【講師】栃木県社会福祉協議会 地域福祉部長 齋藤 禎 ・ビジネスマナー基礎① 【講師】有限会社 エファ 代表取締役 菊地 理恵氏
第 2 回	H29.5.17 （水）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	・ビジネスマナー基礎② 【講師】有限会社 エファ 代表取締役 菊地 理恵氏
第 3 回	H29.5.26 （金）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	・社会福祉援助技術論 【講師】国際医療福祉大学 准教授 大石 剛史氏 ・基礎実務① 【講師】栃木県共同募金会 主任 池田 秀昭氏 ・基礎実務② 【講師】栃木県社会福祉協議会 主事 橋本 和重 ・基礎実務③ 【講師】栃木県社会福祉協議会 主任 早乙女 祐子 ・基礎実務④ 【講師】栃木県社会福祉協議会 主任 鈴木 佐苗
第 4 回	H29.5.31 （水）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	・コミュニティワーク論① 【講師】日光市社会福祉協議会 支所長・室長 松本 昌宏氏 ・社協活動論① 【講師】栃木県社会福祉協議会 地域福祉部長 齋藤 禎 ・福祉教育論① 【講師】作新学院高等学校 教諭 森 照代氏

回数	期 日	場 所	内 容
第5回	6月中に1日	栃木県内	現場実習
第6回	H29.7.3 （月）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	・コミュニティワーク論② 【講師】日光市社会福祉協議会　主査　中村　哲也氏 ・福祉教育論② 【講師】 四天王寺大学　講師　吉田　祐一郎氏 日光市社会福祉協議会　主事　松田　大樹氏
第7回	H29.7.6 （木）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	・ボランティア・市民活動論① 【講師】矢板市社会福祉協議会 主任　佐川　裕隆氏 ・社協活動論② 【講師】宇都宮市社会福祉協議会 主査　齋藤　久昭氏
第8回	H29.7.21 （金）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	・基礎実務⑤ 【講師】栃木県民生委員児童委員協議会 常務理事兼事務局長　荷見　晃氏 ・ボランティア・市民活動論② 【講師】宇都宮市まちづくりセンター センター長　安藤　正知氏 ・ボランティア・市民活動論③ 【講師】鹿沼市社会福祉協議会　主査　柴田　貴史氏
第9回	H29.7.28 （金）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	・コミュニティワーク論③ 【講師】市貝町社会福祉協議会 事務局次長　北井　孝文氏 ・ふりかえり 栃木県社会福祉協議会地域福祉・ボランティア課

イ　市町社協中堅職員研修会

中堅職員が将来リーダー的存在を目指す職員として、役割について理解を深め、社協職員としての資質・能力の開発と向上を図るため、研修会を開催した。

期 日	場 所	内 容	参加者数
H30.1.29 （月）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	・講義・演習「中堅職員の果たすべき役割」 【講師】株式会社ヒューマンスキル開発センター 事業部長　小野里　奈保氏	15人

ウ　市町社協管理職員研修会

管理職が自らの立場・役割を認識し、職員育成・組織運営管理に必要な知識を学び、住民への社協事業サービスの提供者として、資質・能力の開発と向上を図るため、研修会を開催した。

期 日	場 所	内 容	参加者数
H30.2.21 （水）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	・講義「市町社会福祉協議会における人材育成について」 【講師】HRM－LINKS　綱川労務管理センター 代表取締役　綱川　晃弘氏	16人

エ　市町社協トップセミナー

地域福祉を進める社協のトップとして、組織経営及び事業運営機能を高めるため、セミナーを開催した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
H30.2.23 （金）	宇都宮市 とちぎ健康 の森	・講義『「我が事・丸ごと」地域共生社会の実現と社会福祉協議会の役割』 【講師】社会福祉法人琴平町社会福祉協議会 常務理事・事務局長　越智　和子氏 厚生労働省「地域における住民主体の課題解決力強化・相談支援体制の在り方に関する検討会」（地域力強化検討会）構成員	28 人

オ　市町社協労務管理セミナー

労働関係法制度の動向について学び、適切な労務管理に役立てるためにセミナーを開催した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
H30.2.28 （水）	宇都宮市 とちぎ福 祉プラザ	・講義「有期契約労働者の無期転換について」 ・意見交換 【講師】社会保険労務士法人 SILCS 代表社員社長　社会保険労務士　今井　洋子氏	21 人

カ　市町社協経理研修会

会計処理、経理事務において、これらの順法性の確認と財務規律や内部統制向上に向けて取り組むべきこと、専門家・機関との連携について研修会を開催した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
H29.10.24 （火）	宇都宮市 とちぎ福 祉プラザ	・講義「適正な会計処理と経理事務について」 「財務規律と内部統制向上について」 【講師】根本明人税理士事務所 税理士　根本　明人氏	30 人

③　人事・労務管理アドバイザー事業の実施

労働及び社会保険に関する法令に適正に対応し健全な労働環境を整備するため、社会保険労務士と業務契約を結び、県内社会福祉協議会からの相談に対応した。

（相談件数 31 件）

④　栃木県地域福祉振興基金（栃の実基金）事業の実施

地域における民間福祉活動の推進並びにボランティア活動の振興を目的として、栃木県地域福祉振興基金を活用し、市町社会福祉協議会、市民団体等への支援を行った。

また、災害救助法の適用となった地域や地域住民に対する支援活動への助成、おもいやり駐車スペースつぎつぎ事業の協力施設に専用ステッカー付き表示板を配付する事業に対する助成を行った。

ア　地域福祉推進事業・ボランティア活動振興事業

No.	社協名	社協別No.	事　業　名	地域/ボラ	補助年度		助成額(円)
					開始	終了	
1	宇都宮市	1	上河内地域ほっとネット推進プラン	地域	H26	H30	140,000
		2	地域の居場所づくりネットワーク事業	地域	H28	H32	200,000
		3	清原地区2025年福祉のまちづくりを考える会	地域	H29	H33	140,000
		4	城東地区サロン事業	地域	H25	H29	140,000
		5	豊郷地区サロン事業	地域	H25	H29	140,000
		6	河内地区サロン事業	地域	H25	H29	140,000
		7	城山地区サロン事業	地域	H29	H33	140,000
		8	宮の原地区サロン事業	地域	H29	H33	140,000
		9	河内地区福祉のまちづくり計画（小地域福祉活動計画）策定	地域	H28	H32	200,000
		10	平石地区福祉のまちづくり計画（小地域福祉活動計画）策定	地域	H28	H32	200,000
		11	瑞穂野地区福祉のまちづくり計画（小地域福祉活動計画）策定	地域	H29	H33	200,000
		12	第4次宇都宮市地域福祉活動計画策定	地域	H29	H30	350,000
		13	減災リーダー養成事業	ボラ	H26	H30	111,000
		14	傾聴ボランティア普及推進ネットワーク事業	ボラ	H26	H30	78,000
2	足利市	1	障がい児・者ふれあいサロン	地域	H29	H33	150,000
		2	傾聴ボランティア養成講座	ボラ	H29	H33	200,000
3	栃木市	1	親子ふれあいサロン事業	地域	H26	H30	200,000
		2	認知症支援システムネットワーク事業	地域	H27	H29	200,000
		3	日常生活自立支援事業「生活支援員」養成研修事業	地域	H29	H31	110,000
		4	大宮地区社協協力員育成事業	地域	H26	H30	140,000
		5	司法書士法律相談及び成年後見制度利用促進啓発事業	地域	H29	H31	210,000
		6	ボランティア活動振興事業（小野寺北小学校）	ボラ	H28	H29	70,000
		7	人権啓発活動（藤岡第一中学校）	ボラ	H28	H29	70,000
		8	福祉のこころ育成事業（大宮北小学校）	ボラ	H29	H30	70,000
4	佐野市	1	広報事業	地域	H29	H29	210,000
		2	第三次地域福祉活動計画策定事業	地域	H29	H30	350,000
		3	日常生活自立支援事業	地域	H29	H31	210,000
5	日光市	1	社会福祉法人の「地域における公益的な活動」推進事業	地域	H29	H33	210,000
		2	社協モデルファンドレイジング（新たな財源確保の仕組みづくりに関する研究）事業	地域	H27	H29	280,000
		3	第11回全国校区・小地域福祉活動推進サミット開催事業	地域	H29	H29	900,000
		4	CSR推進事業	ボラ	H25	H29	200,000
		5	災害支援ネットワーク整備事業	ボラ	H26	H29	200,000

6	小山市	1	地区社協活動計画策定・フォローアップ事業	地域	H29	H33	210,000
7	真岡市	1	法人後見事業	地域	H28	H30	200,000
8	大田原市	1	第三次大田原市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定事業	地域	H29	H30	350,000
		2	ぼくらのまちのウォークラリー	ボラ	H26	H30	100,000
9	矢板市	1	ふれあいサロン事業	地域	H28	H31	105,000
		2	地区社協設立事業	地域	H29	H32	150,000
10	さくら市	1	買い物バスツアー	地域	H25	H29	140,000
		2	さくらレコードサロン	地域	H29	H33	200,000
		3	さくら市地域福祉市民活動計画策定事業	地域	H29	H29	350,000
		4	“絆”（ボランティア）事業	ボラ	H25	H29	140,000
		5	3.11 追悼・応援イベント	ボラ	H26	H30	140,000
		6	養護施設及び企業、社協との連携支援事業	ボラ	H29	H33	200,000
		7	さくら交流会	ボラ	H26	H30	140,000
11	那須烏山市	1	障がい者余暇活動支援事業	地域	H28	H30	189,000
		2	小地域見守り活動	地域	H29	H31	160,000
		3	第 3 期地域福祉活動計画策定	地域	H29	H29	350,000
		4	地域福祉ボランティアネットワーク事業	ボラ	H28	H32	200,000
12	益子町	1	地域福祉活動計画策定事業	地域	H29	H30	350,000
		2	災害ボランティアセンター協力員育成事業	ボラ	H27	H31	140,000
13	茂木町	1	茂木町相談支援ネットワーク事業	地域	H25	H29	200,000
		2	子ども食堂支援事業、子ども・子育て支援事業	地域	H29	H33	210,000
		3	地域福祉活動計画策定事業	地域	H29	H30	350,000
14	市貝町	1	小地域ネットワーク会議事業	地域	H28	H32	140,000
		2	障害者の居場所づくり事業	地域	H28	H32	200,000
		3	社会資源情報整備事業	地域	H28	H30	700,000
		4	地区社会福祉協議会設置推進事業	地域	H28	H32	140,000
		5	成年後見制度啓発事業	地域	H28	H30	175,000
15	壬生町	1	世代間交流事業（お達者サロン）	地域	H28	H32	175,000
16	野木町	1	住民参加型在宅福祉サービス事業	地域	H29	H29	250,000
17	高根沢町	1	地域の居場所（ふれあいいきいきサロン）活性化事業	地域	H25	H29	200,000
18	那須町	1	第 2 期小地域福祉活動計画策定事業	地域	H29	H31	210,000
地域福祉推進事業　小計				18 社協・48 事業			11,004,000
ボランティア活動振興事業　小計				8 社協・15 事業			2,059,000
合　計				18 社協・63 事業			13,063,000

イ　県域団体

No.	団　体　名	事　業　内　容	助成額(円)
1	栃木県ボランティア連絡協議会	研修会・育成事業・広報活動・相談事業	750,000
2	社会福祉法人栃木いのちの電話	相談事業・電話相談員の養成・公開講座・自死遺族支援	350,000
合　計		2 団体	1,100,000

ウ　市民団体

No.	団　体　名	事　業　内　容	助成額(円)
1	シニアサロン「今日も行く会」	季節イベント（長寿のつどい、クリスマスイベント、おひな祭り会）	40,000
2	ボランティアグループふれあいクラブ	・介護予防・認知症予防教室 ・見守り、ごみ出し支援 ・子ども食堂への参加　　等	75,000
3	水木はやし保存会	・地域、福祉施設の祭りにおけるはやし演奏 ・子どもたちへの伝承指導	33,000
4	都賀町心身障害児(者)父母の会	スポーツ教室の通年実施（年 11 回）	50,000
5	子ども食堂ひまわり	子ども食堂ひまわりの運営	100,000
6	すみれ会	・デイサービスや老人会等での演奏、歌、ダンス ・勉強会	10,000
7	國學院大學栃木短期大學ボランティアサークルみたらし会	・三世代で楽しむハロウィンパーティー ・クリスマスキャンドルづくり（おもちゃ図書館利用者と高齢者施設との交流）	35,000
8	音訳ボランティアかわせみ	音訳講習会	25,000
9	小山市傾聴　思い川さくら	老人福祉施設での傾聴及びサロン活動	30,000
合計		9 団体	398,000

エ　災害支援活動助成事業

No.	団　体　名	支　援　先	助成額(円)
1	真岡市災害ボランティア支援委員会	福島県南相馬市	100,000
2	チーム「夢・希望・元気」プロジェクト	福島県相馬市	100,000
3	NPO 法人地球緑化センター　市貝町ふじやまを保存する会	福島県いわき市	100,000
4	ボランティアグループまなびば	福島県浪江町	100,000
5	栃木県立さくら清修高等学校	宮城県名取市	100,000
6	さくら市社会福祉協議会	宮城県東松島市	100,000
7	ボランティアグループたま仲同好会	宮城県石巻市	100,000
8	ボランティアグループひとときコンサートの会	宮城県石巻市	100,000
9	みらい・ともに・すすむ	福島県郡山市	100,000
10	傾聴ボランティア“ほのぼの”	宮城県南三陸町	100,000
合計		10 団体	1,000,000

オ　おもいやり駐車スペースつぎつぎ事業助成事業

団体名	事業名	助成額(円)
とちぎセルプセンター	おもいやり駐車スペースつぎつぎ事業 （表示板設置協力施設数 8 ヵ所、25 台）	198,720

⑤　市町社協向け情報の提供

市町社協の事業運営に参考となる情報を収集し、適宜提供を行った。(福祉の動向、先進事例等の情報提供)

⑶ 市町社協活動促進のための調査・研究

① 市町社会福祉協議会部会の開催

期　日	場　所	内　　容	参加者数
H29.7.19 （水）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	・部会長、副部会長の選任について ・報告 (1)本会平成28年度事業報告及び平成29年度事業計画について (2)全社協地域福祉推進委員会について ・協議 (1)平成29年度栃木県への社会福祉に関する要望について (2)栃木県地域福祉振興基金（栃の実基金）のあり方について (3)「社協・生活支援活動強化方針（第2次アクションプラン)」の推進について	10人

〔市町社会福祉協議会部会委員〕（H30.3.31現在）

氏　名	所　属・職　名	備　考
田中　耕一	さくら市社会福祉協議会長	部会長
大島　一夫	宇都宮市社会福祉協議会常務理事兼事務局長	
山﨑　稔	那須塩原市社会福祉協議会常務理事兼事務局長	
柴田　利江	上三川町社会福祉協議会常務理事兼事務局長	副部会長
高橋　一弘	日光市社会福祉協議会事務局長	副部会長
斉藤　和憲	茂木町社会福祉協議会事務局長	
津田　博之	那須町社会福祉協議会事務局次長兼介護事業係長	
高橋　幸男	小山市社会福祉協議会高齢者サポート係長	
鈴木　勤	壬生町社会福祉協議会就労支援施設むつみの森副施設長	
松本　昌宏	日光市社会福祉協議会今市支所長兼地域福祉戦略室長	
大場　いづみ	大田原市社会福祉協議会地域福祉係主査	
神山　大	鹿沼市社会福祉協議会地域福祉課権利擁護係主任	

② 市町社協活動実態調査の実施

県内市町社協の概況及び事業内容について調査し、報告書をまとめた。

③ 市町社協への訪問

市町社協における地域福祉活動への取り組み状況を把握するため訪問した。(25か所)

⑷ 栃木県市町社協職員連絡協議会等との連携及び支援

① 栃木県市町社協職員連絡協議会（職連協）への支援及び協力活動の推進

職連協と連携・協力し、市町社協職員の資質向上、社協活動の研究などを図るため、共催で研修会を開催した。

事業名	期　日	場　所	内　容	参加者数
栃木県市町社協職員連	H30.1.26 （金）	宇都宮市 宇都宮市総	「“とちぎ流”地域共生社会～『我が事・丸ごと』に向けた社協の実践～」	65人

絡協議会研修事業		合福祉センター	・基調講演 「『我が事・丸ごと』地域共生社会の実現にむけて」 【講師】 栃木県保健福祉部保健福祉課 主事　本多　輝彦氏 ・実践報告 「多機関の協働による包括的支援体制構築事業と地域力強化推進事業」 【発表者】 茨城県東海村社会福祉協議会 係長　古市　こずえ氏 市貝町社会福祉協議会 事務局次長　北井　孝文氏 ・パネルディスカッション 【コーディネーター】 栃木県社会福祉協議会 地域福祉部長　齋藤　禎 【パネリスト】 栃木県保健福祉部保健福祉課 主事　本多　輝彦氏 茨城県東海村社会福祉協議会 係長　古市　こずえ氏 市貝町社会福祉協議会 事務局次長　北井　孝文氏	

2　新しい地域支援事業の推進

⑴　「互助」発展のためのインフォーマルサービスの研究・開発

①　住民主体の助け合い活動推進連絡会議

多様な機関と連携・協働しながら地域に合った住民参加の生活支援サービス・活動を推進するために協議を行った。

期　日	場　所	内　容	参加者数
H30.3.15 （木）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	・各団体の在宅福祉サービス・事業の概要について ・情報交換・協議	10 人

②　市町社協地域福祉推進担当者連絡会議の開催

社会福祉協議会が実施する地域福祉推進事業を取り巻く動向や課題の共有化と、相互の情報交換並びに職員の顔の見える関係づくりを通じて、市町社協の地域福祉業務の増進を図るため、担当者連絡会議を開催した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
H29.11.20 （月）	宇都宮市 北市民活動センター	「栃木県地域福祉振興基金（栃の実基金）事業説明会」 ・説明「基金の有効活用について」 ・事例発表 ①那須烏山市社会福祉協議会	20 人

		係長　山村　浩之氏 ②市貝町社会福祉協議会 事務局次長　北井　孝文氏 ・意見交換	

⑵　「地域包括ケアシステム連絡会議」の設置・運営

市町社協が地域福祉推進の一環として地域包括ケアシステムの構築を進めるにあたっての検討を行うため、連絡会議を行った。

期　日	場　所	内　容	参加者数
H30.3.1 （木）	宇都宮市 パルティ	講義・演習「生活支援体制整備の進め方について－社会福祉協議会の立ち位置から考える－」 講師　NPO 法人グループたすけあい エプロン　菅野　忠雄氏	37 人

⑶　「生活支援コーディネーター連絡会議」の設置・運営

市町社協の生活支援コーディネーターが、社協の特性を活かした活動の充実と事業の推進のためにネットワークづくりや資質向上を図るため、連絡会議を行った。

期　日	場　所	内　容	参加者数
H30.3.1 （木）	宇都宮市 パルティ	・各市町社協の生活支援体制整備事業の取組みの共有 ・グループワーク	29 人

Ⅲ　福祉サービス利用者のための支援の強化

１　福祉サービス利用者の権利擁護の充実

利用者本位の福祉サービスが提供されるよう、日常生活自立支援事業（とちぎ権利擁護センター・あすてらす）を展開した。

⑴　福祉サービス利用援助事業の推進

①　契約締結審査会の開催

利用申込者との契約の適否や支援内容等を審査する契約締結審査会を開催した。

回　数	期　日	場　所	内　容	出席委員数
第１回	H29.5.16(火)	とちぎ福祉プラザ（宇都宮市）	・契約審査３件	６人
第２回	H29.7.18(火)		・契約審査１件 ・臨時的支援に係る審査２件	６人
第３回	H29.11.21(火)		・契約審査１件	７人
第４回	H30.1.16(火)		・契約審査１件	６人
第５回	H30.3.20(火)		・契約審査４件	６人

〔審査内容〕

項　目	高齢者	知的障害者	精神障害者	身体障害者	計
契約審査（契約能力の疑義等）		6	1		7
契約審査（成年後見人等と契約）	1	1	1		3
報告審査（助言）	1	1			2
解約審査					
支援計画変更審査					
計	2	8	2		12

〔審査結果〕

項　目	高齢者	知的障害者	精神障害者	身体障害者	計
契約締結	1	6	1		8
助言等	1	1			2
否　決		1	1		2
解　約					
解約否・継続支援					
計	2	8	2		12

〔平成 29 年度契約締結者数（平成 30 年 3 月 31 日現在）〕※

対象者	契約数	解約数	実利用者数
認知症高齢者等	126	144	519
知的障害者	43	15	234
精神障害者	36	22	214
身体障害者	10	9	75
そ　の　他	1	3	0
合　計	216	193	1,042

②　金融機関連絡会議の開催

日常的金銭管理サービスに対する理解の促進と円滑な実施を図るため、金融機関連絡会議を開催した。

期　日	場　所	内　容	出席者数
H29.10.23 （月）	とちぎ福祉プラザ (宇都宮市)	⑴あすてらすの状況報告 ⑵とちぎ成年後見支援センターの状況報告 ⑶議題 ①「あすてらす」と金融機関との連携について ②その他	8 人

③　基幹的社協連絡会議の開催

県内 13 か所の基幹的社協の専門員を対象に会議を行い、情報の共有化や困難ケースの解決に向け検討を行った。

ア　基幹的社協連絡会議

回数	期　日	場　所	内　容	参加者数
第 1 回	H29.4.19 （水）	とちぎ福祉プラザ (宇都宮市)	⑴報告 ①平成 29 年度定期報告様式について ②年間予定について ⑵議題 ①栃木県運営適正化委員会運営監視改善申入事項について ⑶その他	29 人
第 2 回	H29.6.21 （水）		⑴議題 ①書類等返還に関する手続きについて ②「日常的金銭サービス実施状況のチェック項目」の再確認について ③基幹的社協からの協議題提案(栃木市、佐野市) ⑵その他	29 人
第 3 回	H29.8.23 （水）		⑴議題 ①あすてらす事務処理状況等の調査について ②基幹的社協からの協議題提案(鹿沼市、日光市) ⑵その他	33 人
第 4 回	H29.10.18 （水）		⑴議題 ①契約書の取り交わし係る確認について ②代行・代理に係る確認について ③基幹的社協からの協議題提案(小山市、真岡市) ⑵その他	30 人
第 5 回	H29.12.19 （火）		⑴議題 ①金融機関連絡会議の報告について ②施設利用者の金銭管理状況について ③基幹的社協からの協議題提案(大田原市、矢板市) ⑵その他	31 人
第 6 回	H30.2.21 （水）		⑴議題 ①平成 30 年度予算、事業計画について ②平成 30 年度法人後見支援員養成研修について ③出張法律相談制度いついて(法テラ	28 人

回数	期　日	場　所	内　容	参加者数
			ス) ④基幹的社協からの協議題提案(那須塩原市、那須烏山市) ⑵その他	

④　権利擁護制度活用研修の開催

日常生活自立支援事業から成年後見制度への移行が円滑に行われるよう、両事業の制度及び活用方法について理解を深め、判断能力が低下した方への権利擁護の取り組みを一層推進することを目的に研修会を開催した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
H30.2.16 (金)	宇都宮市 とちぎ男女 共同参画セ ンター	・講義「品川区における成年後見制度の取り組みについて」 【講師】品川区社会福祉協議会　桑谷　宏二氏 阿部　裕子氏 岡庭　瑞生氏	43 人

⑵　事業従事者の資質の向上

①　生活支援員研修会の開催

利用者への支援活動に携わっている生活支援員及び専門員を対象に支援者として必要な知識と援助技術を身につけることを目的に研修会を開催した。

期　日	場　所	内　　容	参加者数
養成研修 H29.6.28 (水) H29.6.29 (木)	宇都宮市 とちぎ男女 共同参画セ ンター	・講義「日常生活自立支援事業について」 【講師】栃木県社会福祉協議会 権利擁護課 ・講義「利用者の理解（認知症高齢者、知的障害者）」 【講師】社会福祉法人　恵友会 障害者自立支援センター桜花 施設長　若倉　健氏 ・講義「利用者の理解（精神障害者）」 【講師】栃木県精神保健福祉センター 教育相談支援課　係長　江口　里香氏 ・講義「生活支援員の役割と具体的業務」 【講師】あすてらす・おやま 専門員　　高麗　正生氏 生活支援員　慶野　葉子氏	36 人
基本研修 H29.9.22 (金)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	・講義「日常生活自立支援事業におけるコンプライアンスについて」 【講師】弁護士　　平野　浩視氏	58 人
実践研修 H30.1.30 (火)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	・講義「利用者支援のポイントと具体的対応について」 【講師】社会福祉士事務所にじみる　高田　美保氏	75 人

		・演習「自らの支援を振り返る」 【講師】社会福祉士事務所にじみる　高田　美保氏 【コメンテーター】 地域包括支援センター秋桜の家　増渕　祐子氏 社会福祉士事務所さくら星の宮　阿部　和史氏 地域包括支援センター細谷・宝木　馬目　智子氏 居宅介護支援センターひばり　西村　一志氏 社会福祉士事務所にじみる　上野　剛志氏	

② ケース検討会の開催

基幹的社協連絡会議等で随時困難事例の検討を行ったほか、専門員の日々の利用者支援での気付きや課題等について解決するとともに専門員の資質向上を図ることを目的にケースカンファレンス研修を開催した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
H29.8.30 （水）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	講義・演習 「専門員の役割（クライアント理解と事例検討の必要性について）～対人援助の構図をもとに～」 【講師】立川市社会福祉協議会　比留間　敏郎氏	10 人

⑶ 事業実施体制の充実強化

① 関係機関連絡会議の開催

期　日	場　所	内　容	出席者数
H30.2.19 （月）	とちぎ福祉プラザ (宇都宮市)	⑴日常生活自立支援事業及びとちぎ成年後見センターの現況報告 ⑵議題　①事前質問 ②情報交換 ③その他	22 人

② 基幹的社協の育成

県内 13 か所の市社協に業務の一部を委託した。

〔平成 29 年度基幹的社協相談件数及び契約者数（平成 30 年 3 月 31 日現在）〕

基幹的社協名	一般相談件数	専門相談件数	契約者数
宇都宮市社会福祉協議会	1,735	0	10
足利市社会福祉協議会	1,635	0	32
栃木市社会福祉協議会	3,262	0	6
佐野市社会福祉協議会	1,139	0	13
鹿沼市社会福祉協議会	3,321	0	11
日光市社会福祉協議会	2,267	14	29
小山市社会福祉協議会	2,511	11	13
真岡市社会福祉協議会	728	0	17
大田原市社会福祉協議会	1,540	0	28
矢板市社会福祉協議会	747	0	10
那須塩原市社会福祉協議会	1,798	0	33
那須烏山市社会福祉協議会	505	4	8
下野市社会福祉協議会	558	0	6

基幹的社協名	一般相談件数	専門相談件数	契約者数
合　計	21,746	29	216

③　各関係機関等への事業説明及び連携

各種研修会等の講師として事業内容等について説明を行った。

期　日	場　所	内　容
H29.5.26(金)	とちぎ福祉プラザ (宇都宮市)	市町社協新任職員研修　制度説明
H29.7.3(月)	とちぎ福祉プラザ (宇都宮市)	法人後見支援員養成研修　制度説明
H29.10.3(火)	小山市健康医療介護総合支援センター（小山市）	相談支援機関職員研修　制度説明

④　市町社協の連携強化

基幹的社協の管内連絡会議等へ参加し、市町社協間の連携を図った。

⑤　専門相談の充実

公益社団法人成年後見センター・リーガルサポートと契約を締結し、基幹的社協において司法書士による専門相談を実施し、相談体制の充実を図った。

2　成年後見制度の活用促進

⑴　成年後見制度にかかる啓発・相談の充実

①　成年後見制度普及啓発セミナーの開催

一般県民、行政職員、関係機関職員等を対象に、成年後見制度の普及啓発等を目的にセミナーを開催した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
H30.2.27 (火)	栃木県庁研修館 (宇都宮市)	講演「成年後見制度利用促進基本計画について」 地域連携ネットワークの整備に向けて 講師　内閣府　成年後見制度利用促進担当室 高橋　愛氏	147 人

⑵　相談支援機関における取組の強化

①　県民・相談支援機関からの相談対応

一般県民や社会福祉施設、相談支援機関からの相談対応。相談受理後、必要に応じて、関係機関等へつないだ。（相談件数　22 件）

②　法人後見支援員養成研修の開催

法人後見事業実施社協の体制強化を図るため、法人後見業務をサポートする法人後見支援員養成研修を開催し、法人後見支援員の養成を行った。

期　日	場　所	内　容	参加者数
H29.7.3 (月)	とちぎ福祉プラザ (宇都宮市)	【1 日目】「権利擁護と社会福祉協議会」 ・講義　権利擁護概論 【講師】大門社会福祉士事務所 所長 大門　亘氏 ・講義　成年後見制度概論⑴⑵ 【講師】リーガルサポートとちぎ支部　相談役 司法書士　佐伯　祐子氏 ・講義　社会福祉協議会概論 【講師】栃木県社会福祉協議会 地域福祉部長　齋藤　禎	8 人

期　日	場　所	内　容	参加者数
		・講義　社会福祉協議会各論 【講師】栃木県社会福祉協議会 権利擁護課	
H29.7.6 （木）		【2 日目】「障がいの特性と社会資源」 ・講義　対象者理解「知的障がいの特性と支援について」 【講師】とちぎリハビリテーションセンター 相談支援課長　島田　雅美氏 ・講義　対象者理解「精神障がいの特性と支援について」 【講師】栃木県精神保健福祉センター 所長補佐兼教育相談支援課長　黒崎　道氏 ・講義　対象者理解「高次脳機能障がいの特性と支援について」 【講師】とちぎリハビリテーションセンター 発達・高次脳機能障害支援課　主査　笠原　祐子氏 ・講義　対象者理解「発達障がいの特性と支援について」 【講師】とちぎリハビリテーションセンター 発達・高次脳機能障害支援課　主査　小貫　泰広氏	11 人
H29.7.31 （月）		【3 日目】「認知症の特性と社会資源」 ・講義　老人福祉論「高齢者を取り巻く問題と福祉サービスについて」 【講師】国際医療福祉大学　准教授　林　和美氏 ・講義　対象者理解「認知症の特性と認知症の方への対応について」 【講師】高崎健康福祉大学　健康福祉学部 講師　原田　欣宏氏 ・講義　関係機関について 「地域包括支援センターの役割について」 【講師】栃木県地域包括・在宅介護支援ｾﾝﾀｰ協議会 会長　浜野　修氏	11 人
H29.8.7 （月）		【4 日目】「関連法制度」 ・講義　関連法制度 「障害者福祉の動向（障害者総合支援法、障害者差別解消法）について」 【講師】栃木県保健福祉部障害福祉課 課長補佐 福田　真志氏 ・講義　関連法制度 「障害者虐待防止法について」 【講師】栃木県保健福祉部障害福祉課 障害者虐待防止相談員兼差別解消相談員 赤羽　範子氏 ・講義　関連法制度「高齢者虐待防止法と栃木県の取組みについて」 【講師】栃木県保健福祉部高齢対策課 副主幹　橋本　稚子氏 ・講義　関連法制度「介護保険制度の仕組みとサービスについて」 【講師】栃木県保健福祉部高齢対策課 課長補佐　杉山　庄吾氏	11 人

期　日	場　所	内　容	参加者数
H29.8.10 （木）		【5日目】「社会保障制度と年金制度他」 ・講義　社会保障論総論「日本の社会保障制度のしくみについて」 【講師】国際医療福祉大学　講師　松江　暁子氏 ・講義　社会保障論各論「生活保護制度について」 【講師】栃木県保健福祉部保健福祉課 副主幹　法師人　昇氏 ・講義　消費者保護について 【講師】栃木県県民生活部くらし安全安心課 （栃木県消費生活センター） 主査　坂本　忠夫氏 消費生活相談員　向井　惠美氏	8人
H29.9.4 （月）		実務研修　【1日目】「社会福祉援助技術」 ・講義　社会福祉援助技術論(1)(2)　事例検討(1) 【講師】国際医療福祉大学　教授　小嶋　章吾氏 ・講義　日常生活自立支援事業の実務　事例検討(2) 【コーディネーター】 大門社会福祉士事務所　大門　亘氏 【事例提供者】 鹿沼市社会福祉協議会　主事　渡辺　靖崇氏	9人
H29.9.11 （月）		実務研修　【2日目】「後見業務の実務概論」 ・講義　後見業務の実務概論 【講師】リーガルサポートとちぎ支部 司法書士　荒川　剛栄氏 ・講義　事例検討(3) 【コーディネーター】 リーガルサポートとちぎ支部 司法書士　荒川　剛栄氏 【事例提供者】日光市社会福祉協議会 副主幹　阿部　修一氏	8人
任意設定		【3日目】 「法人後見支援員養成研修レポートの作成」	
H29.10.20 （金）		「レポート報告会及び修了者証交付式」 ・レポート報告会 ・修了者証交付式（修了者証交付者5名）	5人

③　法人後見支援員フォローアップ研修の開催

法人後見事業実施社協の体制強化を図るため、法人後見業務をサポートする法人後見支援員フォローアップ研修を開催し、法人後見支援員のスキルアップを図った。

期　日	場　所	内　容	参加者数
H29.10.2 （月）	とちぎ福祉プラザ （宇都宮市）	講義「成年後見制度を活用した支援の実務について」 【講師】ＮＰＯ法人風の詩 社会福祉士事務所「風のささやき」 代表　永島　徹氏	22人

④　法人後見事業実施社協連絡会議の開催

市町社協における取り組みについて情報交換するとともに、専門家から助言を受ける機会として会議を開催した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
H29.9.25 （月）	とちぎ福祉プラザ（宇都宮市）	情報交換 「社協における後見業務上の課題等について」 【アドバイザー】リーガルサポートとちぎ支部相談役 司法書士　佐伯　祐子氏 【オブザーバー】宇都宮家庭裁判所　主任書記官 齋藤　昌子氏	23 人

⑤　市町村長申立て研修の開催

市町行政職員等を対象に、成年後見制度への基本的な理解と市町村長申立の手順、留意事項等を学ぶことを目的に研修会を開催した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
H29.8.18 （金）	とちぎ福祉プラザ（宇都宮市）	講義①「成年後見制度の概要及び市町村長申立の現状について」 【講師】宇都宮家庭裁判所 主任書記官　齋藤　昌子氏 講義②「市町村長申立に係る手続きと成年後見制度の活用事例等について」 【講師】リーガルサポートとちぎ支部　相談役 司法書士　佐伯　祐子氏	57 人

⑥　市町行政職員権利擁護研修の開催

市町行政職員等を対象に、成年後見制度の活用を含めた権利擁護の推進を目的に研修会を開催した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
H29.10.6 （金）	とちぎ福祉プラザ（宇都宮市）	講義「権利擁護についての理解」 【講師】一般社団法人栃木県社会福祉士会理事 一般社団法人社会福祉士事務所にじみる 髙田　美保氏	37 人
H29.11.8 （水）		講義「権利擁護主体としての市町行政の法的責任」 【講師】栃木県虐待対応センター　運営委員 県央うつのみや法律事務所 弁護士　石井　信行氏	34 人
H30.1.11 （木）		講義「市町行政としての住民の権利を護るシステムの構築」 【講師】リーガルサポートとちぎ支部 司法書士　荒川　剛栄氏 【事例報告者】 日光市役所健康福祉部高齢福祉課 主査　上野　晃司氏 日光市社会福祉協議会　地域支援チーム 副主幹　阿部　修一氏	36 人

⑦　相談支援機関職員研修の開催（県南地区）

成年後見制度に関する相談対応に携わる相談支援機関職員（地域包括支援センター職員、障害者相談支援事業所職員、行政職員、社会福祉協議会職員等）を対象に、制度理解促進のために研修を行った。

期　日	場　所	内　容	参加者数
H29.7.24 （月）	小山市健康医療介護	講義「成年後見制度の概要について」 【講師】大門社会福祉士事務所　所長　大門　亘氏	54 人
H29.8.2		講義「成年後見人の職務」	54 人

期　日	場　所	内　容	参加者数
（水）	総合支援センター（小山市）	【講師】リーガルサポートとちぎ支部 相談役 司法書士　佐伯　祐子氏	
H29.8.28 （月）		講義・演習「成年後見制度活用のための実務演習①」 【講師】大門社会福祉士事務所　所長　大門　亘氏	54 人
H29.9.14 （木）		講義・演習「成年後見制度活用のための実務演習②」 【講師】大門社会福祉士事務所　所長　大門　亘氏	51 人
H29.10.3 （火）		講義①「栃木県内における成年後見制度利用状況について」 【講師】宇都宮家庭裁判所 主任書記官　齋藤　昌子氏 講義②「日常生活自立支援事業（あすてらす）について」 【講師】栃木県社会福祉協議会権利擁護課	48 人
H29.10.16 （月）		講義「権利擁護の本質に向けて」 【講師】大門社会福祉士事務所　所長　大門　亘氏	44 人

⑶　関係機関との連携体制の構築

①　関係機関連絡会議の開催

専門職団体等の関係団体の取り組み内容を情報共有するとともに、成年後見制度の普及啓発に向けた方策等を検討するため、会議を開催した。

期　日	場　所	内　　容	出席者数
H30.2.19 （月）	とちぎ福祉プラザ（宇都宮市）	・日常生活自立支援事業（あすてらす）及びとちぎ成年後見支援センターの現況報告 ・事前質問 ・情報交換 ※日常生活自立支援事業関係機関連絡会議と同時開催	22 人

3　福祉サービス運営適正化の推進

福祉サービスに関する利用者等からの苦情の解決、日常生活自立支援事業の監視機関として本会に設置された第三者機関である運営適正化委員会の事業を支援した。

・受付相談件数　95 件　（内 訳）苦情　　50 件
その他の相談　45 件

⑴　運営適正化委員会機能の充実

①　栃木県選考委員会の開催

回　数	期　日	場　所	内　容	出席人数
第 1 回	H29.6.20 （火）	とちぎ福祉プラザ （宇都宮市）	・運営適正化委員会委員の辞任に伴う後任委員の選考について	6 人

②　栃木県運営適正化委員会の開催

回　数	期　日	場　所	内　容	出席人数
第 1 回	H29.5.18 （木）	とちぎ福祉プラザ （宇都宮市）	・H28 年度事業報告について ・H29 年度事業計画（案）について	10 人

③　苦情解決委員会の開催

回　数	期　日	場　所	内　容	出席者数
第 1 回	H29.5.23(火)	とちぎ福祉プラザ	・新規審議（2 件）	6 人

回　数	期　日	場　所	内　容	出席者数
第2回	H29.7.18(火)	(宇都宮市)	・報告審議（2件） ・新規審議（1件）	5人
第3回	H29.9.11(月)		・新規審議（1件）	7人
第4回	H29.11.14(火)		・報告審議（1件）	7人
第5回	H30.1.23(火)		・報告審議（1件） ・新規審議（1件）	5人
第6回	H30.3.12(月)		・報告審議（2件） ・新規審議（1件）	7人

④　運営監視委員会の開催

回　数	期　日	場　所	内　容	出席人数
第1回	H29.5.18 （木）	とちぎ福祉プラザ (宇都宮市)	・平成 28 年度とちぎ権利擁護センター実績報告について ・平成 28 年度運営監視改善申し入れ事項に対する報告について ・平成 29 年度運営監視について	7人
第2回	H29.7.20 （木）		・不祥事について ・運営監視時の留意点について	9人
第3回	H30.2.26 （月）		・平成 29 年度運営監視結果について ・平成 30 年度運営監視の実施について	9人

⑤　苦情解決のための調査、助言、斡旋等

福祉サービスの苦情解決に向けて、事業所への訪問調査、助言、改善申入れ、虐待の通報等を行った。

⑥　日常生活自立支援事業（あすてらす）基幹的社協への巡回・監視指導の実施

事業の委託先である基幹的社協（13 か所）の適正な運営を確保するために、金銭管理サービスにおける金銭の取扱い及び管理状況等について訪問調査を実施するとともに、栃木県社会福祉協議会に対して基幹的社協を指導するよう通知した。

期　日	場　所	実施基幹的社協名
H29.6.30(金)	真岡市総合福祉保健センター	真岡市社会福祉協議会
H29.7.13(木)	鹿沼市総合福祉センター	鹿沼市社会福祉協議会
H29.7.13(木)	日光市春日町庁舎	日光市社会福祉協議会
H29.7.21(金)	大田原市福祉センター	大田原市社会福祉協議会
H29.7.21(金)	矢板市きずな館	矢板市社会福祉協議会
H29.9.29(金)	那須烏山市社会福祉センター	那須烏山市社会福祉協議会
H29.10.20(金)	那須塩原市健康長寿センター	那須塩原市社会福祉協議会
H29.11.9(木)	佐野市総合福祉センター	佐野市社会福祉協議会
H29.11.9(木)	足利市総合福祉センター	足利市社会福祉協議会
H29.11.22(水)	小山市役所神鳥谷庁舎	小山市社会福祉協議会
H29.12.4(月)	栃木市保健福祉センター	栃木市社会福祉協議会
H29.12.4(月)	下野市保健福祉センター	下野市社会福祉協議会
H29.12.12(火)	宇都宮市総合福祉センター	宇都宮市社会福祉協議会

⑦　パンフレット・ポスター等の配布、市町広報誌等による広報の実施

県内全市町行政・社協へ苦情解決制度周知の依頼を行った。また、研修会等において苦情解決制度周知のポスターを配布した。

⑧　苦情解決事業に関する研修会の開催

苦情解決責任者等を対象に、講義及び演習を通して苦情・事故が起きた際の対応方法等について学ぶことを目的に研修会を実施した。

事業名	期　日	場　所	内　容	参加者数
福祉サービス苦情解決研修会	H29.10.16（月）	とちぎ福祉プラザ（宇都宮市）	・講義「福祉現場におけるクレーム対応　～時代と共に多様化している顧客心理の理解～」 【講師】有限会社エファ 代表取締役　菊地　理恵氏	284 人

⑨　福祉サービス事業所への巡回指導及び巡回支援

事業所に訪問のうえ、苦情解決体制の整備状況を確認し、適切な体制の整備や苦情解決方法等について必要な助言等を行った。（障害 2 か所、高齢 1 か所）

⑩　栃木県国民健康保険団体連合会等との情報交換

関係機関主催の研修会等に参加し、情報の収集や交換を行った。

会議等名	期　日	場所	内　容
運営適正化委員会事業研究協議会（主催）全国社会福祉協議会	H29.7.19（水）	全国社会福祉協議会（東京都）	・行政説明 厚生労働省　社会・援護局　福祉基盤課 ・報告　全国社会福祉協議会　政策企画部 ・講義①「障害者・児支援の現状と運営適正化委員会に期待する対応・取組み」 【講師】上智大学総合人間科学部 教授　大塚　晃氏 ・講義②「福祉サービスの質の向上委員会苦情相談体制・研修部会の取組と今後の運営適正化委員会事業」 【講師】立教大学コミュニティ福祉学部 教授　平野　方紹氏 ・グループ協議 ・報告・全体会議
介護サービス相談市町担当者等研修会（主催）栃木県国民健康保険団体連合会	H29.7.26（水）	栃木県本町合同ビル（宇都宮市）	・講演「ちょっと難しい介護事故の法的責任」 【講師】株式会社安全な介護 代表取締役　山田　滋氏
関東甲信越静ブロック運営適正化委員会委員長等連絡会及び相談員連絡会	H29.10.6（金）	飯田橋セントラルプラザ（東京都）	・提出議題の協議 ・情報交換
運営適正化委員会相談員研修会	H29.10.26（木）	全国社会福祉協議会（東京都）	・講義Ⅰ 「障害福祉サービスをめぐる状況と障害者の権利擁護」 【講師】東洋大学社会学部 教授　髙山　直樹氏

会議等名	期　日	場所	内　容
			・講義Ⅱ 「運営適正化委員会の現状と課題」 【講師】立教大学コミュニティ福祉学部 教授　平野　方紹氏 ・情報交換

4　福祉サービスの質の向上の支援

福祉サービス事業所の提供する福祉サービスの質の向上と利用者の適切なサービスの選択に資するため、栃木県における福祉サービス第三者評価事業の推進を図った。

また、評価機関として地域密着型サービス外部評価事業を実施した。

⑴　福祉サービス第三者評価の推進

①　運営委員会の開催

期　日	場　所	内　容	出席人数
H30.3.13 （火）	とちぎ福祉プラザ （宇都宮市）	・平成29年度事業実施状況について（報告） ・平成30年度事業計画（案）について ・評価調査者継続研修修了者の認定について ・県推進機構における評価結果の取扱いについて ・社会的養護関係施設の第三者評価実績の取扱いについて ・第三者評価機関の評価実績の一定期間の取扱いについて	6人

②　認証部会の開催

期　日	場　所	内　容	出席人数
H29.10.25 （水）	とちぎ福祉プラザ （宇都宮市）	・平成29年度事業進捗状況について（報告） ・第三者評価機関の認証について	5人

③　基準等部会の開催

回数	期　日	場　所	内　容	出席人数
第1回	H29.6.22 （木）	とちぎ福祉プラザ （宇都宮市）	・評価事業普及協議会について（報告） ・高齢者版評価基準ガイドラインの改定について ・対象事業の拡大について ・評価調査者研修（養成、継続）について ・啓発・促進について	4人
第2回	H29.10.5 （木）		・基準等部会長、副部会長の選任について ・評価調査者養成研修修了者の認定について	5人

④　評価調査者研修の開催

評価調査者養成研修及び評価調査者継続研修を実施した。

ア　評価調査者養成研修の開催（受講者修了者数8人）

回数	期　日	場所	内容
1日目	H29.8.25 （金）	とちぎ福祉プラザ （宇都宮市）	・講義「1　第三者評価の理念と基本的な考え方」 ・講義「2　第三者評価の全体像」 ・講義「3　評価調査者の役割と倫理」 ・講義「4　利用者調査の方法等について」

回数	期　日	場所	内容
			【講師】福田　雅章氏
2 日目	H29.9.5 （火）		・講義「5　第三者評価基準の理解と判断のポイント 障害分野」　【講師】松野　直之氏 ・講義「6　第三者評価基準の理解と判断のポイント 共通評価基準」 ・講義「7　第三者評価基準の理解と判断のポイント 高齢分野」　【講師】林　和美氏
3 日目	H29.9.14 （木）		・講義「8　第三者評価基準の理解と判断のポイント 保育分野」　【講師】坪井　真氏 ・演習「9　書面（事前）審査の着眼点」 ・演習「10　訪問調査の着眼点」【講師】葭田美知子氏
4 日目	H29.9.19 （火）	とちの木荘 （宇都宮市）	・実習「11　実習Ⅰ」 【講師】林　和美氏、葭田　美知子氏
5 日目	H29.9.28 （木）	とちぎ福祉 プラザ （宇都宮市）	・実習「12　実習Ⅱ」 ・全体会「終了レポート」 【講師】林　和美氏、葭田　美知子氏

イ　評価調査者継続研修の開催

期　日	場所	内容	参加者数
H29.10.30 （月） H29.12.11 （月）	とちぎ福祉 プラザ （宇都宮市）	・報告「第三者評価の実施状況」 【講師】とちぎ福祉サービス第三者評価推進機構事務局 ・講義 1「第三者評価の現状と課題」 ・講義 2「福祉サービス第三者評価基準（障がい者・児版）について」 ・演習 【講師】特定非営利活動法人福祉経営ネットワーク　事務局長　岡田　賢宏氏	46 人

⑤　普及啓発事業の開催

ア　推進シンポジウムの開催

期　日	場　所	内　容	参加者数
H30.1.19 （金）	とちぎ福祉プラザ （宇都宮市）	・講義 「第三者評価を活かすために」 【講師】東洋大学社会学部社会福祉学科 教授　髙山　直樹氏 ・パネルディスカッション 「福祉サービスの質の向上に向けて～第三者評価の効果的な活用方法～」 【パネリスト】 障害者支援施設マ・メゾン光星 施設長　西部　雅章氏 特定非営利活動法人アスク 理事長　佐藤　由紀子氏 【コーディネーター】 東洋大学社会学部社会福祉学科 教授　髙山　直樹氏	52 人

⑥　推進機構ニュースの発行

第三者評価事業の普及推進を目的として、広報啓発を行った。

ア　「推進機構ニュース」の発行

第三者評価事業の普及啓発を目的に 3 回発行し、評価対象事業所、関係機関等、約 1,500 か所に配布した。

イ　ホームページの充実

とちぎ福祉サービス第三者評価推進機構のホームページに、第三者評価事業の内容、評価機関の情報、評価結果等掲載し広報啓発に努めた。

⑦　福祉サービス第三者評価受審支援補助の実施

ア　指定介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、施設入所支援を運営する事業者（宇都宮市に所在する事業所を除く）に対して受審料として 30 万円を上限に助成した。

○助成事業所一覧：6 か所（特別養護老人ホーム 4 事業所、障害者支援施設 2 事業所）

No.	事業所名	事業種別	交付決定額(円)
1	オレンジホーム	地域密着型特別養護老人ホーム	250,000
2	幸寿苑たかしまの郷	地域密着型特別養護老人ホーム	300,000
3	誠心園	特別養護老人ホーム	300,000
4	さつき荘	特別養護老人ホーム	300,000
5	かしわ荘	施設入所支援	300,000
6	すぎなみき学園	施設入所支援	300,000
	計		1,750,000

イ　栃木県認証機関による受審

公表期間は 5 年間とし、公表後、評価実施済証を交付した。

No.	公表日	事業所名	サービス区分	評価機関
1	H29. 8. 8	西保育園	保育所	NPO 法人アスク
2	H29.10. 3	江曽島保育園	保育所	NPO 法人アスク
3	H29.12. 1	那須塩原市 さくら保育園	保育所	NPO 法人アスク
4	H29.12.18	栃木県那須学園	児童自立支援施設	NPO 法人アスク
5	H29.12.25	アリスとテレス	児童養護施設	NPO 法人アスク
6	H29.12.26	オレンジホーム	地域密着型特別養護老人ホーム	NPO 法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ
7	H30. 1.12	宇都宮市西部保育園	保育所	株式会社アールピーアイ栃木
8	H30. 1.12	那須塩原市 わかば保育園	保育所	NPO 法人アスク
9	H30. 1.16	幸寿苑たかしまの郷	地域密着型特別養護老人ホーム	NPO 法人アスク
10	H30. 1.26	イースターヴィレッジ	児童養護施設	一般社団法人 栃木県社会福祉士会
11	H30. 1.31	宇都宮乳児院	乳児院	NPO 法人アスク
12	H30. 2. 6	那須こどもの家	児童心理治療施	NPO 法人アスク

No.	公表日	事業所名	サービス区分	評価機関
			設	
13	H30. 2.14	ひまわり保育園	保育所	NPO 法人 ライフサポート樂樂
14	H30. 2.19	誠心園	特別養護老人ホーム	NPO 法人 ライフサポート樂樂
15	H30. 2.19	さつき荘	特別養護老人ホーム	NPO 法人 International SocialServiceCultureCenter
16	H30. 2.20	わかくさ	母子生活支援施設	一般社団法人 栃木県社会福祉士会
17	H30. 2.21	きずな	児童養護施設	NPO 法人 International SocialServiceCultureCenter
18	H30. 3. 8	すぎなみき学園	施設入所支援	NPO 法人 International SocialServiceCultureCenter
19	H30. 3. 8	かしわ荘	施設入所支援	NPO 法人 International SocialServiceCultureCenter
20	H30. 3.12	那須塩原市 いなむら保育園	保育所	NPO 法人アスク
21	H30. 3.19	さわらごハイム足利	母子生活支援施設	株式会社アールピーアイ栃木
22	H30. 3.20	泗水学園	児童養護施設	株式会社アールピーアイ栃木
23	H30. 3.22	烏山母子寮	母子生活支援施設	NPO 法人 International SocialServiceCultureCenter
24	H30. 3.23	友里かご保育園	保育所	NPO 法人アスク
25	H30. 3.29	氏家養護園	児童養護施設	NPO 法人アスク
26	H30. 3.30	桔梗寮	児童養護施設	NPO 法人 International SocialServiceCultureCenter
27	H30. 3.30	乳児院「夢」	乳児院	NPO 法人 International SocialServiceCultureCenter
28	H30. 3.30	すみれ乳児院	乳児院	NPO 法人 International SocialServiceCultureCenter

⑵ 地域密着型サービス外部評価事業の実施

地域密着型福祉サービス提供事業者の提供するサービスの質の向上と利用者の適切なサービスの選択に資することを目的として評価事業を実施した。

① 外部評価の実施

ア 外部評価事業の実施

地域密着型サービス外部評価実施の契約を締結し、31 件の訪問調査を実施し、独立行政法人福祉医療機構の運営するワムネットで 28 件（平成 28 年度訪問調査実施分も含む）の評価結果の公表をした。

【平成 17 年度事業開始からの訪問調査累計：832 件、公表累計：812 件】

② 外部評価調査員連絡会議の開催

期 日	場 所	内 容	参加者数
H29.6.9(金)	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	・平成 29 年度外部評価の実施について	9 人

Ⅳ　福祉人材の確保と育成

１　福祉人材の確保と定着

⑴　福祉人材の参入促進

①　無料職業紹介事業の実施

ア　求人状況

区　分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規求人数（人）		286	346	750	986	629	612	873	630	824	938	537	499	7,910
内訳	正職員	156	154	376	582	369	239	479	318	356	446	282	191	3,948
	常勤（正以外）	35	38	169	115	68	146	143	110	177	183	82	118	1,384
	非・パート	95	154	205	289	192	227	251	202	291	309	173	190	2,578
有効求人数（人）		1,572	1,406	1,363	2,043	2,329	2,193	2,128	2,104	2,286	2,342	2,212	1,892	23,870
新規求人事業所数		75	78	115	178	100	100	158	104	102	141	108	70	1,329
有効求人事業所数		240	216	217	309	332	328	315	319	322	296	305	276	3,475
紹介・応募人数		15	7	9	13	28	34	22	32	13	20	22	68	283
内訳	紹　介	14	7	9	13	27	34	19	31	12	20	20	32	238
	応　募	1	0	0	0	1	0	3	1	1	0	2	36	45
採用人数		7	1	0	8	1	4	4	15	11	37	13	111	212
内訳	正職員	6	1	0	5	1	0	2	8	3	20	3	51	100
	常勤（正以外）	0	0	0	0	0	1	2	1	2	3	1	20	30
	非・パート	1	0	0	3	0	3	0	6	6	14	9	40	82

イ　求職状況

区　分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規求職者数（人）	77	44	96	49	102	143	70	103	104	54	132	90	1,064
有効求職者数（人）	258	159	198	190	246	282	290	322	285	267	303	282	3,082

ウ　求人・求職相談状況

区　分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
求人相談件数	202	205	469	426	292	175	336	285	188	294	273	261	3,406
求職相談件数	303	343	444	387	336	336	383	419	278	391	479	395	4,494

（上記ウのうち、毎月第3土曜日に実施した休日開所の来所者数：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
11	3	12	11	9	3	6	3	2	6	5	3	74

② 福祉のお仕事就職フェア（合同相談会）の開催

期日	場　所	内　容	備　考
H29.7.29 （土）	とちぎ福祉プラザ （宇都宮市）	①個別相談コーナー ②福祉人材センター相談コーナー	事業所　60か所 参加者数　183人 採用者数　23人

③ 就職支援セミナー（求人・求職者向け）の開催

ア 「福祉人材採用力UPセミナー」

期　日	場　所	内　容	参加者数
H29.7.6 （木）	とちぎ福祉プラザ （宇都宮市）	①「相談数４倍、採用数４倍!!となった法人の実践例」 ②講義「採用成功法人が実践している採用ノウハウを学ぶ」～就職フェアで人を集め採用するには～ ③演習「自法人の採用力を磨く、ALL栃木で勝つ方法を体感する」 【講師】らしさ研究所　代表　門野　友彦氏	96人

イ 「福祉のしごと就職支援セミナー」

期　日	場　所	内　容	参加者数
H29.7.29 （土）	とちぎ福祉プラザ （宇都宮市）	講義「福祉の未来の可能性と自分に合った職場の見つけ方」 【講師】らしさ研究所　代表　門野　友彦氏	48人

④ 福祉人材・研修センターニュースの発行(再掲)

№189～192号発行　発行部数各2,500部

⑤ 小学・中学・高校への出前講座の開催

ア 小学校　　単位：人

期　日	学　校　名	参加者数
H29.6.1	鹿沼市立さつきが丘小学校	１１９
H29.6.2	佐野市立佐野小学校	１０９
H29.6.6	小山市立旭小学校	１４６
H29.6.13	栃木市立南小学校	６７
H29.6.27	下野市立吉田東小学校	３８
H29.7.3	佐野市立常盤小学校	１１
H29.7.7	宇都宮市立西が岡小学校	５８
H29.7.13	佐野市立田沼小学校	８０
H29.10.3	栃木市立三鴨小学校	３３
H29.10.17	佐野市立出原小学校	１７
H29.11.2	小山市立豊田南小学校	３０
H29.11.7	大田原市立蛭田小学校	１１

H29.11.9	下野市立緑小学校	４３
H29.11.15	栃木市立栃木第五小学校	８１
H29.11.28	矢板市立西小学校	６
H29.11.29	矢板市立東小学校	６４
H29.12.2	宇都宮市立雀宮中央小学校	１０６
H29.12.6	那須烏山市立荒川小学校	１０６
H29.12.7	宇都宮市立上河内西小学校	３２
H29.12.18	宇都宮市立雀宮東小学校	２６
H30. 1.16	那須烏山市立境小学校	１３
H30. 1.18	日光市立南原小学校	６８
H30. 1.18	栃木市立国府北小学校	４８
H30. 2. 6	鹿沼市立石川小学校	３５
H30. 2. 9	那珂川町立馬頭小学校	４８
H30. 2.16	壬生町立壬生北小学校	３８
	計　　26校	1,433人

イ　中学校　　単位：人

期　日	学　校　名	参加者数
H29.5.26	壬生町立南犬飼中学校	１４４
H29.5.29	宇都宮市立清原中学校	２１６
H29.6.22	高根沢町立阿久津中学校	３６
H29.7.5	那須塩原市立箒根中学校	３４
H29.7.6	宇都宮市立晃陽中学校	５４
H29.9.15	下野市立南河内第二中学校	９２
H29.9.21	佐野市立北中学校	１４７
H29.9.22	宇都宮市立瑞穂野中学校	９６
H29.10.10	栃木市立東陽中学校	１７５
H29.10.12	鹿沼市立北犬飼中学校	７８
H29.11.17	宇都宮市立河内中学校	１３３
H29.12.12	益子町立七井中学校	４５
H29.12.14	栃木市立西方中学校	３９
H29.12.21	宇都宮市立国本中学校	１２４
	計　　14校	1,413人

ウ　高等学校　　単位:人

期　日	学校	参加者数
H29.5.10	栃木県立日光明峰高等学校	１１
H29.6.7	栃木県立黒羽高等学校	１７
H29.6.12	栃木県立佐野松桜高等学校	２９
H29.6.19	足利短期大学付属高等学校	１１８
H29.6.30	栃木県立黒磯高等学校	１０
H29.7.11	栃木県立足利南高等学校	２３
H29.7.12	佐野清澄高等学校	１８４
H29.9.13	栃木県立小山城南高等学校	１６
H29.9.14	宇都宮文星女子高等学校	２５
H29.9.25	栃木県立さくら清修高等学校	３２
H29.9.26	栃木県立学悠館高等学校	６８
H29.10.25	栃木県立烏山高等学校	８

期　日	学校	参加者数
H29.12.18	足利工業大学附属高等学校	３３０
	計　　13校	871人
	合　計　53校	3,717人

⑥　介護のお仕事見学・体験バスツアー

期　日	場　所	内　容	参加者数
H29.8.9（水）	ケアハウスフローラ（高根沢町） 特別養護老人ホーム美渋（宇都宮市）	①　オリエンテーション ②　ウエルカムイベント ③　施設見学・設備体験 ④　レクリエーション体験 ⑤　職員さん体験・利用者さん体験 ⑥　職員との交流	延べ29人 小学生2人 中学生9人 保護者1人
H29.8.19（土）			小学生11人 保護者6人

⑦　初任者研修受講費用助成事業　　１件　　３９，０００円

(2)　就労への支援と人材確保の促進

①　潜在的有資格者等対象の講座開催

ア　介護のお仕事復帰講座

期　日	場　所	内　容	参加者数
H29.7.15（土）	とちぎ福祉プラザ（宇都宮市）	講義「福祉・介護現場のいま」 実技「リハビリ体操」 講師　ケアハウスエバーグリーンみずほの施設長　生沼　宏統氏	8人
H29.8.19（土）	特別養護老人ホームいずみ苑（宇都宮市）	講義「負担の少ない移動・移乗」 施設見学・意見交換 講師　特別養護老人ホームいずみ ユニットリーダー　松嶋　雅友　氏	8人
H29.12.9（土）	とちぎ福祉プラザ（宇都宮市）	講義「福祉・介護現場のいま」 実技「リハビリ体操」 講師　地域密着型特別養護老人ホーム而今 施設長　阿部　清志氏	9人
H30.1.20（土）	地域密着型特別養護老人ホーム美渋（宇都宮市）	講義「負担の少ない移動・移乗」 施設見学・意見交換 地域密着型特別養護老人ホーム美渋 講師　社会福祉法人蓬愛会 理事長　大山　知子氏	12人

計37人

イ　福祉・介護職スタート講座

期　日	場　所	内　容	参加者数
H29.6.17(土)	とちぎ福祉プラザ（宇都宮市）	「訪問介護のお仕事」 講師　ニチイケアセンター大田原 小田倉　貴恵子　氏	16人

期　日	場　所	内　容	参加者数
H29.8.19(土)		「小規模多機能居宅介護施設でのお仕事」 講師　小規模多機能型居宅介護施設 グループホーム のずの家 増渕　超人　氏	13 人
H29.10.21(土)		「特別養護老人ホームでのお仕事」 講師　特別養護老人ホーム　瑞寿苑 吉田　倫子氏 石田　智彦氏 デイサービスセンターみずほ 池田　房子氏	14 人
H29.12.9(土)		「障害者福祉施設でのお仕事」 講師　障害者福祉サービス事業所 グーフォ・かわち 高月　俊彦氏	12 人
H30.2.10（土）	介護付き有料老人ホーム 宝木荘(宇都宮市)	「有料老人ホームでのお仕事」 講師　介護付き有料老人ホーム 川村　好孝氏	12 人

計 67 人

② 職場体験事業の実施

福祉・介護職体験学習として協力施設において実施した。

コース別人数	体験施設	参加者延人数	体験延日数
見学　25 人 平日１日　41 人 週末１日　9 人 ２～３日　15 人	高齢分野　37 か所	39 人	37 日
	障害分野　23 か所	25 人	23 日
	計　60 か所	計　64 人	計　60 日

③ 離職した介護人材の届出　187 人

④ 福祉のお仕事出張相談の実施

ハローワーク名	開催日数	相談件数	ハローワーク名	開催日数	相談件数
鹿沼	21	13	小山	22	53
栃木	21	49	日光	11	9
佐野	9	16	黒磯	20	27
足利	10	18	那須烏山	11	11
真岡	19	12	とちぎジョブモール	11	1
矢板	22	15	パルティ	11	7
大田原	19	39	計	207	270

⑤ エリア別就職フェアの開催

期　日	会　場	事業所数	参加者数	採用者数
H29.8.26(土)	矢板市生涯学習館	16	12	3
H29.9.2(土)	栃木市栃木文化会館	27	33	0
H29.10.14(土)	真岡商工会議所	17	11	0
H29.10.28(土)	健康長寿センター（那須塩原市）	20	20	4
H29.11.4(土)	足利市民プラザ	10	10	2

期　日	会　場	事業所数	参加者数	採用者数
H29.12.16(土)	とちぎ健康の森	46	41	4
H30.1.27(土)	小山市中央公民館	34	24	0
H30.2.17(土)	とちぎ福祉プラザ	49	59	3
計	8回	219	210	16

⑥　事業所訪問の実施　　30か所

⑦　社会福祉施設採用内定者研修会の開催

期　日	場　所	内　容	参加者数
H30.3.7(水)	とちぎ福祉プラザ(宇都宮市)	【講義・演習】 「福祉の現場で働く心構えと社会人としてのマナー」 講師　門倉労務管理事務所 特定社会保険労務士 キャリアコンサルタント　東　智子氏	47人

⑧　保育士・保育所支援センターの設置運営

保育士に特化した就職相談や職場復帰のための研修等を実施した。

ア　紹介、採用状況（再掲）

区　分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
有効求人数（人）		300	269	283	474	590	550	474	498	569	591	527	506	5,631
紹介・応募人数		6	3	4	5	16	12	10	9	8	12	4	7	96
内訳	紹　介	5	3	4	5	14	11	6	8	7	10	4	6	83
	応　募	1	0	0	0	2	1	4	1	1	2	0	1	13
採用人数		4	1	0	0	3	4	7	9	10	9	13	20	80
内訳	正職員	3	1	0	0	2	1	3	4	2	2	3	8	29
	常勤（正以外）	0	0	0	0	0	1	2	1	2	2	1	1	10
	非・パート	1	0	0	0	1	2	2	4	6	5	9	11	41

イ　求職状況(再掲)

区　分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
有効求職者数（人）	49	29	27	32	57	84	93	98	108	96	87	69	829

ウ　潜在保育士データベースの管理・運営

とちぎ保育士サポートシステム登録者数　3,008人

エ　メールマガジンの発行　　発信回数　27回

通常号12～23号（12回)、特別号11～22号（12回)、臨時号（3回）

オ　ホームページにて情報発信　　54件

カ　会議への参加

研修・会議名	主催者	期　日	場　所
保育士・保育園支援センター等実施福祉人材センター連絡会議	全国社会福祉協議会	H29.11.6（月）	全国社会福祉協議会（東京都）

⑨　保育のお仕事就職フェアの開催

ア　保育のお仕事就職フェア

期　日	場　所	内　容	参加者数
H29.7.30（日）	とちぎ福祉プラザ（宇都宮市）	① 個別面談コーナー ② とちぎ保育士・保育所支援センター相談コーナー	参加事業所 54 か所 参加者数　136 人 採用者数　29 人
H29.9.2(土)	栃木市栃木文化会館（栃木市）	① 個別面談コーナー ② とちぎ保育士・保育所支援センター相談コーナー	参加法人 14 か所 参加者数　22 人 採用者数　4 人
H29.10.28（土）	健康長寿センター（那須塩原市）		参加事業所 19 か所 参加者数　27 人 採用者数　0 人
H29.12.16（土）	とちぎ健康の森（宇都宮市）		参加事業所 24 か所 参加者数　42 人 採用者数　5 人

計　　事業所数 111 か所、参加者数 227 人、採用者数 38 人

⑩　潜在保育士等対象の講座等開催

ア　保育のお仕事復帰講座

期　日	場　所	内　容	参加者数
H29.8.22(火)	栃木公民館(栃木市)	・講義「けがや病気の対応、事故防止について」 講師　栃木県立衛生福祉大学校 教授　福田　恭子氏	8 人
H29.9.23（土）	健康長寿センター（那須塩原市）	・講義「子どもの気になる行動について」 講師　とちぎ・ふじ発達研究所 代表　佐藤　俊夫氏	6 人
H29.11.25(土)	総合コミュニティーセンター（宇都宮市）	・講義「つながりあそび・うた」 講師　つながりあそび・うた研究所 主任　町田　浩志氏 ・「子どものけがや病気について」 講師　日本赤十字社栃木支部 参事　浅賀　昌代氏	18 人

計　　32 人

イ　保育のお仕事 1day 体験　　1 日コース　　4 人

ウ　復職応援コミュニティ「おしゃべりカフェ　らふ&ラフ」

期　日	場　所	内　容	参加者数
H29.6.23(金)	とちぎ福祉プラザ（宇都宮市）	製作「ジャンプガエル」 ミニ講座「ふれあいあそびの魅力」 懇談会	8 人

H29.10.13 （金）	とちぎ福祉プラザ（宇都宮市）	製作「へんしん絵本」 ミニ講座「絵本の読み聞かせ」 懇談会	4人
H30.1.20（土）	とちぎ福祉プラザ（宇都宮市）	製作「ふわふわはねつき」 ミニ講座「午睡時の事故防止」 懇談会	4人
H30.2.10（土）	とちぎ福祉プラザ（宇都宮市）	製作「紙コップ人形」 ミニ講座「保育記録の種類と目的」 懇談会	7人

計　23人

エ　事業者向けセミナー

期　日	場　所	内　容	参加者数
H29.5.30 （火）	とちぎ福祉プラザ (宇都宮市)	【講義】「採用成功法人が実践している採用ノウハウを学ぶ」～就職フェアで人を集め採用するには～ 【個人研究 ＆ グループワーク】 「自法人の採用力を磨く、ALL栃木で勝つ方法を体感する」 講師　株式会社　らしさ研究所 代表　　門野　友彦氏	44人

オ　若年保育士セミナー

期　日	場　所	内　容	参加者数
H29.10.17 （火）	とちぎ福祉プラザ (宇都宮市)	【講義・演習】「保育が楽しくなるコミュニケーション術」 講師　宇都宮共和大学 准教授　土沢　薫氏	36人

(3) 職場定着への支援

①　介護福祉士修学資金等の貸付け

ア　介護福祉士等修学資金

			貸付人数	貸付金額
新規	2年課程（8校）	1年生	38人	30,814,120円
	4年課程（1校）	1年生	7人	5,600,000円
継続	2年課程（8校）	2年生	36人	29,850,000円
	4年課程（1校）	2年生	3人	1,800,000円
		3年生	5人	3,000,000円
		4年生	5人	4,000,000円
合　計			94人	75,064,120円

イ　実務者研修受講資金　　貸付人数　28人、　　貸付金額　5,490,261円

ウ　再就職準備金　　貸付人数　25人、　　貸付金額　5,000,000円

②　保育士修学資金等の貸付け

ア　保育士修学資金

			貸付人数	貸付金額
新規	2年課程（11校）	1年生	41人	32,200,000円
		2年生	17人	13,600,000円
	3年課程（4校）	1年生	10人	5,800,000円
		2年生	1人	600,000円
		3年生	0人	0円
	4年課程（5校）	1年生	12人	5,400,000円
		2年生	2人	800,000円
		3年生	0人	0円
		4年生	2人	1,600,000円
合計			85人	60,000,000円

イ　保育補助者雇上費貸付

貸付数　3事業所　　貸付金額　　5,935,572円

概要版

ウ　未就学児を持つ保育士に対する保育料の一部貸付

貸付人数　137人、　貸付金額　20,988,100円

エ　就職準備金貸付　　貸付人数　108人、　貸付金額　43,151,000円

③　福利厚生事業の実施

民間社会福祉施設職員等の福利厚生の増進を図るために設立された福利厚生センターの地方事務局として、各種の福利厚生サービスを提供した。

・福利厚生センター県内加入状況（H29年8月31日現在）

加入法人数　83法人　　会員数　3,574人　　加入率　25.2%

ア　福利厚生事業の助成

・スポーツ大会への助成（福祉基金充当事業）　　1団体

・人間ドック費用の助成（福祉基金充当事業）　　87人

イ　会員交流事業の実施

事業名	期　日	場　所	内　容	参加者数
東京ディズニーリゾートバスツアー	H29.11.11（土）～11.12（日）	千葉県東京ディズニーリゾート	東京ディズニーリゾート（宿泊）	42人
	H29.12.9（土）		東京ディズニーリゾート（クリスマス）	86人
国内旅行	H29.8.5（土）	福島県福島市他	ふくしま日帰りバスツアー	42人
	H29.9.10（日）	神奈川県横浜市他	YOKOHAMA日帰りバスツアー	42人
	H29.11.5（日）	東京都	帝国ホテルグルメ	42人
チケットあっせん販売	H29.7.～10月	宇都宮市	「オトワレストラン」お食事クーポン	200人
	H29.7.～10月	日光市	「山のレストラン」お食事クーポン	200人
	H29.7～10月	那須烏山市	「クローバー」お食事クーポン	200人
	H29.7.9（日）	佐野市文化会館（佐野市）	よしもとお笑いライブ	30人

H29.7.15（土）	電通四季劇場（東京都）	劇団四季ミュージカル「アラジン」	80人
H29.7.22（土）	栃木県総合文化センター（宇都宮市）	劇団四季ミュージカル「アンデルセン」	30人
H28.8.20（日）	宇都宮市文化会館（宇都宮市）	WAHAHA本舗全体公演	30人
H29.9.3（日）	黒磯文化会館（那須塩原市）	きかんしゃトーマスファミリーミュージカル	60人
H29.9.10（日）	栃木県総合文化センター（宇都宮市）	シェイクスピア「夏の夜の夢」	14人
H29.9.18（月）	新国立劇場（東京都）	デスノートTHE　MUSICAL	15人
H29.9.23（土）	宇都宮市文化会館（宇都宮市）	おかあさんといっしょガラピコぷ～がやってきた	60人
H29.12.10（日）	宇都宮市文化会館（宇都宮市）	ディズニー・オン・クラシック	30人
H30.2.1（木）	栃木県総合文化センター（宇都宮市）	狂言　万作の会	30人
6ヶ月有効	県内指定映画館	映画鑑賞券	1108人
6ヶ月有効	県内指定温泉施設	宿泊・日帰り温泉クーポン	280人
H29.4.～12月	千葉県東京ディズニーリゾート	東京ディズニーリゾート特別利用券	550人

ウ　福利厚生センター全国会議への参加

期　日	場　所	内　　容
H29.4.21（金）	東京都内	新任担当者研修会
H29.7.10（月）	東京都内	全国連絡会議

エ　入会促進及び事業の利用促進　　20事業所訪問

（4）その他

①　福祉人材・研修センター運営委員会の開催

期　日	場　所	内　容
H29.9.26（火）	とちぎ福祉プラザ（宇都宮市）	・福祉人材・研修センター事業の取組み状況について ・福祉・介護人材確保における諸課題について

②　企業合同説明会等への相談コーナー出展

事業名	主催者	期　日	場　所	相談者
２０１７とちぎ求人企業合同説明会	栃木県、宇都宮市他	H29.6.8（木）	マロニエプラザ（宇都宮市）	5人
第2回ママトオシゴト	株式会社ビジュアル	H29.6.10（土）	トヨタウッドユーホームすまいるプ	5人

事業名	主催者	期　日	場　所	相談者
			ラザ	
とちぎ県民の日	栃木県	H29.6.17（土）	栃木県庁（宇都宮市）	5人
とちぎ UIJ ターン就職支援合同面接会	栃木県	H29.6.17(土)	東京新卒応援ハローワーク出会いのフロア	3人
宮っ子フェスタ 2017	宇都宮市	H29.10.7（土）	バンバひろば（宇都宮市）	114人
介護のしごと合同就職面接会	ハローワーク宇都宮・鹿沼・真岡・日光	H29.11.2(木)	コンセーレ(宇都宮市)	3人
介護就職デイ	ハローワーク黒磯	H29.11.13(月)	ハローワーク黒磯（那須塩原市）	3人
第9回「介護の日」ﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ in けんちょう	栃木県（一社）栃木県老人福祉施設協議会	H29.11.11（土）	栃木県庁(宇都宮市)	26人
フェスタ in パルティ 2017	栃木県	H29.11.25（土）	パルティとちぎ男女共同参画センター（宇都宮市）	12人
真岡いちごフェスタ	もおか“いちご”フェスタ実行委員会	H29.12.3（日）	井頭公園（真岡市）	18人
保育士ミニ面接会	ハローワーク宇都宮	H30.1.17（水）	ハローワーク宇都宮（宇都宮市）	15人
保育士ミニ面接会	ハローワーク宇都宮	H30.2.20（火）	ハローワーク宇都宮（宇都宮市）	12人
とちぎ就職支援合同面接会	栃木県、栃木労働局、ハローワーク宇都宮、宇都宮商工会議所	H30.2.1（木）～2（金）	栃木県庁(宇都宮市)	3人
			計	224人

③　福祉従事者養成校及び学生等への情報提供

事業名	主催者	期　日	場　所	参加者
介護労働講習会	介護労働安定センター栃木支所	H29.6.6(火)	コンセーレ(宇都宮市)	40人
介護職員初任者研修講座	株式会社テンダーケアジャパン	H29.6.22（木）	とちぎ福祉ﾌﾟﾗｻﾞ(宇都宮市)	4人
	企業組合労協センター事業団	H29.9.26（火）	サン・アビリティーズ(宇都宮市)	6人
		H29.12.22（金）	サン・アビリティーズ（宇都宮市）	14人
	ひとり親家庭連合会	H29.12.10(日)	とちぎ男女共同参画センター(宇都宮市)	15人
		H29.12.17（日）	栃木保健福祉センター（栃木市）	5人
栃木市生活サポーター養成講座	栃木市	H29.10.6（金）	栃木保健福祉センター（栃木市）	13人
矢板市中高年向け介護入門研修	矢板市高齢対策課	H29.10.24（火）	やしお苑（矢板市）	20人

宇都宮短期大学就職ガイダンス	宇都宮短期大学	H29.12.14（木）	宇都宮短期大学（宇都宮市）	33人
福祉・介護職スタートセミナー	ハローワーク大田原	H30.3.5（月）	ハローワーク大田原	1人
	ハローワーク黒磯	H30.3.12（月）	ハローワーク黒磯	8人
			計	159人

④　研修会等への参加

研修・会議名	主催者	期　日	場　所
福祉人材情報システム研修会	全国社会福祉協議会	H29.4.11（火） ～12（水） 13（木） ～14（金）	全国社会福祉協議会（東京都）
栃木県介護人材確保対策連絡調整会議ﾜｰｷﾝｸﾞｸﾞﾙｰﾌﾟ	栃木県	H29.5.12（金） H29.7.6（木）	県庁北別館（宇都宮市）
栃木県介護人材確保対策連絡調整会議	栃木県	H29.7.21（金）	県庁北別館（宇都宮市）
福祉人材センター業務・法令研修会	全国社会福祉協議会	H29.5.24（水） ～25（木）	全国社会福祉協議会（東京都）
第5回介護人材確保地域戦略会議	厚生労働省	H29.6,7（水）	全国社会福祉協議会（東京都）
栃木介護労働懇談会	介護労働安定センター栃木支所	H29.7.5（水）	とちぎ福祉プラザ（宇都宮市）
マッチング機能強化研修	全国社会福祉協議会	H29.7.27（木）	全国社会福祉協議会（東京都）
第25回関東ﾌﾞﾛｯｸ福祉人材センター・バンク連絡協議会	埼玉県社会福祉協議会	H29.8.30（水）	彩の国すこやかプラザ(埼玉県)
福祉人材センター全国連絡会議	全国社会福祉協議会	H29.9.21（木） ～22（金）	全国社会福祉協議会（東京都）
福祉人材センター・バンク基幹職員研修会	全国社会福祉協議会	H29.10.24（火） ～25（水）	
基金事業担当者介護人材確保意見交換会	関東信越厚生局健康福祉部	H29.10.16（月）	TKP さいたま新都心ホール（埼玉県）
介護人材確保シンポジウム	みずほ情報総研株式会社介護人材確保シンポジウム事務局	H30.1.30（火）	ＴＫＰガーデン（東京都）
職業紹介責任者講習	株式会社オファーズ	H30.3.9（金）	大田産業プラザ（東京都）

2　福祉人材の育成

(1)　専門研修の充実

①　社会福祉事業従事者専門研修の開催

社会福祉従事者を対象に、専門性の向上と組織性を高める研修会を開催した。

事業名	期　日	研修内容・講師	時間等	参加者数
1　社会福祉施設採用内定者研修	（高齢） H30.3.7（水） （障害） H30.3.8（木） H30.3.13（火）	・講義・演習「福祉の職場で働く心構えと社会人としてのマナー」 【講師】門倉労務管理事務所 特定社会保険労務士・キャリアコンサルタント　　東　智子　氏	講義・演習 5H	計151人 47人 34人 70人
2　社会福祉施設新任職員研修（前期）	（高齢） H29.5.16(火) H29.5.17(水)	・体験発表「福祉の仕事に携わって～先輩から～」 【発表者】 敬愛荘 介護主任　滝沢　祐希氏 同仁会 ケアワーカー　星野　智美氏 はがの杜 介護職員　小林　儀之氏 白楽園 介護職員　五十嵐太建宗氏 ・講義・演習「対人援助と社会福祉の視点」 【講師】宇都宮短期大学 人間福祉学科 准教授　小野　篤司氏	体験発表1H 講義・演習 4H	計202人 29人 39人
	（障害・児童） H29.5.31(水) H29.6.1(木)	・体験発表「福祉の仕事に携わって～先輩から～」 【発表者】 飛山の里福祉会　上野亜紗美氏 太陽　支援員　遠山　亮氏 桔梗寮　保育士　近藤　大介氏 ・講義・演習「対人援助と社会福祉の視点」 【講師】宇都宮短期大学 人間福祉学科 准教授　小野　篤司氏		59人 75人
3　社会福祉施設新任職員研修（後期）	（高齢） H29.10.4(水) H29.10.5(木)	・講義「高齢者福祉の動向と介護サービス事業所・施設の役割」 【講師】栃木県保健福祉部高齢対策課 ・講義・演習「信頼されるスタッフを目指して」 【講師】スマイルコミュニケーション　代表　小林　里江氏	講義・演習 5H	計172人 30人 35人

	（障害・児童） H29.10.18(水) H29.10.19(木)	・講義「障害者福祉の動向と障害者サービス事業所・施設の役割」 【講師】栃木県保健福祉部障害福祉課 ・講義「児童福祉の動向と児童福祉事業所・施設の役割」 【講師】栃木県保健福祉部こども政策課 ・講義・演習「信頼されるスタッフを目指して」 【講師】スマイルコミュニケーション　代表　小林　里江氏		56 人 51 人
4　社会福祉施設中堅職員研修	H29.7.5(水) H29.7.13(木) H29.7.20(木)	・講義・演習「中堅職員の果たすべき役割」 【講師】㈱ヒューマンスキル開発センター　事業部長・コンサルタント 小野里　奈保氏	講義・演習 5H	計 230 人 84 人 76 人 70 人
5　社会福祉施設指導監督職員研修	H29.9.12(火) H29.9.20(水)	・講義・演習「指導的立場にある職員の果たすべき役割 【講師】 産業カウンセラー・心理相談員　 横山　美弥子氏	講義・演習 5H	計 123 人 61 人 62 人
6　社会福祉施設長研修	H29.10.26(木)	・講義「働きやすい職場環境づくりに向けた管理者の役割」 【講師】 (株)ビーコンラーニングサービス 井口　和之氏	講義 3H	87 人
7　老人福祉施設介護従事者研修	H29.9.1(金)	・講義「高齢者施設におけるターミナルケアとは」 【講師】NPO 法人メイアイヘルプユー　理事・保健師　鳥海　房枝氏 ・実践発表「特養・老健でのターミナルケアの実践」 【発表者】 特別養護老人ホーム敬祥苑 施設長　赤羽　基行氏 介護老人保健施設今市Ｌケアセンター 看護師　水沼久美子氏 ・グループ討議「どのようにすればターミナルケアを実践できるか」	講義・演習 5H	66 人
8　老人福祉施設機能訓練指導員研	H29.7.27(木)	・講義・演習「老人福祉施設における機能訓練」 【講師】越谷なごみ苑 理学療法士・事業部長補佐 田中　義行氏	講義・演習 5H	45 人
9　老人福祉施設看護職員研 修	H29.9.21(木)	・講義・演習「高齢者のフィジカルアセスメント～循環器編～」 【講師】獨協医科大学　看護学部 准教授　丸井　明美氏	講義・演習 5H	33 人

10　障害者福祉施設支援員研修	H29.11.30(木)	・講義「障害者の権利擁護について」 【講師】栃木県手をつなぐ育成会 会長　小島　幸子氏 ・講義「行動障害の理解と対応について」 【講師】国立重度知的障害者総合施設のぞみの園　信原　和典氏	講義・演習 5H	49 人
11　障害児通所支援事業所等従事者研修	H29.6.20(火)	・講義「障害児の発達支援について 【講師】とちぎ・ふじ発達研究所 代表　佐藤　俊夫氏	講義 5H	46 人
12　相談技術研修	H29.9.5(火) H29.9.6(水)	・講義・演習「コミュニケーションの基礎と応用」 【講師】ＮＬＰスクール心につばさを！　代表　細谷　和博氏	講義・演習 10H	延 99 人 50 人 49 人
13　保育所新任保育士研修	H29.5.18(木)	・講義・演習「新任保育士に期待すること」、「保育の仕事に携わってみて」 【講師】とちぎ保育士・保育所支援ｾﾝﾀｰ　保育人材ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ 金沢　佐江子	講義・演習 5H	延 213 人 103 人
	H29.5.25(木)	・講義「乳幼児保育の疾病・事故の予防対処」 【講師】国際医療福祉大学 教授　世良　喜子氏 ・保育実技 【講師】日本遊育研究所 専任講師　藤原　明美氏	講義・実技 5H	110 人
14　保育所保育士研修	H29.6.15(木)	・講義・演習「中堅的職員に求められる役割と即場におけるコミュニケーション・リーダーシップ」 【講師】スマイルコミュニケーション　代表　小林　里江氏	講義・演習 5H	100 人
15　保育所主任保育士研修	H29.5.24(水) H29.6.21(水)	・講義・演習「保育所における組織マネジメントと職員育成について」 【講師】キャリア・コンサルタント、シニア産業カウンセラー 栗原　知女氏	講義・演習 5H	計 157 人 57 人 100 人
16　保育所長研修	H29.7.6(木)	・講義「保育所の社会的役割と保育所長の責務について及び事故防止とリスクマネジメントについて」 【講師】㈱フォーサイツコンサルティング 代表取締役　浅野　睦氏	講義 3H	87 人
17　育児相談担当保育士研修	H29.9.13(水)	・講義　「子育て環境の現状と子育て支援の意義について」 ・グループ討議「子育て相談対応事例の共有と課題について」 【講師】一般社団法人日本保育者支援協会　　理事長　新保　庄三氏	講義・演習 5H	108 人

18　乳児保育担当保育士研修	H29.9.29(金)	・講義　「乳児保育における自己肯定感の育ちと保育者の役割について～質の高い乳児保育の実践～」 【講師】元立教女学院短期大学 教授　今井　和子氏	講義 5H	延213人 115人
	H29.10.6(金)	・講義　「乳児期の事故防止と健康安全管理について」 【講師】国際医療福祉大学 教授　世良　喜子氏 ・実技・講義「乳児期のすこやかな発達のために」～愛着関係を築くタッチケアと食べる力を育む関わりについて～ 【講師】助産師　相田　美智子氏	講義・演習 5H	98人
19　障害児保育担当保育士研修	H29.6.29(木)	・講義・演習「子どもの気になる行動の理解とその関わり方、家庭などとの連携について」 【講師】とちぎ・ふじ発達研究所 代表　佐藤　俊夫氏	講義・演習 5H	延218人 134人
	H29.9.7(木)	・講義・演習「子どもの気になる行動の理解とその関わり方、家庭などとの連携について」 【講師】長野保健医療大学 保健科学部 教授　福田　恵美氏	講義・演習 5H	84人
20　児童虐待対応研修	H29.11.16(木)	・講義「児童虐待の現状と対策」 ・講義・演習「虐待を受けた子どもの理解と援助」 【講師】保育と虐待対応事例研究会 主宰　佐藤　初美氏	講義・演習 5H	88人
21　福祉広報力アップ研修	H29.6.13(火)	・講義「社会福祉法人・福祉施設等の情報発信について」 ・講義・演習「広報ツールの効果的な活用の取組」 【講師】田園調布学園大学 社会福祉学科　教授 村井　祐一氏	講義・演習 5H	64人
22　職場研修担当者研修	H29.11.7(火) H29.11.8(水) H29.11.14(火) H29.11.15(水)	・講義・演習「職場研修の運営実務について」 【講師】芳賀郡障害児者相談支援ｾﾝﾀｰ ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ　石﨑　智氏	講義・演習 20.5H	延144人 各日36人
23　メンタルヘルス推進者研修	H29.11.28(火) H29.12.5(火)	・講義・演習「職場内のメンタルヘルス対策」 【講師】産業カウンセラー・心理相談員・キャリアカウンセラー 横山　美弥子氏	講義・演習 5H	計115人 64人 51人

24　社会福祉行政新任職員研修	H29.4.28(金)	・講義　「社会福祉の視点と福祉行政の動向について」 【講師】国際医療福祉大学 教授　小林　雅彦氏 ・講義　「高齢者福祉行政の動向」 【講師】栃木県高齢対策課 課長補佐　杉山　庄吾氏 ・講義　「障害者福祉行政の動向」 【講師】栃木県障害福祉課 課長補佐　福田　真志氏 ・講義　「児童福祉行政の動向」 【講師】栃木県こども政策 課長補佐　篠﨑　孝氏	講義 1.5 H 分科会 講義 1.5 H	76 人
25　生活保護行政新任職員研修	H29.4.13(木)	・講義「生活保護の実務」「生活困窮者自立支援制度」「保護の実施要領」 ・事例研究 【講師】栃木県保健福祉課	講義・演習 15H	延 182 人 58 人
	H29.5.11(木)	・講義「医療扶助運営要領」「介護扶助」 ・事例研究 【講師】栃木県保健福祉課		63 人
	H29.6.8(木)	・講義「保護の実施要領」 ・事例研究 【講師】栃木県保健福祉課		61 人
26　生活保護査察指導員等研修	H29.10.12(木)	・講義「生活保護業務における査察指導員の役割について」 【講師】栃木県保健福祉課 課長補佐　慶野 英和氏 ・講義「厚生労働省監査結果について」 【講師】栃木県保健福祉課 主査　小川 真由美氏 ・講義「生活保護受給者と就労自立促進事業について」 【講師】栃木県労働局職業安定部訓練室　室長補佐　松本 和彦氏 ・講義「障害福祉サービスについて」 【講師】栃木県障害福祉課 課長補佐　中里 浩一氏	講義・演習 4H	26 人
27　母子･父子自立支援員等研修	H29.6.30(金)	・講義・演習「ひとり親家庭等に対する相談支援の在り方」 【講師】明治学院大学社会福祉学科 教授　新保　美香氏	講義・演習 4H	29 人

28　食育・アレルギー対応研修	H30.2.2(金) ～ H30.3.17(土)	①栄養に関する基礎知識・保育所における食事提供ガイドライン ②食育計画の作成と活用 【講師】和洋女子大学 助教　池谷 真梨子氏 東京家政学院大学 助教　曾退 友美氏 東京家政学院大学 教授　酒井 治子氏 ③アレルギー疾患の理解・保育所におけるアレルギー対応ガイドライン 【講師】獨協医科大学小児科学 主任教授　吉原 重美氏	講義・演習 15H	延849人 Aコース 延295人 Bコース 延359人 Cコース 延195人
29　保健衛生・安全対策研修	H30.1.10(水) ～ H30.3.18(日)	①保健計画の作成と活用・事故防止及び健康安全管理(健康安全管理) 【講師】白鷗大学 教授　岩城 淳子氏 ②事故防止及び健康安全管理(事故防止)・教育保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン 【講師】㈱ﾌｫｰｻｲﾂｺﾝｻﾙﾃｨﾝｸﾞ 代表取締役　浅野　睦氏 ③保育所における感染症対策ガイドライン・保育の場において血液を介して感染する病気を防止するためのガイドライン 【講師】白鷗大学 教授　岡田 晴恵氏	講義・演習 15H	延　1,003人 Aコース 延347人 Bコース 延392人 Cコース 延264人
30　保護者支援・子育て支援研修	H29.12.22(金) ～ H30.2.27(火)	①保護者支援子育て支援の意義・保護者に対する相談援助 【講師】日本保育者支援協会 代表　新保 庄三氏 ②地域における子育て支援 【講師】NLP ｽｸｰﾙ心につばさを！ 代表　細谷 和博氏 ③虐待予防・関係機関との連携、地域資源の活用 【講師】保育と虐待対応事例研究会 主宰　佐藤 初美氏	講義・演習 15H	延953人 Aコース 延343人 Bコース 延353人 Cコース 延257人
31　マネジメント研修	H30.1.15(月) ～ H30.3.15(木)	①マネジメントの理解 ②リーダーシップ・組織目標の設定 ③人材育成・働きやすい環境づくり 【講師】㈱ﾌｫｰｻｲﾂｺﾝｻﾙﾃｨﾝｸﾞ 代表取締役　浅野　睦氏	講義・演習 15H	延 1,076人 Aコース 延432人 Bコース 延410人 Cコース 延234人

計　31研修、81日、延7,004人

(2)　独自研修の充実

社会福祉従事者福祉講座の開催

事業名	期　日	研修内容・講師	時間等	参加者数
口腔ケア講座	H29.8.25(金)	・講義・実習「口腔ケアの必要性と実践の基本」 【講師】デンタルサポート㈱ 歯科衛生士　木村　典子氏 橋長　千鶴氏	講義・実習 4H	69 人
アンガーマネジメント講座	H29.12.12(火) H29.12.13(水)	・講義・演習「怒りと上手に付き合う自分になろう～ｱﾝｶﾞｰﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ～」 【講師】ﾔﾏｾﾞｺﾐｭﾆｹｲｼｮﾝｽﾞ㈱ 山本　果奈氏	講義・演習 5H	計 155 人 90 人 65 人
負担の少ない移動・移乗介助講座	H29.9.28(木)	・講義・演習「負担の少ない移動・移乗介助講座」 【講師】野沢の里 理学療法科長　髙橋　一将氏 ヴィラフォーレスタ（森の家） 理学療法士　高倉　史也氏	講義・実技 3H	103 人

計　3 研修、4 日、計 327 人

Ⅴ　生活困窮者の自立支援の推進

1　生活困窮者への自立支援

⑴　市町社協と連携した生活困窮者への自立支援の推進

①　生活困窮者相談窓口の設置

・受付相談件数 115 件（生活福祉資金相談含む）

②　生活困窮者自立相談支援事業相談員勉強会の開催

主に自立相談支援事業を受託する市社協の相談員を対象に、事業の円滑な実施のための情報交換、対応事例検討、地域資源の開発等について参加者相互に意見交換する場として勉強会を実施した。

回　数	期　日	場　所	内　容	参加者数
第 1 回	H29.4.28（金）	宇都宮市とちぎ福祉プラザ	・今年度の各社協の取り組みについて	22 人
第 2 回	H29.6.27（火）		・各社協の取り組みについて ・課題検討　課題提起社協　栃木市社協	11 人
第 3 回	H29.8.30（水）		・各社協の取り組みについて ・課題検討　課題提起社協　宇都宮市社協	13 人
第 4 回	H29.10.24（火）		・各社協の取り組みについて ・課題検討　課題提起社協　佐野市社協	15 人
第 5 回	H29.12.21（木）		・各社協の取り組みについて ・課題検討　課題提起社協　那須塩原市社協	14 人
第 6 回	H30.2.26(月)		・各社協の取り組みについて ・課題検討　課題提起社協　真岡市社協	14 人

③　生活困窮者市町社協巡回相談

生活困窮者自立相談支援事業等に関する相談支援のため、市町社協を訪問した。

④　相談技術向上のための研修会

県内市町社協の総合相談窓口担当者等が生活困窮者を支援していくために必要な相談技術と専門知識を習得することにより、相談援助の技術向上を図るため研修会を実施した。

回　数	期　日	場　所	内　容	参加者数
第 1 回	H29.12.25(月)	宇都宮市とちぎ福祉プラザ	講義・演習「家計の見直しガイド」 講師　日本 FP 協会　CFP 認定者 宇賀神　律子氏	38 人
第 2 回	H30.2.26（月）		講義「借金問題を抱えた相談者への対応について」 講師　法テラス栃木法律事務所 常勤弁護士　鈴木　彩葉氏	57 人

⑵　生活困窮者自立支援事業を実施する関係機関との連携強化

①　生活困窮者自立相談支援機関連絡調整会議の開催

生活困窮者自立支援事業の円滑な実施に向けて、各市町、市町社会福祉協議会、健康福祉センターの担当者の相談援助力向上を図るため、県と協働実施した。

回　数	期　日	場　所	内　容	参加者数
第 1 回	H29.7.14(金)	栃木県庁北別館	・生活困窮者自立支援事業の最近の動向について	43 人

回　数	期　日	場　所	内　容	参加者数
			・生活福祉資金貸付事業について ・特定求職者雇用開発助成金について ・事例検討・事例発表	

② 認定就労訓練事業者を開拓するための説明会の開催

就労が困難な生活困窮者の訓練の場となる「中間的就労」を行う認定就労訓練事業者を開拓するための説明会を実施した。

回　数	期　日	場　所	内　容	参加者数
第1回	H30.1.23(火)	宇都宮市パルティとちぎ男女共同参画センターホール	講義　「働きたいけれど働けずにいる人のための就労支援～千葉県における就労支援の実践から～ 講師　社会福祉法人六親会 常務理事　湯川　智美氏 事業説明　「認定就労訓練事業について」 県保健福祉部保健福祉課	34人

③ 国が実施する相談員養成研修の伝達研修会の開催

(生活困窮者自立支援制度従事者研修企画会議の開催)

生活困窮者自立支援制度の相談員の資質向上を図ることを目的とした研修を企画するため、研修企画会議を実施した。

回　数	期　日	場　所	内　容	参加者数
第1回	H29.4.27(木)	宇都宮市とちぎ福祉プラザ	・生活困窮者自立支援制度従事者研修の持ち方について	7人
第2回	H29.5.12(金)		・研修プログラムについて	8人
第3回	H29.6.14(水)		・第1回研修の運営について ・第2回研修のプログラムについて	8人
第4回	H29.9.5(火)		・第2回研修のプログラムについて	10人
第5回	H29.10.16(月)		・第2回研修のプログラムについて	9人
第6回	H29.11.28(火)		・第2回研修のプログラムについて	10人

(栃木県生活困窮者自立支援制度従事者研修の開催)

生活困窮者自立支援制度従事者の資質の向上を図るため、研修会を実施した。

回　数	期　日	場　所	内　容	参加者数
第1回	H29.6.19(月)	宇都宮市とちぎ福祉プラザ	講義「生活困窮者支援の基本的な考え方」 講師　県保健福祉課生活保護担当 講義「生活困窮者支援に必要と考えられる視点と相談支援の展開」 講師　那須塩原市社会福祉協議会 江連　高章氏（国研修受講者） 講義「我が事・丸ごと地域共生社会の実現に向けた国の動き等について」 講師　県保健福祉課地域福祉担当 講義「精神障害の疑いのある方への支援について」	44人

回　数	期　日	場　所	内　容	参加者数
			講師　栃木県精神障害者支援事業協会 理事兼事務局長　小池　秀明氏 講義・演習「事例検討及び社会資源の活用と関係機関との連携・協働」 講師　那須塩原市社会福祉協議会 江連　高章氏　（国研修受講者） 佐野市社会福祉協議会 堤崎　正人氏　（国研修受講者） 栃木県県北健康福祉センター 星野　智枝氏　（国研修受講者）	
第２回	H29.12.14 （木）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	講義・演習「自立支援プランの考え方～基礎編～」 講師　栃木県県北健康福祉センター 星野　智枝氏（国研修受講者） 佐野市社会福祉協議会 堤崎　正人氏（国研修受講者） 那須塩原市社会福祉協議会 江連　高章氏（国研修受講者） 演習「自立支援プランの考え方～実践編～」 講師　栃木県県北健康福祉センター 星野　智枝氏（国研修受講者） 佐野市社会福祉協議会 堤崎　正人氏（国研修受講者） 那須塩原市社会福祉協議会 江連　高章氏（国研修受講者） 講義「振り返りから学ぶ生活困窮者の支援 」 講師　市川市生活サポートセンターそら 朝比奈　ミカ氏	35人

２　貸付事業等による自立支援

⑴　生活福祉資金貸付事業等の推進

ア）生活福祉資金貸付事業

①　生活福祉資金貸付業務の実施

生活福祉資金貸付事業を市町社協及び民生委員並びに保護の実施機関と連携の上に実施し、対象世帯の自立支援を行った。

a　貸付中件数及び金額

資金種類	件　数	金　額（円）
生活福祉資金	2,633	1,287,994,634
生活福祉資金（不動産担保型生活資金）	5	33,421,556
生活福祉資金（要保護世帯向け不動産担保型生活資金）	36	163,783,918

b　生活福祉資金（不動産担保型生活資金）の貸付

- 不動産鑑定件数 2件
- 契約締結件数　0件

c　生活福祉資金（要保護世帯向け不動産担保型生活資金）の貸付

・　不動産鑑定件数 10 件（新規 6 件、再評価 4 件）

・　契約締結件数　　5 件（新規 4 件、継続 1 件）

d　貸付状況及び償還状況

・　貸付金申込、決定状況

種別＼区分	貸付状況			
	申込		決定	
	件数	金額（円）	件数	金額（円）
総合支援資金	8	3,431,654	8	2,950,319
福祉資金福祉費	21	17,990,400	20	17,837,000
緊急小口資金	14	1,177,000	14	1,177,000
教育支援資金	46	37,857,516	46	37,845,000
不動産担保型生活資金	0	0	0	0
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	6	―	4	18,018,000
計	95	60,456,570	92	77,827,319

・　貸付金償還免除等

種別＼区分		申請		承認	
		件数	金額（円）	件数	金額（円）
貸付金償還免除	生活福祉資金	12	9,361,640	12	9,361,640
	要保護世帯向け不動産担保型生活資金	1	4,031,627	1	4,031,627
延滞利子支払免除		0	0	0	0
貸付金償還猶予		16		16	

・　償還状況

健全債権（当年度元金）　　50,093,975 円（償還率 66.03%）

長期滞留債権（当年度元金）　2,465,160 円（償還率　5.32%）

② 生活福祉資金運営委員会等の開催

貸付決定、貸付金償還猶予、延滞利子支払免除などを始め、制度運用等に関する協議を行うため、運営委員会及び専門部会を下記のとおり開催した。

a　運営委員会

期日	場所	内容	出席者数
H29.4.21(金)	宇都宮市とちぎ福祉プラザ	・委員長及び副委員長の選任について ・生活福祉資金専門部会員、不動産担保型生活資金専門部会員の指名について	10 人

期　日	場　所	内　容	出席者数
		・各部会長の選任について ・平成 28 年度の取組状況、平成 29 年度の取組方針について	

b　生活福祉資金専門部会

回　数	期　日	場　所	内　容	出席者数
第 1 回	H29.7.19(水)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	(審査) 貸付　1 件 償還猶予　1 件 (報告) 貸付　18 件 償還猶予　13 件 償還免除　12 件	6 人
第 2 回	H29.8.18(金)		(審査) 貸付　2 件 (報告) 貸付　2 件 償還猶予　5 件	6 人
第 3 回	H29.12.18(月)		(審査) 貸付　1 件 (報告) 貸付　26 件	8 人
第 4 回	H30.2.20(火)		(審査) 貸付　2 件 (報告) 貸付　9 件	7 人
第 5 回	H30.3.19 (月)		(審査) 貸付　2 件 (報告) 貸付　9 件	7 人

③　生活福祉資金研修会等の開催

制度の適切かつ円滑な運営を図るため勉強会を開催した。

回　数	期　日	場　所	内　容	参加者数
第 1 回	H29.4.14(金)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	・生活福祉資金貸付制度概要説明	25 人
第 2 回	H29.6.8(木)		・平成 28 年度実績報告 ・生活福祉資金貸付制度（貸付業務）の事務手続きについて ・生活福祉資金貸付制度（償還業務）の事務手続きについて	31 人
第 3 回	H29.8.7(月)		・生活福祉資金貸付事業 福祉事務所（生活保護担当） 日常生活自立支援事業 生活困窮者自立相談支援事業 担当職員合同研修会 「地域別グループによる事例検討及び情報交換会」	52 人
第 4 回	H29.10.30(月)		・教育支援資金の相談対応について ・教育支援資金の相談対応について（相談対応事例報告） 宇都宮市社会福祉協議会 鱒渕　真希子氏 那須町社会福祉協議会 池田　智子氏	17 人

回　数	期　日	場　所	内　容	参加者数
第5回	H29.12.19(火)		・自立相談支援機関との連携について ・自立相談支援機関との連携について(相談対応事例報告) 鹿沼市社会福祉協議会 川田　晴美氏 栃木市社会福祉協議会 青柳　拓也氏	18人

④　市町社協との連携による個別援助活動の実施

経済的自立及び生活意欲の助長促進等のため、市町社協と連携し、随時個別援助活動を実施した。

⑤　生活福祉資金等の債権管理の強化

償還業務の適正化及び債権管理を強化するため、滞納世帯に対して訪問指導（504世帯)、督促状の発行（4回）を行った。

⑥　パンフレット等による広報の実施

パンフレットを市町社協に配布し、事業の周知を図った。

（全国会議等への出席状況）

会議名	期　日	場　所
都道府県・指定都市社会福祉協議会部・課・所長会議	H29.4.25(火) ～26(水)	東京都 全国社会福祉協議会
全国生活福祉資金貸付事業担当職員研修会	H29.7.20(木) ～21(金)	東京都 尚友会館
関東ブロック都県指定都市社会福祉協議会生活福祉資金担当職員研究協議会	H29.9.7(木) ～8(金)	群馬県南魚沼郡湯沢町 本陣「さくら亭」
全国生活福祉資金貸付事業運営研究協議会	H29.11.1(水) ～2(木)	東京都 全国社会福祉協議会
生活困窮者自立支援全国研究交流大会	H29.11.11(土) ～12(日)	高知県高知市 県立県民文化ﾎｰﾙ、高知県立大学
都道府県・指定都市社会福祉協議会生活困窮者自立支援事業担当者会議	H30.2.23(金)	東京都 全国社会福祉協議会
生活困窮者自立支援制度都道府県研修に係る担当者研修	H29.5.31(水) H30.1.30(火)	東京都 全国社会福祉協議会

イ）臨時特例つなぎ資金貸付事業

公的給付制度又は公的貸付制度を申請している住居のない離職者に対して、当該給付等の交付を受けるまでの当面の生活費を迅速に貸付けることにより、その自立を支援するため、貸付事業を実施した。

・貸付中件数及び金額

資金種類	件　数	金　額（円）
臨時特例つなぎ資金	144	12,523,490

・貸付状況

種別＼区分	貸付状況			
	申込		決定	
	件数	金額（円）	件数	金額（円）
臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0

・貸付金償還免除

種別＼区分	申請		承認	
	件数	金額（円）	件数	金額（円）
貸付金償還免除	1	25,000	1	25,000

・償還状況

（当年度元金）　30,000 円　（償還率 100.00%）

ウ）地域改善対策（同和対策）福祉資金貸付事業

栃木県、関係団体の協力を得て償還指導を実施した。（貸付中件数 126 件　金額 71,846,809 円）

エ）ＤＶ被害者自立支援金貸付事業

ＤＶ被害者の経済的自立とともに生活意欲を喚起し、安定した生活を支援するため、貸付事業を実施した。（貸付中件数 7 件　金額 488,260 円）

⑵ 交付事業による自立支援

愛の基金交付事業

他に援護の方法のない生活困窮者に対して交付による援助を行った。

- 寄付金　12 件　208,270 円
- 交付件数　3 件　585,600 円

Ⅵ　社会福祉事業経営者等との連携、支援

1　社会福祉施設経営支援・団体との連携、支援

(1) 福祉施設経営指導事業の実施

①　各種研修会、勉強会の開催

ア　社会福祉法人経営者研修会

事業名	期　日	場　所	内　容	参加者数
第１回 社会福祉法人 経営者研修会	H29.5.10（水）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	・講演「社会福祉法人の指導監査ガイドライン等について」 【講師】栃木県保健福祉部保健福祉課 入江　智主氏	203 人
第２回 社会福祉法人 経営者研修会・交流会	H29.7. 6（木）	宇都宮市 ホテル東日本宇都宮	社会福祉法人制度改革対応セミナー ・講演「要チェック！改正社会福祉法施行後の法人経営について」 【講師】全国経営協　制度・政策委員 大﨑　雅子氏 ・事業説明「『知らない』ままでは済まされない！指導監査ガイドライン徹底解説について」 【講師】全国社会福祉協議会法人振興部 樋川　夏未氏 ・報告説明「県内法人の地域における公益的な取組」 【講師】栃木県社会福祉法人による「地域における公益的な取組」推進協議会　会長　　岩﨑　正日登氏	197 人
第３回 社会福祉法人 経営者研修会	H29.10.3（火）	宇都宮市 パルティ	①講演「地域共生社会の意義と実現に向けた取組について」 【講師】栃木県保健福祉部保健福祉課 本多　輝彦氏 ②講演「生活困窮者に対する取組について」 【講師】社会福祉法人　中心会 理事長　浦野　正男氏	112 人
第４回 社会福祉法人 経営者研修会	H29.11.22(水)	宇都宮市 ホテル東日本宇都宮	北関東信越ブロック協議会セミナー ①講演「「TKC 社会福祉法人経営指標」に見る社会福祉法人の経営実態」 【講師】TKC 全国会社会福祉法人経営研究会 副代表幹事　吉田　恵幸氏 ②講演「社会福祉法制度改革を受けて社会福祉法人に伝えたいこと」 【講師】早稲田大学人間科学学術院 准教授　松原　由美氏	131 人
第５回 社会福祉法人 経営者研修会	H30.1.23（火）	宇都宮市 パルティ	社会福祉法人制度改革対応セミナー ①講演「ここで差がつく！明日からの社会福祉法人経営～伝えたい３つ	93 人

事業名	期　日	場　所	内　容	参加者数
			のこと～」 【講師】全国社会福祉法人経営者協議会 制度・政策委員会副委員長 山田　雅人氏 ②事業説明「時代を先取りした最新情報をキャッチ」 【講師】全国社会福祉協議会法人振興部 岡﨑　貴志氏 ③実践発表・事例解説「明日からこれで取り組める！地域における公益的な取組の極意を教えます」 【解説・進行】 全国社会福祉法人経営者協議会 制度・政策委員会　専門委員 村木　宏成氏 ・事例発表（講演） 社会福祉法人同愛会 光輝舎　施設長　菊地　月香氏 社会福祉法人同愛会 コミュニティーサポートセンターひかり 施設長　伊藤　淳一氏 ④説明 「しせつの損害補償について」 説明者　株式会社「福祉保険サービス」 営業部長　鈴木　伸一氏	

イ　ブロック別研修会

県下すべての社会福祉法人の共通認識を図るとともに、種別を越えた社会福祉法人同士の交流を図るため、県内３ブロックに分けて、研修会及び交流会を実施した。

今年度のテーマは、「魅力ある職場づくり」（人材育成について）とし、基調講演、講演（事例発表）及びグループ別意見交換を実施した。

事業名	期　日	場　所	内　容	参加者数
県央ブロック研修会	H29.11.29（水）	宇都宮市 ホテルニューイタヤ	①基調講演 「社会福祉法人制度改革での実践事例について」 【講師】栃木県社会福祉法人経営者協議会会長 (社福)飛山の里福祉会 理事長　　直井　修一氏 ②講演（事例発表）「魅力ある職場づくり」（人材育成について） 【講師】 (社福)すぎのめ会 施設長　中澤　和男氏 （社福）光誠会 本部事務局長　古口　文規氏	34人

事業名	期　日	場　所	内　容	参加者数
			（社福）洗心会 理事長　　大木　元氏	
県南ブロック研修会	H30.1.16（火）	栃木市 栃木グランドホテル	①基調講演　同　上 【講師】　同　上 ②講演　同　上 【講師】 （社福）足利むつみ会 理事　阿由葉　洋平氏 （社福）敬愛会 理事長　滝田　勇人氏 （社福）洗心会 理事長　大木　元氏	48人
県北ブロック研修会	H29.12.4（月）	矢板市 矢板イースタンホテル	①基調講演　同　上 【講師】　同　上 ②講演　同　上 【講師】 （社福）たかはら学園 次長　瀬端　享子氏 （社福）敬愛会 理事長　滝田　勇人氏 （社福）明成会 理事長　近藤　亮氏	16人

ウ　青年経営者会の活動等

栃木県社会福祉法人経営者協議会主催の研修にも積極的に参加し、さらに、平成２９年度においては、関東・甲信越静ブロック社会福祉法人経営青年会の当番県としてブロック大会を開催した。全国青年経営者会全国大会、各種研修会に参加してた。

事業名	期　日	場　所	内　容	参加者数
関東・甲信越静ブロック社会福祉法人経営青年会　総会・研修会	H30.2.8（木） ～2.9（金）	宇都宮市 ホテルマイステイズ宇都宮	・講演「地域をつなげるコミュニティデザイン」 【講師】studio-L代表、東北芸術工科大学教授　山崎　亮氏 ・講演「地域包括ケア推進に向けた医療と福祉のこれから」 【講師】つるかめ診療所　副所長 日本社会事業大学　専門職大学院教授 鶴岡　浩樹氏 ・講演「持続発展を目指した街づくり～未来都市うつのみや～」 【講師】宇都宮市長　佐藤　栄一氏	169人

② 施設経営に関する情報提供

全国社会福祉法人経営者協議会からの情報を会員施設に提供した。

・ 「経営協情報」１号～７７号

③　法人・施設訪問による指導・助言
- 訪問数　565 法人
- 相談件数 565 件

④　電話・来所相談に対する指導・助言
- 電話相談 263 件
- 来所相談　73 件

⑵　社会福祉法人経営者協議会への支援

栃木県社会福祉法人経営者協議会の事務局業務を担い、団体の実施事業に協力を行った。

⑶　社会福祉施設団体との連携、支援

①　社会福祉施設団体（種別協議会）からの事務受託

各社会福祉施設団体の事務局業務及び事業の一部を受託するとともに、団体の実施事業への協力及び運営支援を行った。(4 団体)

【特定非営利活動法人栃木県障害施設・事業協会】

目的：障害児・者（以下「障害者」という）及びその家族や地域に対し、障害者の自立と共生に関する事業を行い、国民誰もが人格と個性を尊重して相互に支えあう共生社会の実現に寄与することを目的とする。

対象：正会員　　法人の目的に賛同して入会した団体又は個人
　　賛助会員　この法人の事業を賛助するために入会した団体又は個人

なお、平成２８年度からは、栃木県障害者文化祭の芸能発表・カラオケ大会に関する事務について受託した。

【栃木県社会就労センター協議会】

目的：栃木県内の社会就労センター事業の発展を期するため、事業に関する調査・研究・協議を行い、会員相互の親睦並びに連絡調整を図ることを目的とする。

対象：生活保護授産施設、社会事業授産施設（基準該当就労継続支援Ｂ型事業を含む。）次の事業を運営する障害福祉サービス事業所、障害者支援施設。就労継続支援Ａ型事業、就労継続支援Ｂ型事業、就労移行支援事業、生産活動を行う生活介護事業、地域活動支援センター

【栃木県地域包括・在宅介護支援センター協議会】

目的：地域福祉の増進と地域包括支援センターと県内在宅介護支援センター等会員相互の連携を図り、その健全なる発展向上を期することを目的とする。

対象：地域包括支援センターと在宅介護支援センターの会員施設

【一般社団法人栃木県老人保健施設協会】

目的：栃木県内の老人保健施設（以下「老健施設」という。）及び公益社団法人全国老人保健施設協会（以下「全老健」という。）との相互の密接な連携のもとに老健施設の向上発展と使命遂行を図り、円滑な運営と業務の研鑽につとめ、社会の福祉増進に寄与することを目的とする。

対象：正会員　　老健施設で、この会の趣旨に賛同して入会した施設の代表者
　　賛助会員　この会の目的及び趣旨に賛同する個人及び団体

②　各社会福祉施設（団体）実施事業への支援

ア　種別協議会総会等への参加

名　称	期　日	場　所
栃木県民間保育園連盟総会	H29. 4.20(木)	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ
栃木県地域包括・在宅介護支援センター協議会総会	H29. 5.10(水)	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ

名　称	期　日	場　所
栃木県社会福祉法人経営者協議会総会	H29. 5.10(水)	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ
栃木県保育協議会総会	H29. 5.17(水)	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ
特定非営利活動法人 栃木県障害施設・事業協会総会	H29. 5.25(火)	宇都宮市 ホテル東日本宇都宮
一般社団法人栃木県老人保健施設協会総会	H29. 5.30(火)	宇都宮市 ホテル東日本宇都宮
栃木県高齢者福祉協会総会	H29. 5.30(火)	宇都宮市 コンセーレ
栃木県社会就労センター協議会総会	H29. 5.30(火) H30. 3.13(火)	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ パルティ

イ　第 61 回栃木県保育事業研究大会の共催

栃木県保育協議会との共催により研究大会を開催した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
H30. 1.26(金)	宇都宮市 パルティ	・研究発表 ①「地域に根ざした食育活動」～子どもの育ち～ 宇都宮市　ゆずのこ保育園 主任　　髙橋　真由美氏 保育士　須藤　由佳氏 ②「保育の営みの重要性を発信する一日保育士体験」～学生に向けての取り組み～ 小山市　城北保育所 主任保育士　横塚　陽子氏 小山市　若木保育所 所長　田口　由美子氏 ③「公立保育所の使命と地域社会での役割」～地域全体の保育の質の向上に向けた公立保育所の意義や役割～ 塩谷町　認定しおやこども園 主任保育士　中島　悦子氏 さくら市　たいよう保育園 主任保育士　君島　清美氏 ・講演「どのこにも必要なことってなんだろう」 ～経験と育ちの基本を考える～ 北海道大学　准教授　川田　学氏	188 人

③　社会福祉施設部会の開催及び団体・施設との連携強化

社会福祉施設の振興、発展にむけて、また、地域福祉への貢献にむけて、施設自らが課題を把握・抽出するとともに解決策を検討するために協議を行い、以て地域福祉の充実を図ることを目的として社会福祉施設部会を開催した。

ア　社会福祉施設部会の開催

期　日	場　所	内　容	参加者数
H30.3.8(木)	宇都宮市	(1)部会長及び副部会長の選出について	10 人

期　日	場　所	内　容	参加者数
	とちぎ福祉プラザ	(2)平成 29 年度社会福祉施設部会事業の実施状況について (3)平成 30 年度社会福祉施設部会の事業計画（案）について (4)その他	

〔社会施設福祉部会委員〕

氏　名	所　属・役　職　名	備　考
風間　嘉信	栃木県保育協議会長	部会長
菊地　達美	特定非営利活動法人栃木県障害施設・事業協会長	
阿由葉　寛	栃木県社会就労センター協議会長	
大山　知子	栃木県老人福祉施設協議会長	副部会長
吉葉　公夫	栃木県母子生活支援施設連絡協議会長	
福田　雅章	栃木県児童養護施設等連絡協議会長	
浜野　修	栃木県地域包括・在宅介護支援センター協議会長	
矢尾板　誠一	一般社団法人栃木県老人保健施設協会長	

イ　研修事業の実施

研修名	期　日	場　所	内　容	参加者数
社会福祉施設部会研修会	H30.2.1（木）	宇都宮市とちぎ福祉プラザ	・講義と演習 「社協と社会福祉施設の連携と協働について」 ～コミュニティソーシャルワークとの関係で～ 【講師】 東洋大学　社会学部社会福祉学科 准教授　加山　弾氏	39 人

④　福祉有償運送等運転者講習会の開催

期　日	場　所	内　容	参加者数
H29.6.18(日) 6.19(月)	宇都宮市とちぎ福祉プラザ及び宇都宮戸祭自動車教習所	【1 日目】 「関係法令」 元ホンダ安全運転インストラクター 尾田　忠則氏 「障がいの知識及び利用者理解」 栃木県車椅子の会　会長　村上　八郎氏 「福祉自動車の特性」 福）京福会寿山荘ブランチさきたま 荒牧　雅規氏 「基礎的な接遇技術及び介助技術①」 福）あいのかわ福祉会那須共育学園レスピット 佐々木　伸也氏 「基礎的な接遇技術及び介助技術②」 福）あいのかわ福祉会那須共育学園 山口　俊幸氏 「安全・安心な運行と緊急時の対応」 「運転方法」 元ホンダ安全運転インストラクター 尾田　忠則氏	58 人

期　日	場　所	内　容	参加者数
		【2 日目】 「セダン車両での福祉輸送」 元ホンダ安全運転インストラクター 尾田　忠則氏 「福祉装備の取扱い」 福）とちのみ会　髙嶋　秀行氏 元ホンダ安全運転インストラクター 尾田　忠則氏 特非)交通事故予防センター　久保田　邦夫氏 【インストラクター】 栃木県移送サービス連絡協議会　千葉　一正氏 福）とちのみ会　髙嶋　秀行氏 福）栃木市社会福祉協議会　中田　規央氏 一社）ｿｰｼｬﾙﾌｧｰﾑ栃木ｿｰｼｬﾙﾌｧｰﾑ長岡　髙野　健次氏 福）栃木県社会福祉協議会 桧原　賢一　　吉澤　利明 福）いぶき　大森　龍実氏	

⑤　第 52 回関東ブロック乳児院研究協議会の共催（新規）

関東ブロック乳児院協議会との共催により研究協議会を開催した。

期　日	場　所	内　容	参加者数
H29. 6. 8(木) 6. 9(金)	宇都宮市 ホテルマイステイズ宇都宮	・基調報告 関東ブロック乳児院協議会　会長　柴崎　順三氏 ・基調講演 「社会全体で寄り添う子育て・親支援の在り方」 認定特定非営利活動法人“だいじょうぶ” 理事長　畠山　由美氏 ・研究部会 ①「里親推進における乳児院の役割のこれまでとこれから」 発題者 二葉乳児院　長田　淳子氏 聖母乳児院　阿部　由希子氏 静岡乳児院　内藤　美千代氏 助言者 全国乳児福祉協議会副会長 和歌山乳児院　施設長　森下　宜明氏 司会進行 栃木県済生会宇都宮乳児院 院長　松本　栄氏 ②「関東ブロック職員育成研修の進捗と今後の活用」 発表者 ア　育ち・育てること（人材育成の基盤） 久良岐乳児院　福島　貴久代氏 ドルカスベビーホーム　柏木　裕子氏 イ　子どもの権利擁護	170 人

期　日	場　所	内　容	参加者数
		康保会玉淀園　辻　佳織氏 愛の泉　愛泉乳児園　川辺　恵子氏 ウ　専門的な養育技術 日本赤十字社茨城県支部乳児院 石崎　和子氏 聖友乳児院　髙橋　好美氏 助言者 康保会玉淀園　施設長　柴崎　順三氏 司会進行 すみれ乳児院　施設長　斎藤　崇氏 ③「乳児院に求められる『地域における公益的な取組』」 発題者 二葉乳児院　宮越　裕子氏 白百合ベビーホーム　島田　恭子氏 講師（助言者） 全国社会福祉法人経営者協議会 制度・政策委員長 社会福祉法人慈愛会　常務理事 平田　直之氏 司会進行 乳児院「夢」　院長　藤掛　正男氏	

２　社会福祉法人による地域における公益的な活動の推進

⑴　社会福祉法人による地域における公益的な活動の推進

①　栃木県社会福祉法人による「地域における公益的な取組」推進協議会への支援

ア　「いちごハートねっと事業」実施状況（平成３０年３月３１日現在）

参加法人１０９法人（おこまり福祉相談実施事業所２４４事業所）

②　各種会議、研修会等への支援

ア　正副会長会の開催

期　日	場　所	内　容	参加者数
H29.5.2(火)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	(1)事務局体制について (2)事業支援推進員について (3)運営委員会について (4)相談員養成研修会について (5)会員施設及び関係機関との連携について (6)広報活動について (7)その他	9人

イ　運営委員会の開催

回数	期　日	場　所	内　容	参加者数
第1回	H29.8.18(金)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	(1)推進協議会の運営について (2)その他	13人
第2回	H29.11.14(火)	宇都宮市 とちぎ福祉	(1)おこまり福祉相談の報告について (2)あんしん支援事業について	16人

回数	期　日	場　所	内　容	参加者数
		プラザ	(3)研修会・勉強会の担当委員について (4)広報について (5)その他	
第3回	H30.2.22(木)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	(1)本年度の活動報告について (2)本年度の収支状況報告について (3)おこまり福祉相談報告状況について (4)平成30年度事業計画（案）について (5)平成30年度予算（案）について	13人

ウ　連絡会議の開催

期　日	場　所	内　容	参加者数
H29.10.13（金）	とちぎ福祉 プラザ (宇都宮市)	(1)いちごハートねっと事業中間報告及び質疑応答 (2)活動事例報告 (3)情報交換	93人

エ　相談員養成研修会の開催

回数	期　日	場　所	内　容	参加者数
第1回	H29.8.9（水）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	・講演及び演習「相談業務の基本について」～自分の個性を活かしたソーシャルワーク実践をしていくために～ 【講師】ＮＰＯ法人風の詩 社会福祉士事務所「風のささやき」 代表　永島　徹氏	91人
第2回	H29.10.13 （金）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	・講演及び演習「社会福祉法人による地域福祉実践の意義と実際」 【講師】宇都宮大学 地域デザイン科学部 専任講師　呉　世雄氏	118人
第3回	H30.1.31 （水）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	・講演及び演習「非言語コミュニケーション講座」～ケアリング・クラウンの観点から学ぶ非言語コミュニケーション講座～ 【講師】クラウン・オン・ジャパン 代表　金本　真理子氏	55人

オ　地区別勉強会の開催

地区名	期　日	場　所	内　容	参加者数
県東地区	H29.11.15 （水）	益子町 益子町観光 協会	・講演及び演習「生活困窮者に対する相談支援について」 【講師】県東健康福祉センター 池田　秀樹氏 益子町　健康福祉課　星　和利氏	24人
安足地区	H29.11.20 （月）	佐野市 佐野市社会 福祉協議会	・講演及び演習「生活困窮者に対する相談支援について」 【講師】佐野市社会福祉協議会 総務福祉課　堤崎　正人氏	15人

地区名	期　日	場　所	内　容	参加者数
県西地区	H29.11.27 （月）	鹿沼市 鹿沼市社会 福祉協議会	・講演及び演習「生活困窮者に対する相談支援について」 【講師】鹿沼市社会福祉協議会 地域福祉課　神山　大氏 柴田　雄太氏	14 人
県北地区	H29.12.6 （水）	那須塩原市 那須塩原市 健康長寿 センター	・講演及び演習「生活困窮者に対する相談支援について」 【講師】那須塩原市社会福祉協議会 在宅福祉課　江連　高章氏	14 人
県南地区	H29.12.11 （月）	栃木市 栃木市社会 福祉協議会	・講演及び演習「生活困窮者に対する相談支援について」 【講師】栃木市社会福祉協議会 生活支援課　青柳　拓也氏	26 人
宇都宮地区	H29.12.18 （月）	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	・講演及び演習「生活困窮者に対する相談支援について」 【講師】宇都宮市社会福祉協議会 地域福祉課　岩渕　実帆氏	38 人
県東地区 （第 2 回）	H30.2.20 （火）	益子町 益子町観光 協会	・発表１「芳賀町社会福祉協議会の紹介と「地域における公益的な取組」への考え方」 芳賀町社会福祉協議会 総務係主任　高津戸　健二朗氏 ・発表２「地域における公益的な取組事例」 社会福祉法人蓬愛会 特別養護老人ホーム而今荘 呉屋　良哲氏 ・演習（グループワーク）	15 人

Ⅶ　災害対応力の強化

１　災害対応力の強化

⑴　災害ボランティア活動の環境づくり

事業名	期日	場　所	内　容	参加者数
災害ボランティアセンター運営研修（再掲）	H29.12.18（月）	宇都宮市とちぎ福祉プラザ	(1)説明「社協が中心となり運営する災害ボランティアセンターの基本事項や近年の動向について」 (2)講義「災害ボランティアセンターの運営体制や支援に必要な視点について」 講師 NPO法人にいがた災害ボランティアネットワーク　理事長　李　仁鉄氏 (3)講義、演習「多機関協働による災害ボランティアセンター運営の効果について」	36人

⑵　関係機関・団体との関係づくり

事業名		期　日	場　所	内　容	参加者数
とちぎ市町社協災害支援担当者連絡会議（再掲）		H29.6.6（火）	宇都宮市とちぎ福祉プラザ	(1)説明「平成29年度災害支援関連事業について」 (2)情報交換「平時における災害にも強い地域福祉について」及び「本年度における重点事業（災害）について」	13人
災害ボランティアネットワーク会議（再掲）				(1)基調講演「全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）の概要」 講師 NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク 事務局長　明城　徹也氏 (2)演習「効果的な災害支援の展開と平時からの取り組みについて」	28人
とちぎ災害ボランティアセンター実践プロジェクト	第10回会議	H29.5.25（木）	宇都宮市とちぎ福祉プラザ	・参考書の作成について等	13人
	第11回会議	H29.7.20（木）		・参考書の作成について ・市町社協アンケートの項目について等	12人
	第12回会議	H29.9.29（金）		・参考書の作成について ・市町社協アンケートの回答結果について等	9人
	第13回会議	H29.11.8（水）		・参考書の作成について ・掲載する情報の精査等	10人
	第14回会議	H29.12.15（金）		・参考書の作成について ・掲載する情報の精査等 アドバイザー NPO法人にいがた災害ボランティアネットワーク　理事長　李　仁鉄氏	11人

事業名		期　日	場　所	内　容	参加者数
	第15回会議	H30.1.12（金）		・参考書の作成について ・掲載する情報の精査等	11人
	第16回会議	H30.2.13（火）		・参考書の作成について ・掲載する情報の精査等 アドバイザー NPO法人にいがた災害ボランティアネットワーク　理事長　李　仁鉄氏	10人
	第17回会議	H30.3.20（火）		・参考書の完成と活用について ・3か年のふり返りと今後の災害支援の展望	11人

⑶　災害時の要援護者への支援の検討等

行政等の関係機関との調整を随時行った。

⑷　災害対応体制の強化

事業名	期　日	場　所	内容
栃木県・大田原市総合防災訓練（再掲）	H29.8.27（日）	大田原市 中田原工業団地	【総合防災訓練の訓練内容】 ・ボランティア活動拠点運営訓練 ・緊急物資輸送・受入訓練 【本会独自の訓練内容】 ・安否確認訓練 ・救援対策本部設置運営訓練
栃木県・県北地区災害ボランティア対応力向上訓練（再掲）	H29.9.24（日）	矢板市 栃木県立矢板東高等学校	・災害ボランティアセンターの設置及び運営訓練 ・土砂崩れ等を想定した土嚢袋作成及び各種工法による設置等の応急対策訓練 ・炊き出し訓練 ・避難所支援訓練 ・応急処置訓練

Ⅷ県社協の組織活動の強化

1　組織体制の充実

⑴　理事会・評議員会等の活性化

会務の適正な運営等を図るため、理事会、評議員会等を開催した。

①　理事会の開催

期　日	場　所	議　事
H29.6.6(火)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	〔議題〕 ⑴平成 28 年度事業報告について ⑵平成 28 年度一般会計及び生活福祉資金会計等決算について ⑶平成 29 年度一般会計予算の補正について ⑷定款の一部変更について ⑸処務規程の改正について ⑹役員等の報酬及び旅費に関する規程の制定について ⑺常勤役員の月額報酬及び期末手当の額について ⑻役員の選任について ⑼評議員選任・解任委員会の委員の選任について ⑽平成 28 会計年度に関する定時評議員会の開催について 〔報告〕 ⑴会長専決事項について ①平成 28 年度一般会計予算の流用（大区分間）について ②育児休業、介護休業等に関する規程の制定並びに育児休業等に関する規則及び介護休業等に関する規則の廃止について ③事務局職員就業規則の改正について ④職員の任免及び課長・所長・室長職以上の人事の発令について ⑵栃木県運営適正化委員会の業務報告について
H29.6.28(水)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	〔議題〕 ⑴会長、副会長及び常務理事の選定について
H29.10.13(金)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	〔議題〕 ⑴平成 29 年度一般会計予算の補正について ⑵経理規程の一部改正について ⑶評議員選任候補者の推薦及び評議員選任・解任委員会の開催について 〔報告〕 ⑴会長及び常務理事の職務の執行状況について ⑵平成 29 年度事業進捗状況について ⑶会長専決事項について ①予備費の充用について
H30.3.9(金)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	〔議題〕 ⑴平成 29 年度一般会計及び生活福祉資金会計等予算の補正について ⑵平成 30 年度事業計画（案）について ⑶平成 30 年度一般会計及び生活福祉資金会計等予算（案）

期　日	場　所	議　事
		について ⑷平成 30 年度における常勤役員の月額報酬及び期末手当の額について ⑸社会福祉法人栃木県社会福祉協議会経理規程の一部改正について ⑹平成 29 年度資金運用状況及び平成 30 年度資金運用計画（案）について ⑺平成 29 年度第３回評議員会の招集について 〔報告〕 ⑴会長及び常務理事の職務執行状況について ⑵平成 29 年度社会福祉業務指導監査（実地）の結果について ⑶会長専決事項について ①平成 29 年度一般会計予算の大区分間流用について

②　評議員会の開催

期　日	場　所	議　事
H29.6.28(水)	宇都宮市とちぎ福祉プラザ	〔議題〕 ⑴平成 28 年度事業報告について ⑵平成 28 年度一般会計及び生活福祉資金会計等決算について ⑶平成 29 年度一般会計予算の補正について ⑷定款の一部変更について ⑸役員等の報酬及び旅費に関する規程の制定について ⑹常勤役員の月額報酬及び期末手当の額について ⑺役員の選任について
H29.10.31(火)	宇都宮市とちぎ福祉プラザ	〔議題〕 ⑴平成 29 年度一般会計予算の補正について 〔報告〕 ⑴平成 29 年度事業進捗状況について
H30.3.22（木）	宇都宮市とちぎ福祉プラザ	⑴平成 29 年度一般会計及び生活福祉資金会計等予算の補正について ⑵平成 30 年度事業計画（案）について ⑶平成 30 年度一般会計及び生活福祉資金会計等予算（案）について ⑷平成 30 年度における常勤役員の月額報酬及び期末手当の額について ⑸監事の選任について

③　会長・副会長会議の開催

期　日	場　所	議　事
H29.5.19(金)	宇都宮市とちぎ福祉プラザ	理事会及び評議員会への提出議案・報告事項について
H29.10.13(金)	宇都宮市とちぎ福祉プラザ	理事会及び評議員会への提出議案・報告事項について

期　日	場　所	議　事
H29.2.28(水)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	理事会及び評議員会への提出議案・報告事項について

④　監事監査の実施

期　日	場　所	議　事
H29.5.17(水)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	①平成 28 年度事業報告について ②平成 28 年度一般会計及び生活福祉資金会計等収支決算について

⑤　評議員選任・解任委員会の実施

期　日	場　所	議　事
H29.10.16(月)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	評議員の選任について

⑵　部会活動の充実強化

①　市町社協部会の開催（再掲）

期　日	場　所	内　容	参加者数
H29.7.19（水）	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	・部会長・副部会長の選任について ・報告 (1)本会平成 28 年度事業報告及び平成 29 年度事業計画について (2)全社協地域福祉推進委員会について ・協議 (1)平成 29 年度栃木県への社会福祉に関する要望について (2)栃木県地域福祉振興基金（栃の実基金）のあり方について (3)「社協・生活支援活動強化方針（第 2 次アクションプラン）」の推進について	10 人

②　社会福祉施設部会の開催（再掲）

期　日	場　所	内　容	参加者数
H30.3.8(木)	宇都宮市 とちぎ福祉プラザ	(1)部会長及び副部会長の選出について (2)平成 29 年度社会福祉施設部会事業の実施状況について (3)平成 30 年度社会福祉施設部会の事業計画（案）について (4)その他	10 人

⑶　事務局体制の強化

①　活動推進計画（第３期）の事業点検・評価の実施

本会活動推進計画（第３期）の推進を目的として、平成 28 年度実施事業について、事業点検・評価を実施した。

・活動推進計画推進委員会

期　日	場　所	内　容
H29.12.21(木)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	⑴平成 28 年度活動推進計画に伴う事業点検・評価及び平成 29 年度の進捗状況について

② 衛生委員会の設置及び開催

職員の衛生に関する事項を総合的に調査審議するため、衛生委員会（年 2 回）及び衛生教育（2 回）を開催した。

また、快適な職場環境の整備及び健康診断の実施その他健康の保持増進に努めた。

⑷ 危機管理体制の整備

災害時の活動資金となる災害活動資金準備積立金を充実した。（累計額　8,771,011 円）

⑸ 職員の資質の向上

① 社会福祉主事資格認定通信課程及び社会福祉士通信課程受講料等の助成

新規１名、継続１名　／　期間　通年

② 職員研修の実施

期　日	内　容
H30.1.18(木)	講義「栃木県内のサイバー犯罪の現状と対策について」 講師　栃木県警察本部　生活安全部生活環境課　サイバー犯罪対策室 課長補佐　藤田　充宏氏

⑹ 政策提言（ソーシャルアクション）機能の強化

県内民間福祉関係団体の意見を取りまとめ、栃木県及び宇都宮市へ要望書を提出した。

期　日	場　所	内　容
H29.9.6(水)	宇都宮市 栃木県庁	各団体による要望内容説明及び意見交換
H29.8.31(木)	宇都宮市 宇都宮市役所	各団体による要望内容説明及び意見交換

⑺ 社会福祉法改正への対応

定款変更等、法改正により求められる事項への対応を行った。

2　運営基盤の強化

⑴ 会員確保の促進

- 普通会員　会員数　560（団体）　　会費　8,033,400 円
- 賛助会員　会員数　 57（人・団体）　会費　　640,000 円

⑵ 財源の確保

① 図書斡旋、広告掲載等

図書の斡旋等を行うことにより自主収入を得るよう努めた。

（図書斡旋等による手数料収入　87,787 円、広告料収入 4,060,000 円）

② 有料駐車場の運営

栃木県から栃の実駐車場及び本町合同ビル駐車場を借り上げ、駐車場の管理運営を行った。

また、収入増を図るため栃の実駐車場において月極利用を実施している。

・ 利用台数　63,090 台（栃の実駐車場 22,082 台、本町合同ビル駐車場 41,008 台）
・ 月極契約　20 台／月
・ 売上高　　33,150,522 円

③ 栃木県地域福祉振興基金（栃の実基金）の造成及び適切な運用等

ア 基金の造成

寄附　17 件　982,031 円

昭和 56 年からの基金累計額　1,413,543,775 円

イ 基金の適切な運用等

円滑に事業推進ができるよう有価証券を購入する等、基金の運用益を確保した。

ウ 栃木県地域福祉振興基金運営委員会の開催

回　数	期　日	場　所	内　容	出席者数
第 1 回	H30.2.2(水)	宇都宮市 とちぎ福祉 プラザ	①平成 29 年度事業実施状況について ②平成 30 年度事業計画（案）について ②基金の運用について	17 人

3　経営の透明性の確保

⑴ 情報公開の推進

改正社会福祉法第 59 条の 2 第 2 項で定められている定款及び貸借対照表、収支計算書、現況報告書をインターネットの利用により公表するとともに、情報開示請求への適切な対応を図るため、ファイル基準表及び文書ファイル管理台帳の整備を行った。

⑵ 個人情報の適切な管理

本会個人情報保護規程に基づき、個人情報等の適切な取扱いに努めた。

⑶ 苦情への適正な対応

広報紙やホームページ等により本会の苦情解決体制について周知し、利用者等からの苦情の解決に努めた。

平成30年度

http://www.fukushihoken.co.jp

ふくしの保険　検索

全国200万人加入!!　日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険

対象となるボランティア活動

◆グループの会則に則り企画、立案された活動であること
（グループが社会福祉協議会に登録されていることが必要です。）

◆社会福祉協議会に届け出た活動であること

◆社会福祉協議会に委嘱された活動であること

※活動のための学習会または会議などを含みます。

※自宅などとボランティア活動を行う場所との通常の経路による往復途上を含みます。（自宅以外から出発する場合は、その場所と活動場所への往復途上となります。）

保険金をお支払いする主な場合

- 清掃ボランティア活動中、転んでケガをして通院した。（ケガの補償）
- 活動に向かう途中、交通事故にあって亡くなられた。（ケガの補償）
- 活動中、食べた弁当でボランティア自身が食中毒になって入院した。（ケガの補償）
- 家事援助ボランティア活動で清掃中、誤って花びんを落としてこわした。（賠償責任の補償）
- 自転車でボランティア活動に向かう途中、誤って他人にケガをさせた。（賠償責任の補償）

保険金額・年間保険料（1名あたり）

			Aプラン	Bプラン
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	1,400万円
	後遺障害保険金		1,040万円（限度額）	1,400万円（限度額）
	入院保険金日額		6,500円	10,000円
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
		外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円
	特定感染症の補償		上記後遺障害、入院、通院の各補償金額（保険金額）に同じ	
	葬祭費用保険金（特定感染症）		300万円（限度額）	
賠償責任の補償	賠償責任保険金（対人・対物共通）		5億円（限度額）	
年間保険料	基本タイプ		350円	510円
	天災タイプ(※)（基本タイプ+地震・噴火・津波）		500円	710円

（※）天災タイプでは、天災（地震、噴火または津波）に起因する被保険者自身のケガを補償します（天災危険担保特約条項）が、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

ボランティア行事用保険（傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険）

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償！

● 行事参加者（主催者〔個人〕を含みます。）全員のケガを補償　● 行事主催者の損害賠償責任も補償

送迎サービス補償（傷害保険）

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償！

● 送迎・移送サービス利用者を特定したAプラン
● 送迎・移送サービスのための自動車を特定したBプラン

福祉サービス総合補償（傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険（オプション））

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償！

● 在宅福祉サービス（公的介護保険対象外サービスを含みます。）
● 地域福祉サービス
● 障害福祉サービス
● 児童福祉サービス
● 障害者地域生活支援事業
● 介護保険サービス　など

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、パンフレット・詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者　社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事保険会社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL：03（3349）5137
受付時間：平日の9:00～17:00（土日・祝日、12/31～1/3を除きます。）

取扱代理店　株式会社 福祉保険サービス
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL：03（3581）4667　FAX：03（3581）4763
営業時間：平日の 9:30～17:30（12/29～1/3 を除きます。）

●この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

〈SJNK17-16975　2018.1.9 作成〉

平成30年度

福祉施設の事故・紛争円満解決のために

ホームページでも内容を紹介しています
http://www.fukushihoken.co.jp

社会福祉施設総合損害補償

しせつの損害補償

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償（賠償責任保険、動産総合保険）

❶ 基本補償（賠償・見舞費用）

保険期間１年

▶保険金額

		基本補償（A型）	見舞費用付補償（B型）
賠償事故に対応	対人賠償（１名・１事故）	2億円・10億円	2億円・10億円
	対物賠償（１事故）	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償（期間中）	200万円	200万円
	うち現金支払限度額（期間中）	20万円	20万円
	人格権侵害（期間中）	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失（期間中）	1,000万円	1,000万円
	新設 徘徊時賠償（期間中）	2,000万円	2,000万円
お見舞い等の各種費用	事故対応特別費用（期間中）	500万円	500万円
	被害者対応費用（１名につき）	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

▶年額保険料（掛金）

	定員	基本補償（A型）
基本補償（A型）	1～50名	35,000～61,460円
	51～100名	68,270～97,000円
	以降1名～10名増ごと	1,500円
見舞費用付補償（B型）	基本補償（A型）保険料 ＋	【見舞費用加算】定員１名あたり 入所：1,300円 通所：1,390円

- ●オプション1 ●訪問・相談等サービス補償
- ●オプション2 ●医務室の医療事故補償 ●看護師の賠償責任補償
- ●オプション3 ●借用不動産賠償事故補償
- ●オプション4 ●クレーム対応サポート補償 新設

❷ 個人情報漏えい対応補償　❸ 施設の什器・備品損害補償

プラン2 施設利用者の補償（普通傷害保険）

❶ 入所型施設利用者の傷害事故補償　❷ 通所型施設利用者の傷害事故補償

（10口まで加入できます）　保険期間１年、職種級別Ａ級

▶保険金額	１口あたりの補償額
死亡保険金	100万円
後遺障害保険金	程度に応じて死亡保険金額の 4～100%
入院保険金（１日あたり）	800円
手術保険金	入院中の手術：入院保険金日額の10倍 外来の手術：入院保険金日額の５倍
通院保険金（１日あたり）	500円

▶年額保険料（掛金）	定員１人１口あたり
❶入所型施設利用者	1,310円
❷通所型施設利用者	990円

❸ 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償

施設送迎車に搭乗中のケガに対し、プラン２-❶、❷の傷害保険や自動車保険などとは関係なく補償

プラン3 施設職員の補償（労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険）

❷ 施設職員の傷害事故補償

（10口まで加入できます）　保険期間１年、職種級別Ａ級

▶保険金額	１口あたりの補償額
死亡保険金	140万円
後遺障害保険金	程度に応じて死亡保険金額の 4～100%
入院保険金（１日あたり）	1,500円
手術保険金	入院中の手術：入院保険金日額の10倍 外来の手術：入院保険金日額の５倍
通院保険金（１日あたり）	600円

▶年額保険料（掛金）	定員１人１口あたり
施設役員・職員１名１口あたり	3円（1日あたり） 780円（年間：週5日勤務の場合）

❶ 施設職員の労災上乗せ補償

- ●オプション：使用者賠償責任補償 改定

❸ 施設職員の感染症罹患事故補償

プラン4 社会福祉法人役員等の補償（賠償責任保険）

社会福祉法人役員等の賠償責任補償 改定

保険期間１年

▶保険金額	Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ
1事故・期間中	5,000万円	1億円	3億円

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約（賠償責任保険、医師賠償責任保険、個人情報取扱事業者賠償責任保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険）です。

● このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事保険会社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL：03（3349）5137
受付時間：平日の9:00～17:00（土日・祝日、12/31～1/3 を除きます。）

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03（3581）4667　FAX:03（3581）4763

〈SJNK17-17291　2018.1.12 作成〉